

取扱説明書（操作・管理編）**業務用**

顔認証 入退セキュリティシステム KPAS

品番 XC-KPS21J-11
XC-KPS11J-11
XC-KPS01J-11
XC-KPS31J-11
XC-KPC01J-11
XC-KPR01J-11



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（5～6 ページ）を必ずお読みください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。
- 取扱説明書に記載のイラストや画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。

はじめに

本書は、「顔認証 入退セキュリティシステム KPAS」（以下、KPAS システムという）を運用するために必要なシステムの起動／停止方法、運用方法、バックアップ方法について説明しています。
本書は入退室システムの管理者の方を対象としています。

KPAS システムの品番と名称は下記の内容となります。

品 番	名 称	備 考
XC-KPS21J-11	KPAS 管理・顔照合サーバーライセンス	エントリーモデル専用
XC-KPS11J-11	KPAS 顔照合サーバーライセンス	ベーシックモデル専用
XC-KPS01J-11	KPAS 管理サーバーライセンス	ベーシックモデル専用
XC-KPS31J-11	KPAS 顔登録 1 万人追加ライセンス	
XC-KPC01J-11	KPAS チェッカー	
XC-KPR01J-11	KPAS レジスターアプリ	

もくじ

はじめに	2
もくじ	3
安全上のご注意	5
1. システム概要	7
1.1. システム構成	7
1.2. 動作環境	8
1.3. ハードウェア情報	9
1.3.1. チェッカー（各部の名称とはたらき）	9
1.3.2. レジスタータブレット	9
1.4. 商標および登録商標について	9
2. システムの起動	10
2.1. KPAS 管理サーバーの起動（エントリーモデル・ベーシックモデル）	10
2.2. 顔照合サーバーの起動（ベーシックモデルのみ）	11
2.3. 入退履歴サーバーの起動（単独構成の場合）	11
2.4. チェッカーの起動	12
2.5. レジスターアプリの起動	13
3. システムの運用	14
3.1. データの管理	14
3.1.1. 管理ポータルへログインする	14
3.1.2. 管理ポータルからログアウトする	16
3.1.3. ユーザーのパスワードを変更する	16
3.1.4. ユーザーの管理	19
3.1.5. デジタル名刺の管理	29
3.1.6. 入退履歴の参照	52
3.2. 機器の管理	60
3.2.1. 各機器の状態の確認方法	60
3.2.2. 監視項目と障害発生時の対応方法	63
3.3. 公開 WebAPI 利用者の管理	87
4. チェッカー・レジスターアプリの操作	90
4.1. チェッカーの使い方	90
4.2. チェッカー画面の詳細	93
4.3. チェッカーの設定	94
4.4. KPAS 管理サーバーからのチェッカー一括シャットダウン・起動方法	95
4.4.1. 一括シャットダウン	96
4.4.2. 一括起動	96
4.5. レジスターアプリの使い方	97
5. システムの停止	102
5.1. チェッカーの停止	102
5.2. レジスターアプリの停止	102
5.3. KPAS 管理サーバーの停止（エントリーモデル・ベーシックモデル）	102
5.4. 顔照合サーバーの停止（ベーシックモデルのみ）	102
5.5. 入退履歴サーバーの停止（単独構成の場合）	103
6. システムのバックアップ	104
6.1. KPAS 管理サーバーデータベースのバックアップ	104
6.1.1. 自動バックアップ	104
6.1.2. 手動バックアップ	104
6.2. Zabbix サーバーデータベースのバックアップ	105
6.3. 入退履歴サーバーデータベースのバックアップ	106
6.3.1. 自動バックアップ	106
6.3.2. 手動バックアップ	106
6.4. アクセスログのバックアップ	107
6.4.1. KPAS 管理サーバーへのアクセスログのバックアップ	107
6.4.2. 入退履歴サーバーへのアクセスログのバックアップ	107

7. システムの廃棄	108
8. お手入れのしかた	109
9. こんなときは	110
10. ソフトウェアライセンス	118

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

 禁止	■コードを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など) 傷んだまま使用すると、感電やショートによる火災のおそれがあります。 ●コードの修理は、システム納入会社へご相談ください。
	■チェッカーのそばで火気を使用しない 火災の原因となることがあります。
	■チェッカーを水につけたり、水をかけたり、ぬらしたりしない ショートにより、火災や感電の原因となることがあります。
	■塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない 取り付け部が劣化して、落下など事故の原因となることがあります。
	■電源を入れたまま配線工事をしない 感電の原因となることがあります。
	■チェッカーの設置は施工業者以外が行わない 指定の固定方法で正しく設置を行わないと、ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になることがあります。 ●設置方法については、施工説明書をお読みください。
	■使用を終了した機器は放置しない そのまま放置しておくと、落下など事故の原因となることがあります。
 分解禁止	■分解・改造をしない 火災や感電の原因になります。

⚠ 警告

 接触禁止	<p>■雷が鳴ったら、チェッカーやコードに触らない 火災や感電の原因になります。</p>
 必ず守る	<p>■煙が出たり、異常発熱したり、異臭・異音がした場合や落下・破損した場合は、電源装置を停止させ、チェッカーの使用を中止する そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>●すぐに使用を中止し、システム納入会社へご相談ください。</p>
	<p>■モルタル壁などへの取り付け時、取付金具、ねじ等をメタルラス、ワイヤーラスまたは金属板と接触しないように設置する 装置の絶縁が劣化した場合、メタルラス等に漏電し、火災の原因になります。</p>
	<p>■チェッカーを長期間使用しないときは、電源を切り、電源プラグを抜く 漏電により火災の原因となることがあります。</p>

⚠ 注意

 禁止	<p>■不安定な場所では使用しない 落下によるけがや事故の原因になります。</p>
	<p>■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない 落下などの事故の原因になります。</p>
	<p>■工事中にチェッカーを落下させない けがの原因になることがあります。</p>
	<p>■高温になる場所に設置しない チェッカー内部の温度が上がり、火災や感電の原因になることがあります。</p>
	<p>■金属のエッジを手でこすらない 強くこすると、けがの原因になることがあります。</p>
	<p>■通風孔をふさがない 通風孔をふさぐとチェッカー内部に熱がこもり、発熱による火災の原因となります。</p>
	<p>■カメラ部、ディスプレイ部を強く押したり、衝撃を与えない 破損や故障、けがの原因となるおそれがあります。</p>
	<p>■カメラ部、ディスプレイ部を先のとがった物で押さない 破損や故障、けがの原因となるおそれがあります。</p>
	<p>■カメラ部、ディスプレイ部を硬い物でこすったり、たたいたりしない 破損や故障、けがの原因となるおそれがあります。</p>

1. システム概要

1.1. システム構成

KPAS システムは、KPAS 管理サーバー、顔照合サーバー、入退履歴サーバー、KPAS チェッカー（以下、チェッカーという）、レジスタータブレット、Zabbix サーバーから構成されています。（図 1）Zabbix サーバーは KPAS 管理サーバー上に仮想マシンとして構築されています。

KPAS システムにはエントリーモデルとベーシックモデルがあります。エントリーモデルでは、顔照合サーバーは KPAS 管理サーバー上に構築されています。お使いのシステムがどちらのモデルか不明な場合は、システム納入会社にお問い合わせください。

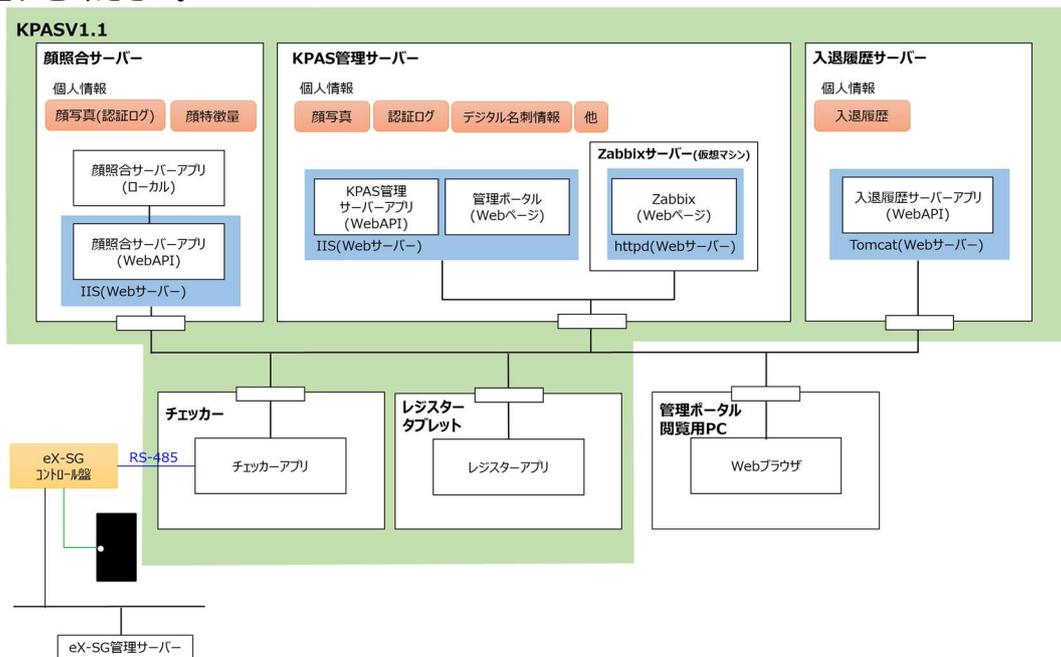


図 1 KPAS システム構成例（ベーシックモデル・入退履歴サーバー単独構成）

KPAS 管理サーバー

デジタル名刺とシステム構成に関する情報を保存します。

顔照合サーバー

チェッカーから送信された顔画像と登録された顔画像を照合します。また、レジスタータブレットまたは管理ポータルで登録される顔画像が条件を満たしていることの判定（品質チェック）を行います。

入退履歴サーバー

入退履歴に関する情報を保存します。

入退履歴サーバーは、KPAS 管理サーバー上に構築することもできます。KPAS 管理サーバーと異なるサーバーに構築されている場合を単独構成といいます。

チェッカー

KPAS 管理サーバーに登録されている顔画像と、チェッカーで撮影した顔を照合し、結果を画面に表示します。



レジスタータブレット

レジスターアプリ（被認証者の顔を撮影し、デジタル名刺として KPAS 管理サーバーに登録するアプリケーション）をインストールしたタブレット端末です。



Zabbix サーバー

各サーバー、チェッカーおよびレジスターなど、KPAS システムを構成している各機器の稼働状況を監視します。

管理ポータル

デジタル名刺の管理（登録・参照・編集・削除）など KPAS システムの運用および管理に必要な作業を行います。

管理ポータル閲覧用 PC

管理ポータルを表示および操作するための PC です。Web ブラウザとして Google Chrome がインストールされている必要があります。管理ポータルの表示および操作は、KPAS 管理サーバーから行うこともできます。

eX-SG

パナソニック（株）統合型セキュリティシステムです。

メモ

管理ポータルほか、KPAS システムには Web ブラウザで表示する Web ページがいくつかあります。すべての Web ページは、Google Chrome にのみ対応しています。動作確認済みのバージョンは 91.0.4472.114 (Official Build) (64 ビット) です。

ベーシックモデルの場合、レジスターは 50 台まで、チェッカーは 5000 台まで増設が可能です。

エントリーモデルの場合、レジスターは 2 台まで、チェッカー 20 台まで増設が可能です。

デジタル名刺は 1 万件まで登録できます。なお、ベーシックモデルは 10 万件まで拡張可能です。詳しくはシステム納入会社にお問い合わせください。

1.2. 動作環境

ベーシックモデルの KPAS 管理サーバー、顔照合サーバー、入退履歴サーバーの仕様要件は以下になります。

KPAS 管理サーバーの仕様要件

CPU	Intel Xeon E-2174G 以上の性能
メモリ	32 GB 以上
OS	Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Standard

顔照合サーバーの仕様要件

CPU	Intel Xeon E-2174G 以上の性能
GPU	NVIDIA Quadro P2000 以上の性能
メモリ	32 GB 以上
OS	Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Standard

エントリーモデルの仕様要件はベーシックモデルの顔照合サーバーと同じです。

入退履歴サーバーの仕様要件

CPU	Intel Xeon E-2174G 以上の性能
メモリ	32 GB 以上
OS	Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Standard

1.3. ハードウェア情報

1.3.1. チェッカー（各部の名称とはたらき）

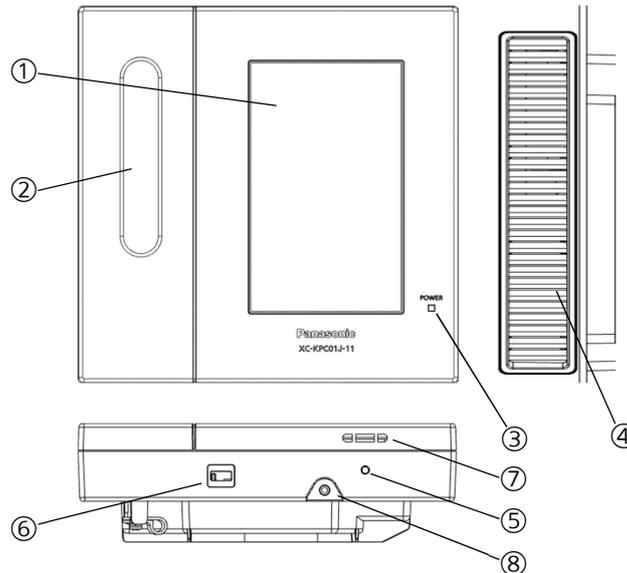


図 2 チェッカー外観

番号	名称	はたらき
①	ディスプレイ	カメラのライブ映像を表示します
②	カメラ	顔を撮影します
③	電源ランプ	通電状態のときにランプ（緑色）が点灯します
④	通気孔	左右側面にあり、内部の熱を逃がします
⑤	リセットボタン	電源ランプは点灯しているが、本機が動作しない場合、ボタンを押すと再起動します
⑥	メンテナンス端子	メンテナンス用の USB 機器を接続します
⑦	スピーカー	各種状態を音でお知らせします
⑧	本体固定用ねじ部	本体を取付金具にねじ固定します

1.3.2. レジスタータブレット

レジスターアプリ動作保証

品名	型番	メーカー
Surface Go	JTS-00014	Microsoft
Surface Go2	TGF-00012	Microsoft

1.4. 商標および登録商標について

Microsoft®、Windows®、Windows Server®および Excel®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Google Chrome® は、Google LCC の商標または登録商標です。

Intel Xeon®は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

2. システムの起動

KPAS システムは、KPAS 管理サーバー → 顔照合サーバー → 入退履歴サーバー → チェッカー/レジスターの順で起動します。

2.1. KPAS 管理サーバーの起動（エントリーモデル・ベーシックモデル）

STEP1

KPAS 管理サーバーの電源ボタンを押します。
→ Windows が起動し、自動的にログインします。

STEP2

以下の 2 点が確認できれば KPAS 管理サーバーの起動が完了しています。
Oracle VM VirtualBox と記載されたウィンドウが立ち上がっている。（図 3）
C:\¥Panasonic¥KpasManagementServer¥WebAPI¥log¥trace.log の末尾に、STEP1 以降の時刻で「FaceManage.StartupProc - 管理サーバー起動完了」というメッセージが出力されている。

エントリーモデルの場合は、2.2.顔照合サーバーの起動（ベーシックモデルのみ）の STEP3 も確認してください。

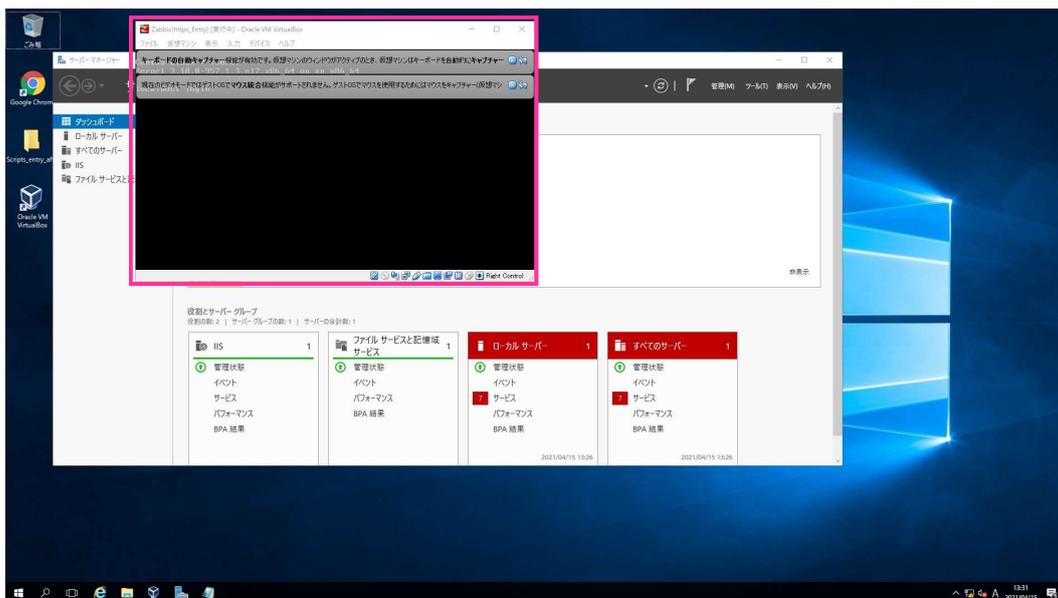


図 3 VirtualBox の起動確認

2.2. 顔照合サーバーの起動（ベーシックモデルのみ）

STEP1

顔照合サーバーの電源ボタンを押します。
→ Windows が起動し、ログイン画面が表示されます。

STEP2

Ctrl+Alt+Del キーを押してロックを解除し、パスワードを入力してログインします。

STEP3

以下が確認できれば顔照合サーバーの起動が完了しています。

C:\¥Panasonic¥FaceAuthenticationServer¥ServerApplication¥log¥debug.log の末尾に、
STEP1 以降の時刻で「顔照合サーバー起動完了」というメッセージが出力されている

メモ

登録済みのデジタル名刺が多いと、顔照合サーバーの起動に時間（数分から数十分）がかかります。
顔照合サーバーのパスワードが不明な場合は、システム納入会社にお問い合わせください。

2.3. 入退履歴サーバーの起動（単独構成の場合）

STEP1

入退履歴サーバーの電源ボタンを押します。
→ Windows が起動し、ログイン画面が表示されます。

STEP2

Ctrl+Alt+Del キーを押してロックを解除し、パスワードを入力してログインします。

STEP3

以下が確認できれば入退履歴サーバーの起動が完了しています。

C:\¥Panasonic¥EntryExitHistoryServer¥webapps¥logs¥Debug.log の末尾に、STEP1 以降の
時刻で「入退履歴サーバー起動成功」というメッセージが出力されている

メモ

入退履歴サーバーのパスワードが不明な場合は、システム納入会社にお問い合わせください。

2.4. チェッカーの起動

チェッカーは電源（DC 24 V）を給電することにより、システムが自動的に起動します。（図 4）が表示され、しばらくすると IC カード and 顔認証時は（図 5.左）、IC カード or 顔認証時は（図 5.右）の画面が表示されます。



図 4 チェッカー画面（起動中）

メモ

チェッカー本体または KPAS 管理サーバーからシャットダウンさせた場合は、電源は供給されたままとなっています。ただちに再起動する場合は、チェッカー本体下面のリセットボタンを押すか、KPAS 管理サーバーから起動処理をしてください。KPAS 管理サーバーからのシャットダウン・起動の方法は『4.4.KPAS 管理サーバーからのチェッカー一括シャットダウン・起動方法』をお読みください。

以下の画面が表示されれば起動完了です。（図 5）

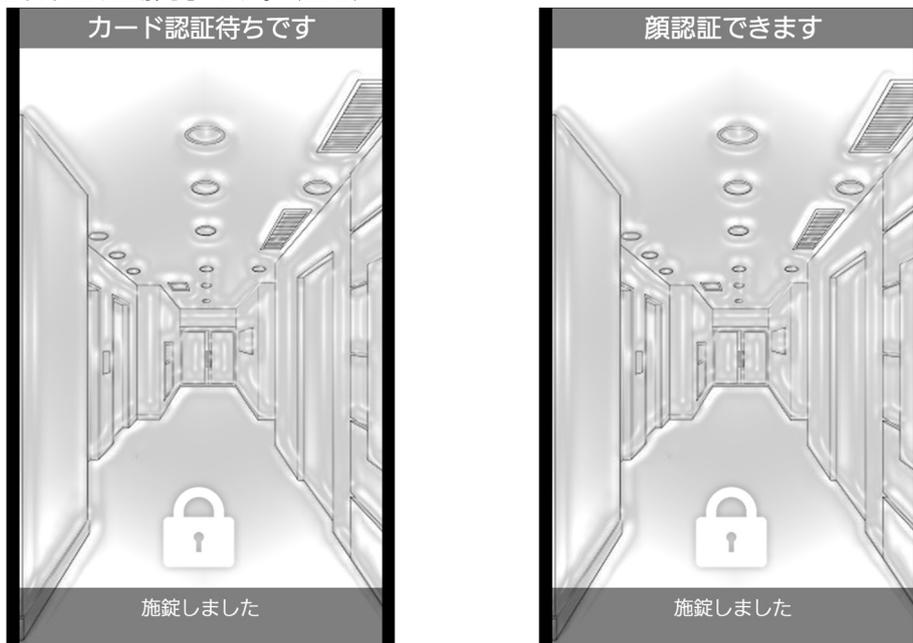


図 5 チェッカー画面（待機）左：IC カード and 顔認証時 右：IC カード or 顔認証時

2.5. レジスターアプリの起動

レジスターアプリがインストールされたタブレット端末の電源を入れ、ログインします。
デスクトップ画面にある「KPAS レジスター」のアイコンをダブルタップしてレジスターアプリを起動します。
(図 6)



図 6 レジスタータブレット画面（デスクトップ）

以下の画面が表示されれば起動完了です。(図 7)



図 7 レジスターアプリ画面（待機）

3. システムの運用

ここでは、ユーザー情報、デジタル名刺、入退履歴といった KPAS で使用する各データを管理する方法、KPAS 管理サーバー、顔照合サーバー、入退履歴サーバー、チェッカーなど各機器の稼働状況を監視する方法について説明します。

3.1. データの管理

ユーザー情報、デジタル名刺、入退履歴は、管理ポータルを使って管理します。

ユーザー情報：管理ポータルのユーザーのログイン ID およびパスワードの情報

デジタル名刺情報：チェッカーで認証する人物（被認証者）の情報

入退履歴：チェッカーで入退した結果の一覧

ここでは、以下の操作について説明します。

管理ポータルへのログイン/ログアウト

ユーザーのログインパスワードの変更

ユーザーの登録/編集/削除

デジタル名刺の登録/検索/閲覧/編集/削除

入退履歴の検索/閲覧/エクスポート

3.1.1. 管理ポータルへログインする

STEP1

Google Chrome を起動し、ログインページ（<https://192.168.1.11/KPASPortal/LoginMP>）にアクセスします。

重要

ログインページの「192.168.1.11」部分には KPAS 管理サーバーの IP アドレスを入力してください。不明な場合は、システム納入会社にお問い合わせください

初回アクセス時にセキュリティの警告が表示された場合

設定によってはセキュリティ警告（図 8）が表示される場合があります。表示された場合は、STEP2 へ、表示されなかった場合は、STEP4 へ進んでください。

STEP2

【詳細設定】 ボタンをクリックします。（図 8）



図 8 セキュリティ警告画面

STEP3

[192.168.1.11 にアクセスする (安全ではありません)] をクリックします。(図 9)
→ ログイン画面が表示されます。

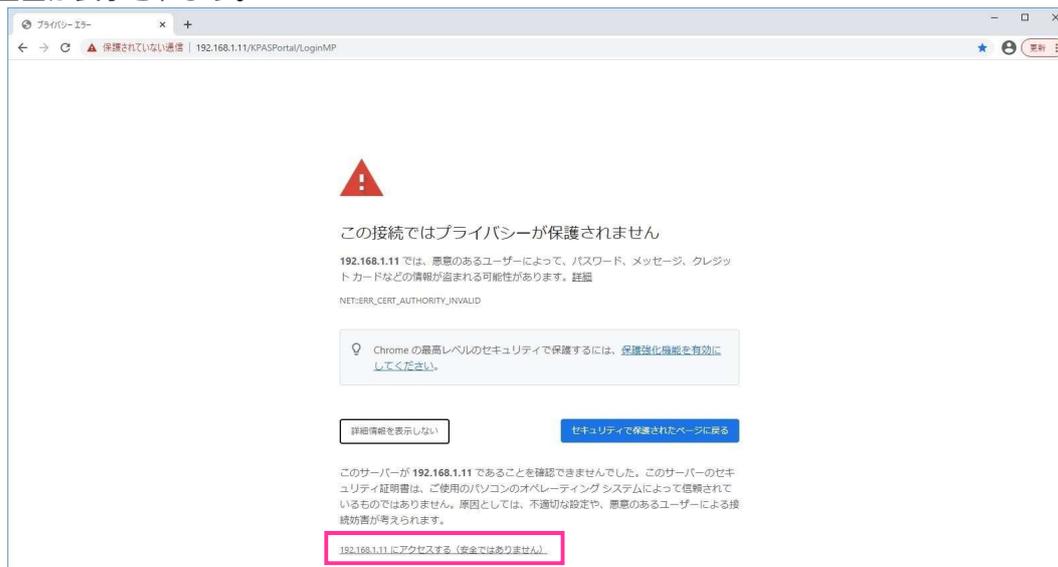


図 9 セキュリティ警告画面

メモ

2 回目以降にアクセスした場合は、この警告は表示されません。(ブラウザのキャッシュを削除した場合は、同じ警告が出ますので同様に操作してください)
以降の画面上のアドレスバーには「保護されていない通信」と表示されますが問題ありません。

STEP4

ログイン ID (上段)、パスワード (下段) を入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。(図 10)
→ 管理ポータル画面が表示されます。

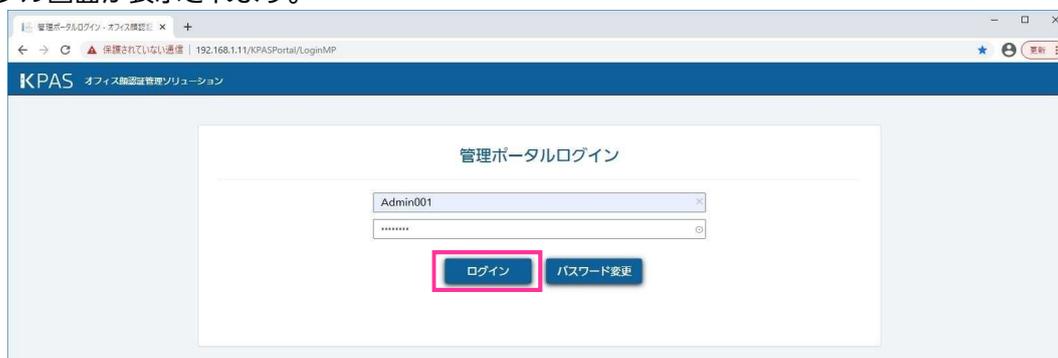


図 10 管理ポータル ログイン画面

重要

標準設定ではログイン ID : Admin001 , 初期パスワード : 001Admin というユーザーが登録されています。
初期パスワードでは管理ポータルにログインすることはできません。『3.1.3.ユーザーのパスワードを変更する』の手順に従ってパスワードを変更してください。
ログイン ID、パスワードは重要な情報です。入力時に他人に見られないようにしてください。
パスワードの有効期間は変更後 120 日です。定期的にパスワードを変更してください。

メモ

パスワードが不明な場合は、他のユーザーでログインし、パスワードを再設定してください。『3.1.4.3.ユーザーのパスワードを再設定（初期化）する』すべてのユーザーのパスワードが不明な場合は、システム納入会社にお問い合わせください。

管理ポータルへログイン後、操作を 10 分間行わないとセッションタイムアウトが表示されます。再度ログイン操作を行ってください。

3.1.2. 管理ポータルからログアウトする

管理ポータル画面の右上にある「ログアウト」ボタンをクリックします。（図 11）
→ ログイン画面が表示されます。



図 11 管理ポータル 共通画面 [ログアウト]

3.1.3. ユーザーのパスワードを変更する

ユーザーのパスワードは、KPAS 管理サーバーで管理されます。

パスワードの変更は、管理ポータルへのログイン前とログイン後の 2 つの方法があります。

① 管理ポータル ログイン前の方法

STEP1

管理ポータルのログイン画面にある「パスワード変更」ボタンをクリックします。（図 12）

→ パスワード変更画面が表示されます。



図 12 管理ポータル ログイン画面

STEP2

ログイン ID と現在のパスワードを入力します。

標準設定では、ログイン ID : Admin001 , 初期パスワード : 001Admin というユーザーが登録されています。「新しいパスワード」、「新しいパスワード (確認)」に新しいパスワードを入力します。

実行する場合は、[変更] ボタンをクリックします。(図 13)

→ パスワード変更確認のダイアログが表示されます。

[クリア] ボタンをクリックすると、入力した内容が消去されます。

[戻る] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。

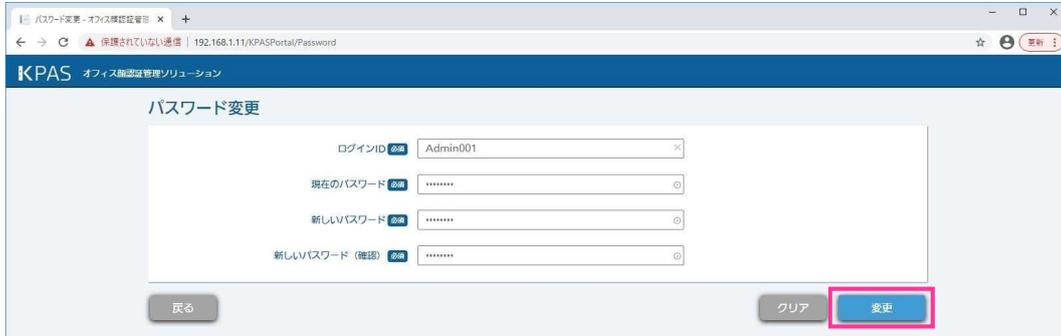


図 13 管理ポータル パスワード変更画面_ログイン前

重要

パスワードは 8 文字以上、32 文字以内で半角の英大文字、英小文字、数字、記号 (~!@\$%^&*()_+|\}|{[<>./?'`) 4 種類の中から 3 種類以上を含む文字列で設定してください。また、初期パスワードおよび現在のパスワードと同じ文字列は使用できません。セキュリティ確保の観点から、パスワードにユーザー名またはログイン ID の全部または一部を含む文字列、および辞書単語またはその一部を何かに置き換えたものを含む文字列を使用しないでください。パスワードは重要な情報です。システム納入会社やサポート担当者が電話等でパスワードの情報を問い合わせることはありません。

STEP3

実行する場合は、[OK] ボタンをクリックします。(図 14)

→ パスワード変更完了のダイアログが表示されます。

[Cancel] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 14 管理ポータル パスワード変更 確認ダイアログ

パスワード変更完了のダイアログの [OK] をクリックします。(図 15)

→ ログイン画面が表示されます。



図 15 管理ポータル パスワード変更 完了ダイアログ

以上でログイン前のパスワード変更は完了です。

②管理ポータル ログイン後の方法

STEP1

管理ポータル画面の上部にある [パスワード変更] ボタンをクリックします。(図 16)
→ パスワード変更画面が表示されます。



図 16 管理ポータル 共通画面 [パスワード変更]

STEP2

「新しいパスワード」、「新しいパスワード (確認)」に新しいパスワードを入力します。
実行する場合は、[変更] ボタンをクリックします。(図 17)
→ パスワード変更確認のダイアログが表示されます。
[クリア] ボタンをクリックすると、入力した内容が消去されます。
[戻る] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 17 管理ポータル パスワード変更画面_ログイン後

重要

パスワードは 8 文字以上、32 文字以内で半角の英大文字、英小文字、数字、記号 (~!@\$%^&*()_+|\}{}|<>./?'`) 4 種類の中から 3 種類以上を含む文字列で設定してください。また、初期パスワードおよび現在のパスワードと同じ文字列は使用できません。セキュリティ確保の観点から、パスワードにユーザー名またはログイン ID の全部または一部を含む文字列、および辞書単語またはその一部を何かに置き換えたものを含む文字列を使用しないでください。パスワードは重要な情報です。システム納入会社やサポート担当者が電話等でパスワードの情報を問い合わせることはありません。

STEP3

実行する場合は、[OK] ボタンをクリックします。(図 18)
[Cancel] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 18 管理ポータル パスワード変更 確認ダイアログ

パスワード変更完了のダイアログの [OK] をクリックします。(図 19)
→ ログイン画面が表示されます。



図 19 管理ポータル パスワード変更 完了ダイアログ

以上でログイン後のパスワード変更は完了です。

3.1.4. ユーザーの管理

ユーザーの登録は、標準設定に登録済みの「Admin001」を含め最大 500 ユーザーまで登録できます。
管理グループは最大 50 グループまで登録できます。
1つの管理グループに登録できるユーザーは最大 10 ユーザーまでです。

メモ

管理グループとは、ログインユーザーが管理（閲覧、編集など）できるデジタル名刺の範囲を決めるものです。ログインユーザーは、複数の管理グループに所属することができます。
デジタル名刺と管理グループを直接紐づけることはできません。管理グループと照合グループを紐づけることで、その照合グループに属するデジタル名刺と管理グループが間接的に紐づけられます。
管理グループの編集（追加、削除、名称変更など）についてはシステム納入会社にお問い合わせください。
照合グループの詳細は、『3.1.5. デジタル名刺の管理』を参照してください。

3.1.4.1. ユーザーを登録する

ユーザーを登録するためには、ログインユーザーに「ユーザーの登録/参照/更新/削除」の機能権限が必要です。
「ユーザーの登録/参照/更新/削除」の機能権限を付与すると「ユーザーの参照」の機能権限も自動的に付与されます。

STEP1

管理ポータルにログインします。(『3.1.1. 管理ポータルへログインする』参照)

STEP2

画面左側メニューの [ユーザー管理] > [ユーザー登録] をクリックします。(図 20)
→ ユーザー登録画面が表示されます。



図 20 管理ポータル メニュー画面

STEP3

表 1 (21 ページ) を参考に各項目を入力します。
実行する場合は、[登録] ボタンをクリックします。(図 21)
→ ユーザー登録確認のダイアログが表示されます。
入力内容に不備があった場合、赤字でその内容が表示されます。
[クリア] ボタンをクリックすると、入力した内容が消去されます。

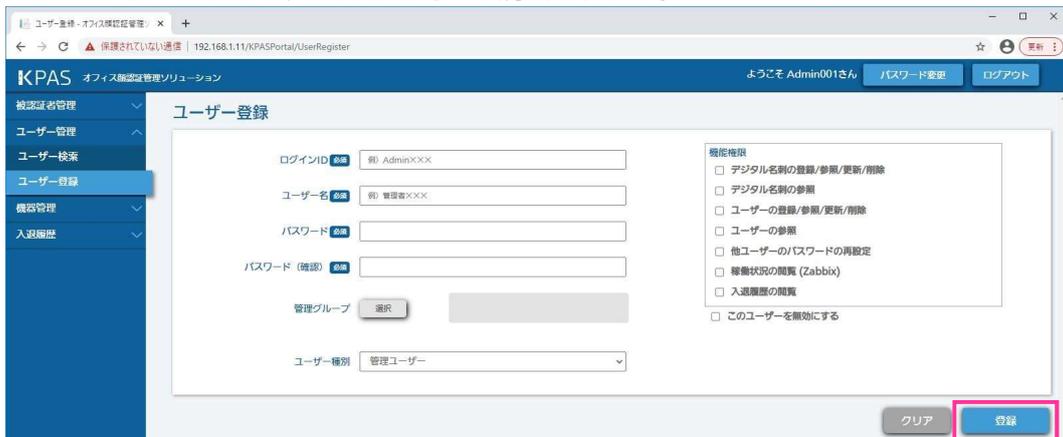


図 21 管理ポータル ユーザー登録画面

表1 ユーザー登録に必要な項目

項目名	説明	
ログインID	半角英数字（記号可）1～256文字以内で設定してください。 管理ポータルログインIDとして使用します。 ログインIDは重複しないように設定してください。	
ユーザー名	全半角文字1～64文字以内で設定してください。 管理ポータルのユーザー名として使用します。	
パスワード	半角英数字（記号可）8～32文字以内で設定してください。 下記4つの文字種類から3種類以上を組み合わせてください。 ①アルファベット大文字 ②アルファベット小文字 ③数字 ④記号（～!@#\$%^&*()_+ \} {][<.>./?`） ログインIDまたはユーザー名の文字列を含んではいけません。	
管理グループ	管理グループ（1～最大50）の内、1つ以上を選択してください。 複数の管理グループを選択することもできます。 ログインユーザーが所属する管理グループが表示されます。	
ユーザー種別	管理ユーザーを選択してください。	
機能権限	デジタル名刺の登録/参照/更新/削除	<input checked="" type="checkbox"/> をするとデジタル名刺の登録/参照/更新/削除を行うことができます。
	デジタル名刺の参照	<input checked="" type="checkbox"/> をするとデジタル名刺の参照のみできます。 「デジタル名刺の登録/参照/更新/削除」を <input checked="" type="checkbox"/> すると自動的に選択されます。
	ユーザーの登録/参照/更新/削除	<input checked="" type="checkbox"/> をするとユーザーの登録/参照/更新/削除を行うことができます。
	ユーザーの参照	<input checked="" type="checkbox"/> をするとユーザーの参照のみできます。 「ユーザーの登録/参照/更新/削除」を <input checked="" type="checkbox"/> すると自動的に選択されます。
	他ユーザーのパスワードの再設定	<input checked="" type="checkbox"/> をすると他ユーザーのパスワードの再設定を行うことができます。
	稼働状況の閲覧（Zabbix）	<input checked="" type="checkbox"/> をするとシステムの稼働状況を閲覧することができます。
	入退履歴の閲覧	<input checked="" type="checkbox"/> をすると入退履歴を閲覧することができます。
このユーザーを無効にする	<input checked="" type="checkbox"/> をすると管理ポータルへのログインはできません。	

※ログインユーザーが保持している機能権限と同じものは付与できますが、それ以外の機能権限は付与できません。

STEP4

実行する場合は、[OK] をクリックします。(図 22)

→ ユーザー登録完了のダイアログが表示されます。

入力内容に不備があった場合、赤字でその内容が表示されます。

[Cancel] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 22 管理ポータル ユーザー登録 確認ダイアログ

ユーザー登録完了のダイアログの [OK] をクリックします。(図 23)

→ 直前のユーザー登録画面が表示されます。



図 23 管理ポータル ユーザー登録 完了ダイアログ

以上でユーザーの登録は完了です。管理ポータルのログイン ID と初期パスワードを利用者に連絡してください。

重要

セキュリティ確保の観点から、初期パスワードにユーザー名またはログイン ID の全部または一部を含む文字列、および辞書単語またはその一部を何かに置き換えたものを含む文字列を使用しないでください。

3.1.4.2. ユーザーの情報を編集する

登録されているユーザーの情報を編集するには、ログインユーザーに「ユーザーの登録/参照/更新/削除」の機能権限が必要です。

ログインユーザーに付与された機能権限が「ユーザーの参照」のみの場合、登録されているユーザーの情報を参照することはできますが、編集することはできません。

STEP1

管理ポータルにログインします。(『3.1.1.管理ポータルへログインする』参照)

STEP2

画面左側メニューの [ユーザー管理] > [ユーザー検索] をクリックします。(図 24)

→ ユーザー検索画面が表示されます。



図 24 管理ポータル メニュー画面

STEP3

画面上部に検索条件を入力します。

(各項目の内容は表 1 (21 ページ) を参考にしてください。ただし、「ユーザーの状態」は「このユーザーを無効にする」を参考にしてください。)

ログインユーザーが所属する管理グループのユーザーのみ検索できます。

実行する場合は、[検索] ボタンをクリックします。(図 25)

→ 画面下部に検索結果一覧が表示されます。

[クリア] ボタンをクリックすると、入力した内容が消去されます。

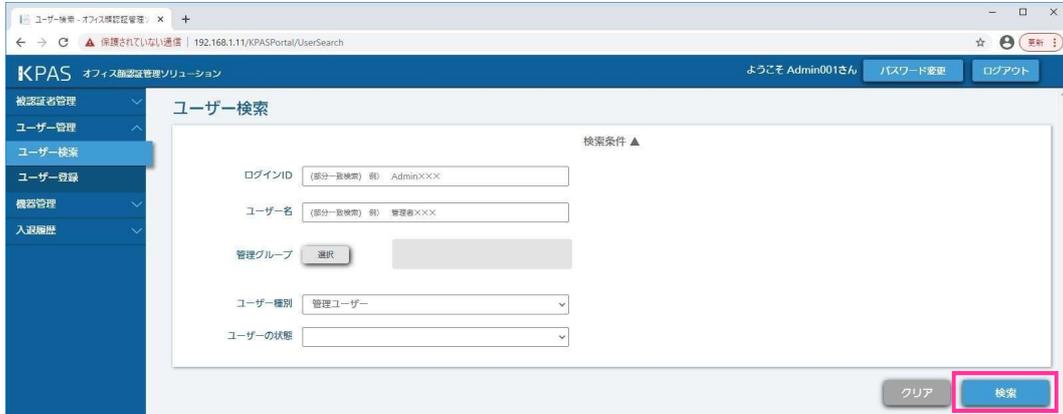


図 25 管理ポータル ユーザー検索画面

STEP4

編集対象ユーザーの行にある [詳細] をクリックします。(図 26)

→ ログインユーザーに付与された機能権限が「ユーザーの登録/参照/更新/削除」の場合、ユーザー編集画面が表示されます。(図 27)

→ ログインユーザーに付与された機能権限が「ユーザーの参照」のみの場合、ユーザー詳細画面が表示されます。(図 28)

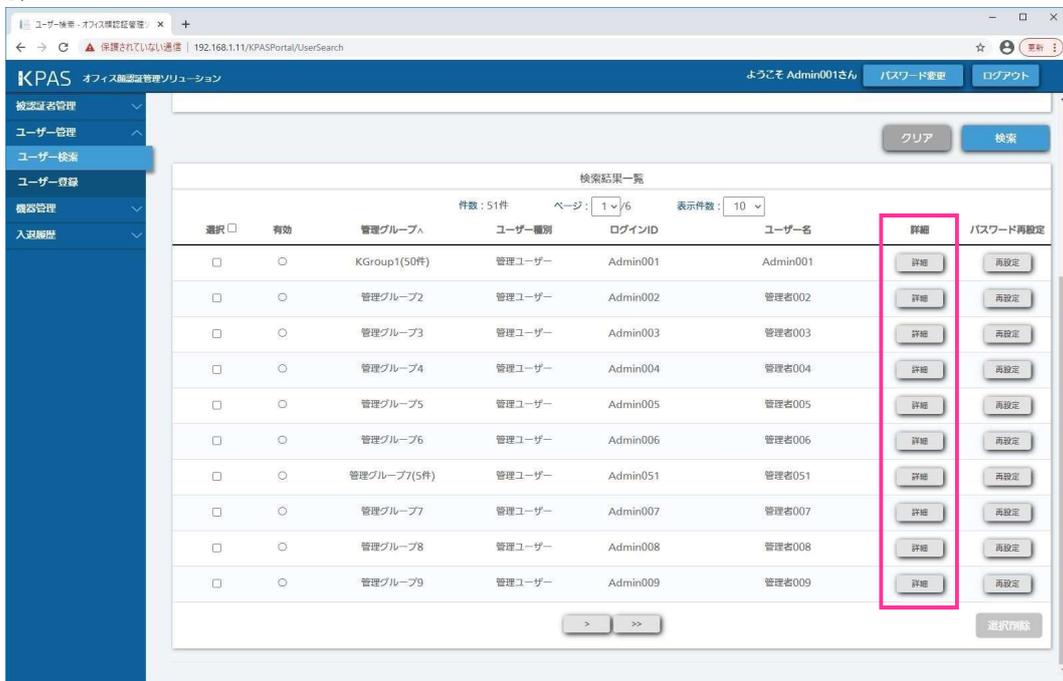


図 26 管理ポータル ユーザー検索画面 (下部)

メモ

「選択」の項目および [選択削除] ボタンは、ユーザーを削除する場合に使用します。『3.1.4.4.ユーザーを削除する』を参照してください。

「有効」の項目は、表 1 (21 ページ) の「このユーザーを無効にする」でチェックしなかった場合に「○」が表示され、チェックした場合に「×」が表示されます。

検索結果はログインユーザーが所属する管理グループ毎・更新日時が新しいものから順 (降順) に表示されます。

[有効/管理グループ/ユーザー種別/ログインID/ユーザー名]の項目をクリックするとその項目で並び替えることができます。また [↑] / [↓] ボタンをクリックすると、昇順/降順を切り替えることができます。

1 ページに表示する件数を、「表示件数」右のプルダウンメニューから選択できます。最初は 10 件で表示されます。

ページの表示件数分見えていない場合は、スクロールバーを上下させ検索結果を表示できます。

検索結果が複数ページある場合、以下のボタンでページを移動できます。

- [<<] ボタン：最初ページに移動します。
- [<] ボタン：1 つ前のページに移動します。
- [>] ボタン：1 つ後ろのページに移動します。
- [>>] ボタン：最後ページに移動します。

STEP5

表 1 (21 ページ) を参考に各項目を編集します。

機能権限に関してはログインユーザーに付与されている機能権限と同じものは編集できません。

実行する場合は、[更新] ボタンをクリックします。(図 27)

→ ユーザー情報更新確認のダイアログが表示されます。

入力内容に不備があった場合、赤字でその内容が表示されます。

[戻る] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 27 管理ポータル ユーザー編集画面

ログインユーザーに付与された機能権限が「ユーザーの参照」のみの場合、ユーザー詳細画面が表示され編集はできません。(図 28)



図 28 管理ポータル ユーザー詳細画面

STEP6

実行する場合は、[OK] ボタンをクリックします。(図 29)

→ ユーザー情報更新完了のダイアログが表示されます。

[Cancel] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 29 管理ポータル ユーザー情報更新 確認ダイアログ

ユーザー情報更新完了のダイアログの [OK] ボタンをクリックします。(図 30)

→ ユーザー検索画面が表示されます。



図 30 管理ポータル ユーザー情報更新 完了ダイアログ

以上でユーザーの情報編集は完了です。

3.1.4.3. ユーザーのパスワードを再設定 (初期化) する

他のユーザーのパスワードを再設定することができます。他のユーザーのパスワードがわからなくなったときに使用します。

他のユーザーのパスワードを再設定するためには、ログインユーザーに「他ユーザーのパスワードの再設定」の機能権限が必要です。「他ユーザーのパスワードの再設定」の機能権限を付与すると「ユーザーの参照」の機能権限も自動的に付与されます。

STEP1

パスワードを再設定するユーザーを検索します。(『3.1.4.2.ユーザーの情報を編集する』の STEP1 ~ STEP3 参照)

STEP2

再設定したいユーザーの行にある [再設定] ボタンをクリックします。(図 31)

→ パスワード再設定画面が表示されます。

ログインユーザーに「他ユーザーのパスワードの再設定」の機能権限が付与されていない場合、パスワード再設定の項目は表示されません。

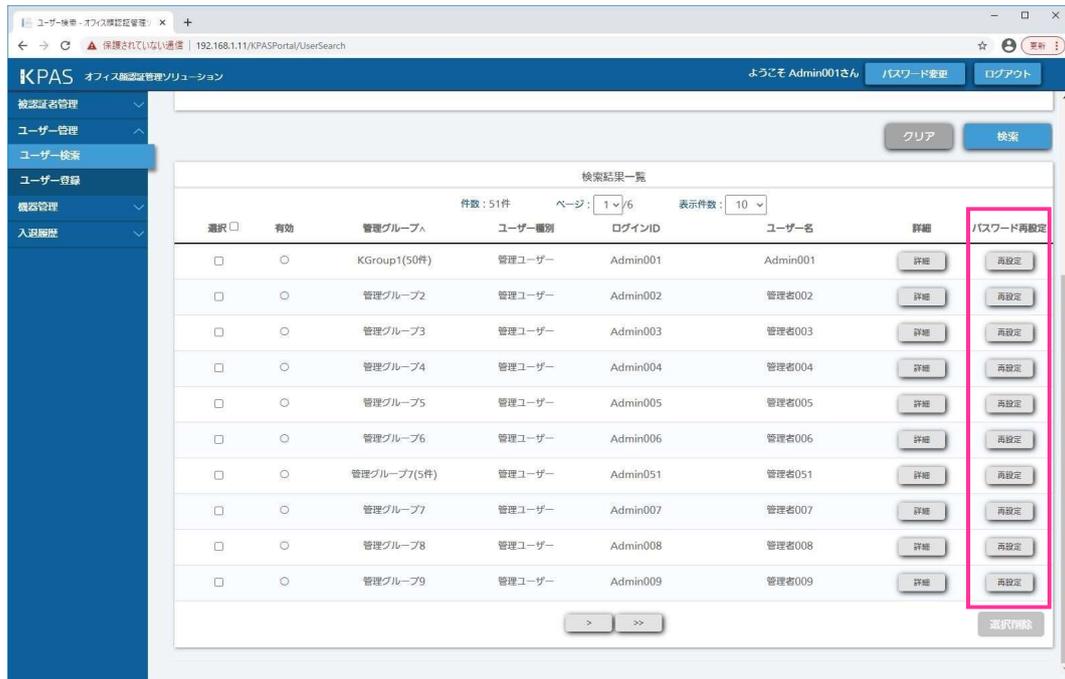


図 31 管理ポータル ユーザー検索画面 (下部)

STEP3

「新しいパスワード」と「新しいパスワード (確認)」に再設定パスワードを入力します。

実行する場合は、[再設定] をクリックします。(図 32)

→ パスワード再設定確認のダイアログが表示されます。

入力内容に不備があった場合、赤字でその内容が表示されます。

[クリア] ボタンをクリックすると、入力した内容が消去されます。

[戻る] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 32 管理ポータル パスワード再設定画面

メモ

パスワードを再設定 (初期化) したユーザーで初めてログインするときには、初期パスワードの変更が必要となります。

初期パスワードには、半角の英大文字、英小文字、数字、記号 (~!@#\$%^&*()_+|}{[<>.//?`) が使用できます。4 種類の中から 3 種類以上を含む 8~32 文字以内の文字列を設定してください。

重要

セキュリティ確保の観点から、初期パスワードにユーザー名またはログイン ID の全部または一部を含む文字列、および辞書単語またはその一部を何かに置き換えたものを含む文字列を使用しないでください。

STEP4

実行する場合は、[OK] ボタンをクリックします。(図 33)

→ パスワード再設定完了のダイアログが表示されます。

[Cancel] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 33 管理ポータル パスワード再設定 確認ダイアログ

パスワード再設定完了のダイアログの [OK] をクリックします。(図 34)

→ ユーザー検索画面が表示されます。



図 34 管理ポータル パスワード再設定 完了ダイアログ

以上でパスワード再設定は完了です。管理ポータルの初期パスワードを利用者に連絡してください。

3.1.4.4. ユーザーを削除する

登録されている他のユーザーを削除することができます。

ユーザーの削除は、複数のユーザーを選択して削除することができる選択削除とユーザー編集画面からそのユーザーだけを削除する個別削除の 2 つの方法があります。

ユーザーを削除するためには、ログインユーザーに「ユーザーの登録/参照/更新/削除」の機能権限が必要です。

STEP1

削除するユーザーを検索します。(『3.1.4.2.ユーザーの情報を編集する』の STEP1 ~ STEP3 参照)

STEP2

① 選択削除の方法

検索結果一覧の中から削除したいユーザーの行にある選択にを入れます。

選択が正しくできているか再度確認して「選択削除」をクリックします。(図 35)

→ 削除確認のダイアログが表示されます。

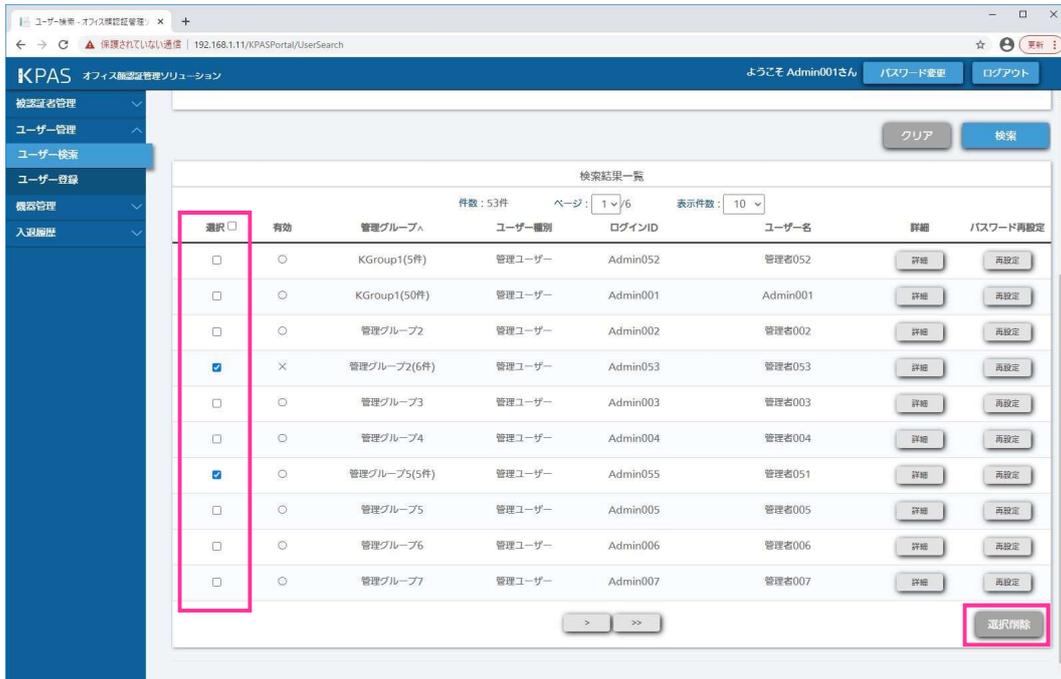


図 35 管理ポータル ユーザー検索画面 (下部)

メモ

選択削除は、複数ページをまたがって選択することはできません。

選択削除するユーザーが複数ページに存在する場合は、表示されているページ毎に選択削除するか、「表示件数」右のプルダウンメニューから表示件数を増やして選択削除してください。

実行する場合は、[OK] をクリックします。(図 36)

→ 削除完了のダイアログが表示されます。

[Cancel] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 36 管理ポータル ユーザー選択削除 確認ダイアログ

削除完了のダイアログの [OK] をクリックします。(図 37)

→ ユーザー検索画面が表示されます。



図 37 管理ポータル ユーザー選択削除 完了ダイアログ

以上で選択削除は完了です。

②個別削除の方法

ユーザー検索結果一覧（図 26）から削除したいユーザーの行の「詳細」をクリックし、ユーザー編集画面を開きます。

削除したいユーザーが再度確認して「削除」をクリックします。（図 38）

→ 削除確認のダイアログが表示されます。



図 38 管理ポータル ユーザー編集画面

実行する場合は、「OK」をクリックします。（図 39）

→ 削除完了のダイアログが表示されます。

「Cancel」ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 39 管理ポータル ユーザー個別削除 確認ダイアログ

削除完了のダイアログの「OK」をクリックします。（図 40）

ユーザー検索画面が表示されます。

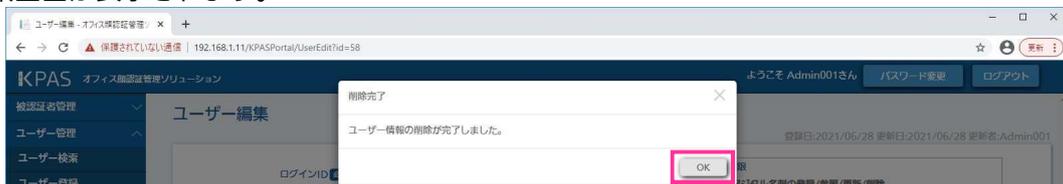


図 40 管理ポータル ユーザー個別削除 完了ダイアログ

以上で個別削除は完了です。

3.1.5. デジタル名刺の管理

KPAS システムでは、チェッカーで認証する人物（被認証者）の情報はデジタル名刺として管理されます。デジタル名刺は顔画像、名刺画像、および、被認証者の各種情報から構成されています。デジタル名刺の管理は管理ポータルから行います。

照合グループは最大 250 グループまで登録できます。

1 つの照合グループに紐づけることができるデジタル名刺は最大 10 万件までです。

デジタル名刺の登録／編集／削除をするためには、ログインユーザーに「デジタル名刺の登録／参照／更新／削除」の機能権限が必要です。「デジタル名刺の登録／参照／更新／削除」の機能権限を付与すると「デジタル名刺の参照」の機能権限も自動的に付与されます。

ログインユーザーに付与された機能権限が「デジタル名刺の参照」のみの場合、登録されているデジタル名刺の参照はできますが、登録／編集／削除を行うことはできません。

デジタル名刺の管理には、デジタル名刺を 1 件ずつ管理する方法と、複数のデジタル名刺を一括で管理する方法があります。

メモ

デジタル名刺は複数の照合グループに紐づけることができます。被認証者は、同一の照合グループに属するチェッカーでのみ認証されます。

照合グループとは、被認証者とチェッカーが属するグループで、各エリアへのアクセス制御に使用することができます。照合グループ A に属する被認証者 1a とチェッカー 1a、照合グループ B に所属するチェッカー 2b があった場合、被認証者 1a は、チェッカー 1a では認証成功となりますが、チェッカー 2b では認証できません（認証失敗）。例えば、総務部に所属する被認証者と総務部エリアの入り口のチェッカーを総務グループという照合グループに割り当てるといった使い方をします。照合グループが不明な場合、照合グループの編集（追加、削除、名称変更など）についてはシステム納入会社までお問い合わせください。

3.1.5.1. 顔画像の要件

顔画像の要件を表 2 に示します。管理ポータルからデジタル名刺を登録する前に、被認証者の顔画像が要件を満たしていることを確認してください。要件を満たさない顔画像を登録すると、認証精度が低下するおそれがあります。

また、一部の要件（下線項目）については登録時に KPAS システムで判定（品質チェック）しています。顔画像が登録できない場合、要件を満たしていることを確認してください。

表 2 登録する顔画像の要件

カテゴリ	要件
明るさ・照明	<u>顔が極度に明るいまたは暗くないこと</u> 逆光になっていないこと 顔が白飛びしていないこと
顔向き	<u>顔が正面を向き、上下左右に向いたり、傾いていないこと</u>
装着物	<u>帽子、マスク、サングラス、マフラーなどを装着していないこと</u> <u>髪の毛で目が隠れていないこと</u> 眼鏡のふちで目が隠れていないこと 眼鏡のレンズに光が反射していないこと
その他	<u>無表情であること</u> <u>目を瞑っていないこと</u> <u>口を開けたり、隠していないこと</u> <u>画像にボケ・ブレ・ノイズがなく、鮮明であること</u> 顔が横 200 画素～1080 画素、縦 200 画素～1080 画素であり、顔全体が映っていること 背景は無地で、画像内に本人のみが写っていること カメラ、またはカメラソフトによって極端に画像加工がされていないこと 画像が回転していないこと 画像が左右反転していないこと 5 年以内に撮影されたものであること

3.1.5.2. 名刺画像の要件

名刺画像の要件を表3に示します。管理ポータルで名刺を登録した場合、OCR（Optical Character Recognition：光学的文字認識）処理により、名刺の情報が自動的に入力されます。表3の要件を満たさない名刺画像でも登録できますが、OCRの精度が大きく低下するおそれがあります。なお、名刺画像の条件およびOCR可能な文字はレジスターで名刺を読み取った場合も同様です。

表3 登録する名刺画像の要件

カテゴリ	要件
明るさ・照明	名刺が明るく鮮明に映っていること 名刺上に濃い影が発生していないこと 名刺に光が反射していないこと
その他	名刺の角が折れていないこと 名刺の文字や角に汚れがないこと 名刺と名刺の背景が同色でないこと 名刺の4角が映っていること

OCR可能な文字は以下の仕様です。

書体：明朝体、ゴシック体

文字：約6,800字【英字、数字、ひらがな、カタカナ、JIS記号（一部）168文字、
ギリシャ文字（一部）32字、JIS第1水準漢字、JIS第2水準漢字】

文字サイズ：6～60ポイント

メモ

デザインにより角が分かりにくい名刺、姓名/会社名と同じ行にロゴマークなどの図形や企業スローガンなどの文字がある名刺、姓名/会社名が複数の書体で表記されている名刺、および、姓名/会社名がそれぞれ複数行に記載されている名刺は、認識率が低下する場合があります。

3.1.5.3. デジタル名刺を1件ずつ登録する

STEP1

管理ポータルにログインします。（『3.1.1.管理ポータルへログインする』参照）

STEP2

画面左側メニューの「被認証者管理」>「デジタル名刺登録」をクリックします。（図41）
→ デジタル名刺登録画面が表示されます。



図41 管理ポータル メニュー画面

STEP3

表 4 (33 ページ) を参考に各項目を入力します。
実行する場合は、[登録] ボタンをクリックします。(図 42)
→ 登録確認のダイアログが表示されます。
[クリア] ボタンをクリックすると、入力した内容が消去されます。

図 42 管理ポータル デジタル名刺登録画面

重要

KPAS では登録されたデジタル名刺の重複をチェックしていませんので、[登録] ボタンを 2 回クリックした場合、同じ内容のデジタル名刺が 2 重に登録されます。同一人物を 2 重登録した場合、認証時には 2 重に登録されたどちらかの人物として認証されます。認証ログなどで各人物の入退出を管理する場合など、本動作で不都合が発生する場合は、1 人の人物の登録は 1 回のみ行ってください。2 重に登録されている場合は、一方のデジタル名刺を削除してください。

メモ

入力内容にエラーがあった場合、その内容が赤文字で表示されます。
[クリア] ボタンをクリックすると、入力した内容がすべて削除されます。
名刺画像を登録した場合、OCR 処理が実行され、名刺に記載されている項目が自動入力されます。自動入力は [登録] ボタンをクリックしたときに実行されます。
OCR による文字認識の精度は 100 % でないため、入力された結果を確認し、必要であれば修正してください。

表 4 デジタル名刺登録情報

カテゴリ	項目名	説明
顔認証関連	顔画像（必須）	<p>〔画像選択〕 ボタンをクリックして、顔画像のファイルを選択します。顔画像のファイルは以下の要件を満たす必要があります。</p> <p>ファイル形式/拡張子：JPG/.jpg, .JPG, .jpeg, .JPEG ファイルサイズ：10 MB 以下 画像サイズ：横 5000 画素以下、縦 5000 画素以下</p> <p>顔画像の撮影に関する要件については『3.1.5.1.顔画像の要件』を参照してください。</p> <p>〔削除〕 ボタンをクリックすると、登録した画像を削除することができます。</p>
	被認証者区分（必須）	区分（社員/ゲスト）を選択します。 登録後は変更できません。
	姓（必須/OCR 対象）	名前（姓）を入力します。 全半角文字 1～64 文字以内で設定してください。
	名（必須/OCR 対象）	名前（名）を入力します。 全半角文字 1～64 文字以内で設定してください。
	被認証者 ID（社員の場合は必須）	社員番号など社員を識別する ID を入力します。 被認証者区分を「ゲスト」とした場合、入力不可となります。 被認証者区分を「社員」とした場合、必須入力となります。 半角英数字 1～255 文字以内で設定してください。 登録後は変更できません。 既に登録済みの被認証者 ID と同一でも登録可能です。
	入退 ID（必須）	eX-SG と連携する場合： eX-SG のテンキー ID と同じ文字を入力します。 ただし、すべて「0」の ID は使えません。 eX-SG と連携しない場合： 「0」を入力します。 半角英数字 1～100 文字以内で設定してください。 登録後は変更できません
	照合グループ（必須）	被認証者が所属する照合グループを選択します。 照合グループ（1～最大 250）の内、1 つ以上を選択してください。ログインユーザーが所属する管理グループに紐づけされた照合グループが表示されます。
	会議情報（必須）	「保存しない」を選択してください。
	付加情報	eX-SG と連携する場合： 入力する必要はありません。参考情報を入力することも可能です。 eX-SG と連携しない場合： チェッカーで認証成功時に表示する文字列を入力します。 全半角文字 32 文字以内で設定してください。
	有効日（必須）	顔認証が有効となる日（有効日）を入力します。 有効日の午前 0 時から有効になります。 入力形式：YYYY/MM/DD
	無効日	顔認証が無効となる日（無効日）を入力します。 無効日の午前 0 時に無効になります。 ※2021/3/31 を指定した場合、2021/3/31 は認証失敗になります。 入力形式：YYYY/MM/DD

カテゴリ	項目名	説明
	品質チェック (必須)	顔画像に対して品質チェックを実施するか否かを選択します。 「実施する」を選択してください。 品質チェックとは表 2 (30 ページ) の下線項目に関して要件を満たしていることを KPAS システム側で確認することです。『3.1.5.1.顔画像の要件』を満たしているにもかかわらず、登録できない場合のみ「実施しない」を選択してください。
名刺関連	名刺画像	〔画像選択〕 ボタンをクリックして、名刺画像のファイルを選択します。名刺画像ファイルは以下の要件を満たす必要があります。 ファイル形式/拡張子: JPG/.jpg, .JPG, .jpeg, .JPEG ファイルサイズ: 10 MB 以下 名刺および名刺撮影に関する要件については『3.1.5.2.名刺画像の要件』を参照してください。 〔削除〕 ボタンをクリックすると、登録した画像を削除することができます。
	会社名 (OCR 対象)	会社名を入力します。 全半角文字 64 文字以内で設定してください。
	部署名 (OCR 対象)	部署名を入力します。 全半角文字 64 文字以内で設定してください。
	役職 (OCR 対象)	役職を入力します。 全半角文字 64 文字以内で設定してください。
	TEL (OCR 対象)	電話番号を入力します。 全半角文字 20 文字以内で設定してください。
	FAX (OCR 対象)	FAX 番号を入力します。 全半角文字 20 文字以内で設定してください。
	E-mail (OCR 対象)	メールアドレスを入力します。 全半角文字 64 文字以内で設定してください。
	郵便番号 (OCR 対象)	郵便番号を入力します。 全半角文字 8 文字以内で設定してください。
	住所 (OCR 対象)	住所を入力します。 全半角文字 64 文字以内で設定してください。

メモ

照合グループとは、被認証者とチェッカーが属するグループで、各エリアへのアクセス制御に使用することができます。照合グループ A に属する被認証者 1a とチェッカー 1a、照合グループ B に所属するチェッカー 2b があった場合、被認証者 1a は、チェッカー 1a では認証成功となりますが、チェッカー 2b では認証できません (認証失敗)。例えば、総務部に所属する被認証者と総務部エリアの入り口のチェッカーを総務グループという照合グループに割り当てるといった使い方をします。照合グループが不明な場合、照合グループの編集 (追加、削除、名称変更など) についてはシステム納入会社までお問い合わせください。

STEP4

実行する場合は、[OK] をクリックします。(図 43)

→ 登録完了のダイアログが表示されます。

[Cancel] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 43 管理ポータル デジタル名刺登録 確認ダイアログ

登録完了のダイアログの [OK] をクリックします。(図 44)

→ 直前のデジタル名刺登録画面が表示されます。



図 44 管理ポータル デジタル名刺登録 完了ダイアログ

以上でデジタル名刺登録は完了です。

- 「顔画像の登録に失敗しました。顔画像を変更してください。」というダイアログが表示されたら
顔画像が『3.1.5.1.顔画像の要件』の要件を満たしていません。エラーコードが「登録顔画像品質チェックで品質値が規定外」の場合、メッセージ内容の下に（帽子、目隠蔽、マスク、顔サイズ、照度など）詳細が項目ごと表示されます。その項目に注意して顔画像を変更して再度登録してください。
- 「名刺画像の登録に失敗しました。名刺画像を変更してください。」というダイアログが表示されたら
名刺画像が『3.1.5.2.名刺画像の要件』の要件を満たしていません。名刺画像を変更して再度登録してください。
- 「被認証者の上限数に達したため、新規登録に失敗しました。」というダイアログが表示されたら
デジタル名刺が登録上限数に達しています。登録されているデジタル名刺を確認、 unnecessary デジタル名刺の削除をし、再度登録してください。上限数を増やす場合は、システム納入会社までお問い合わせください。
- 「登録に失敗しました。」というダイアログが表示されたら
登録に失敗しています。『3.1.5.4.デジタル名刺を検索・閲覧する』を参照し、登録状況を確認の上、再度登録してください。再度同じダイアログが表示された場合、システム納入会社までお問い合わせください。

3.1.5.4. デジタル名刺を検索・閲覧する

登録されているデジタル名刺を検索します。検索条件を入力しデジタル名刺を表示します。

検索結果エクスポートボタンでデジタル名刺の検索結果を ZIP ファイルでダウンロードすることができます。

STEP1

管理ポータルにログインします。(『3.1.1.管理ポータルへログインする』参照)

STEP2

画面左側メニューの「被認証者管理」>「デジタル名刺検索」をクリックします。(図 45)
→ デジタル名刺検索画面が表示されます。



図 45 管理ポータル メニュー画面

STEP3

画面上部に検索条件(表 4 (33 ページ)を参考に各項目を編集)を入力します。
設定可能な検索条件については表 5 (37 ページ)を参照してください。
検索フィールドの下にある「詳細条件▼」をクリックすると、より詳細な検索条件を追加できます。
ログインユーザーが所属する管理グループに紐づく照合グループのデジタル名刺のみ検索できます。
実行する場合は、「検索」ボタンをクリックします。(図 46)
→ 画面下部に検索結果一覧が表示されます。
[クリア] ボタンをクリックすると、入力した内容が消去されます。

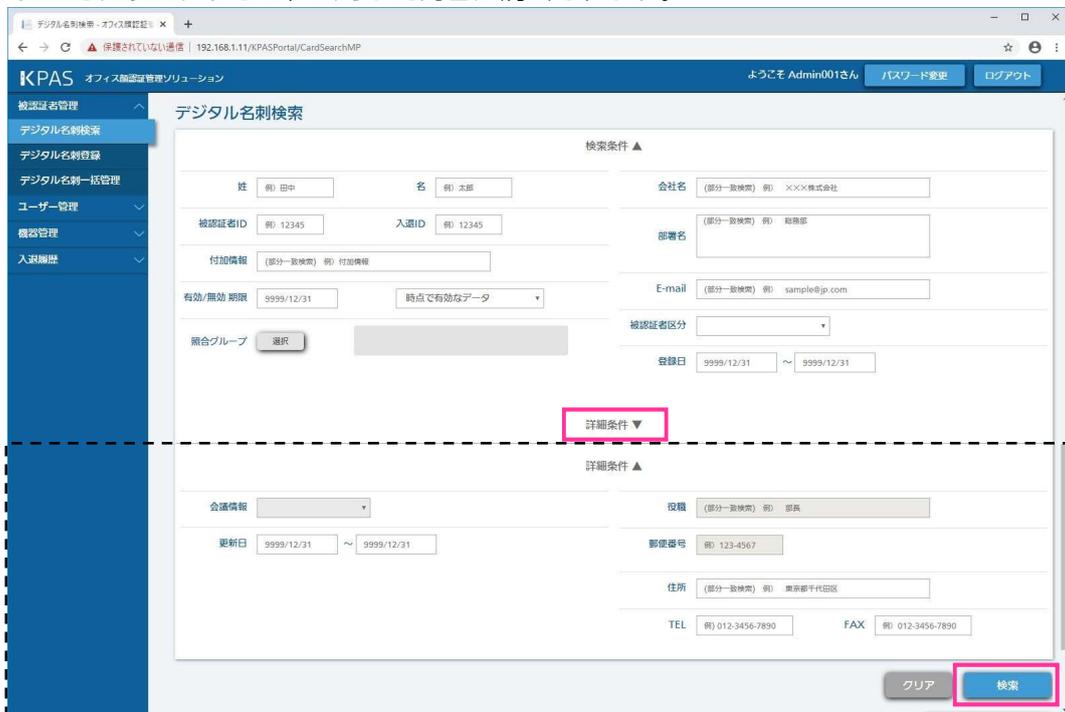


図 46 管理ポータル デジタル名刺検索画面

メモ

検索条件を設定しないで検索すると、登録されているすべてのデジタル名刺情報が表示されます。
複数の検索条件を設定できます。複数の条件を設定した場合、それらのすべての条件を満たしたデジタル名刺が表示されます。

「会議情報」「役職」「郵便番号」は条件として設定できません。
半角文字と全角文字は別の文字として検索します。

[クリア] ボタンをクリックすると、入力した検索条件、検索結果が消去されます。

表 5 デジタル名刺検索 検索条件

項目	検索条件
姓	入力した文字列と姓が完全一致するものを検索します。 全半角文字 64 文字以内で設定してください。
名	入力した文字列と名が完全一致するものを検索します。 全半角文字 64 文字以内で設定してください。
被認証者 ID	入力した文字列と被認証者 ID が完全一致するものを検索します。 半角英数字 255 文字以内で設定してください。
入退 ID	入力した文字列と入退 ID が完全一致するものを検索します。 半角英数字 100 文字以内で設定してください。
付加情報	入力した文字列と不可情報が部分一致するものを検索します。 全半角文字 32 文字以内で設定してください。
有効/無効 期限	日付を入力し、プルダウンメニューから「時点で有効なデータ」「時点で無効なデータ」を選択します。「時点で有効なデータ」を選択した場合は、指定した日付で有効な（有効日と無効日の間）ものを検索します。「時点で無効なデータ」を選択した場合は、指定した日付で無効な（有効日より前または無効日より後）ものを検索します。 入力形式：YYYY/MM/DD
照合グループ	[選択] ボタンをクリックし、照合グループを選択します。 ログインユーザーが所属する管理グループに紐づけされた照合グループが表示されます。 選択した場合は、照合グループに属するものを検索します。 選択しない場合は、ログインユーザーが所属する管理グループに紐づけされた照合グループすべてのものを検索します。
会社名	入力した文字列と会社名が部分一致するものを検索します。 全半角文字 64 文字以内で設定してください。
部署名	入力した文字列と部署名が部分一致するものを検索します。改行した場合、改行も検索の条件として扱います。 全半角文字 64 文字以内で設定してください。
E-mail	入力した文字列と E-mail が部分一致するものを検索します。 全半角文字 64 文字以内で設定してください。
被認証者区分	社員/ゲストを選択します。 被認証者区分が一致するものを検索します。
登録日	指定した範囲内に登録されたものを検索します。 入力形式：YYYY/MM/DD
会議情報 (詳細条件)	条件設定できません。
更新日 (詳細条件)	指定した範囲内に更新されたものを検索します。 入力形式：YYYY/MM/DD
役職 (詳細条件)	条件設定できません。
郵便番号 (詳細条件)	条件設定できません。
住所 (詳細条件)	入力した文字列と住所が部分一致するものを検索します。 全半角文字 64 文字以内で設定してください。
TEL (詳細条件)	入力した文字列と TEL が完全一致するものを検索します。 全半角文字 20 文字以内で設定してください。
FAX (詳細条件)	入力した文字列と FAX が完全一致するものを検索します。 全半角文字 20 文字以内で設定してください。

STEP4

検索結果一覧の閲覧したい被認証者の右側にある「詳細」ボタンをクリックします。(図 47)

→ ログインユーザーに付与された機能権限が「デジタル名刺の登録/参照/更新/削除」の場合、デジタル名刺編集画面が表示されます。

→ ログインユーザーに付与された機能権限が「デジタル名刺の参照」のみの場合、デジタル名刺詳細画面が表示されます。

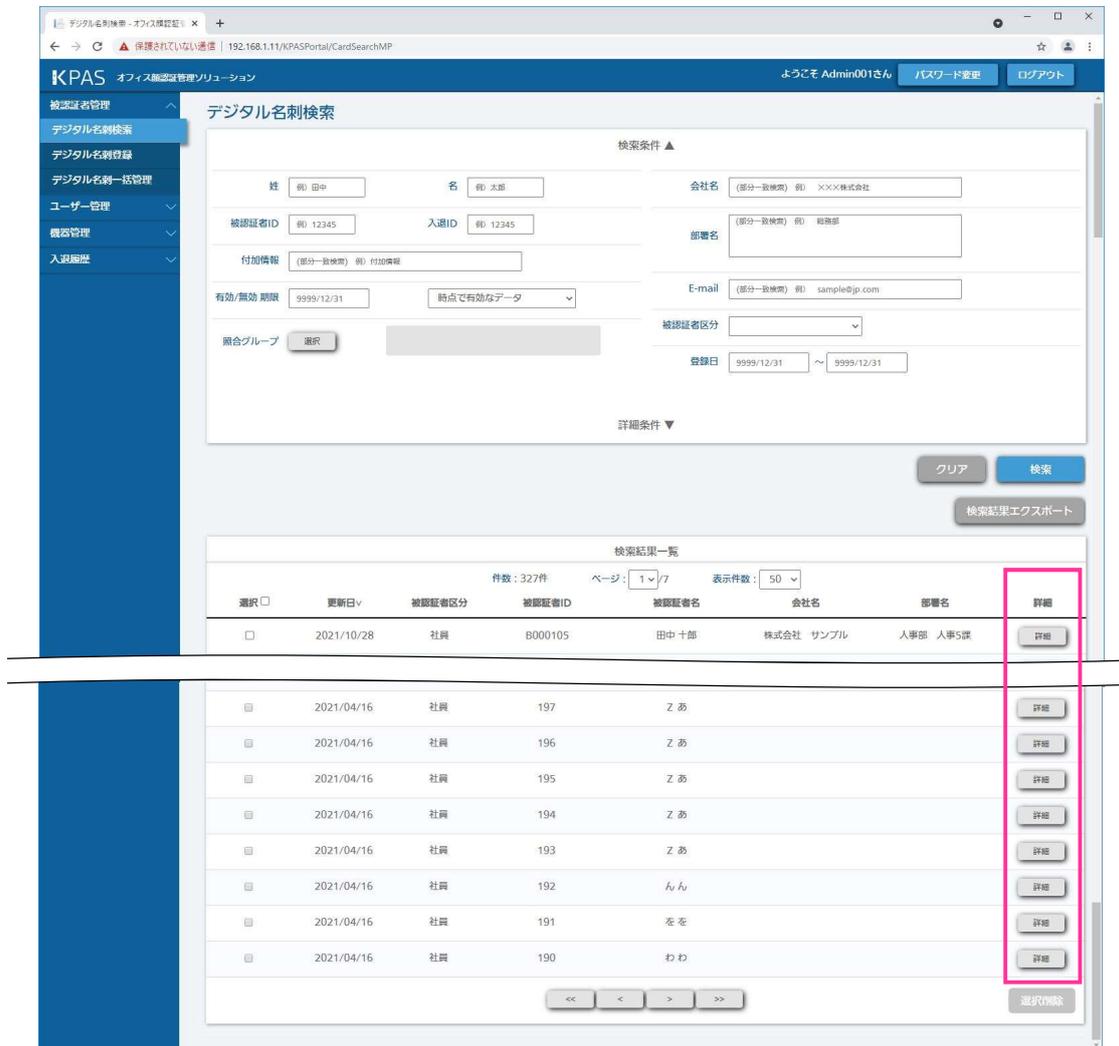


図 47 管理ポータル デジタル名刺検索画面（下部）検索結果一覧

メモ

検索結果は更新日時が新しいものから順（降順）に表示されます。

「更新日／被認証者 ID／被認証者名／会社名／部署名」の項目をクリックするとその項目で並べ替えることができます。また [^] / [v] ボタンをクリックすると、昇順／降順を切り替えることができます。

1 ページに表示する件数を、「表示件数」右のプルダウンメニューから選択できます。

ページの表示件数分見えていない場合は、スクロールバーを上下させ検索結果を表示できます。

検索結果が複数ページある場合、以下のボタンでページを移動できます。

[<<] ボタン：最初ページに移動します。

[<] ボタン：1 つ前のページに移動します。

[>] ボタン：1 つ後ろのページに移動します。

[>>] ボタン：最後ページに移動します。

名刺画像を拡大表示したい場合

名刺画像の右にある「拡大表示」ボタンをクリックします。(図 48)

→ 名刺参照画面が別ウィンドウで表示されます。



図 48 管理ポータル デジタル名刺編集画面

メモ

「戻る」ボタンをクリックすると、検索結果一覧画面に戻ります。

名刺参照ウィンドウの右下にある「回転」ボタンをクリックすると、名刺画像を時計回りに 90 度ずつ回転できます。(図 49)

名刺参照ウィンドウの右上にある「×」ボタンをクリックすると、ウィンドウは閉じます。

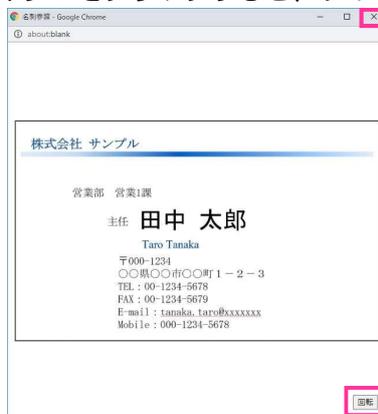


図 49 管理ポータル デジタル名刺検索 名刺拡大表示

デジタル名刺の変更履歴を確認したい場合
 名刺画像の右にある「経歴」ボタンをクリックします。(図 50)
 → 経歴一覧画面が別タブで表示されます。



図 50 管理ポータル デジタル名刺編集画面

経歴一覧タブの「×」ボタンをクリックすると、ウィンドウは閉じます。(図 51)



図 51 管理ポータル 経歴一覧画面

STEP5

検索結果をエクスポートしたい場合

検索結果全件分、または指定する先頭番号から指定する取得件数分のデータを CSV ファイルと画像ファイルを ZIP ファイルにしてダウンロードすることができます。

STEP3 で検索結果一覧を表示させたときに、画面中段にある [検索結果エクスポート] ボタンをクリックします。(図 52)

→ エクスポート対象のダイアログが表示されます。

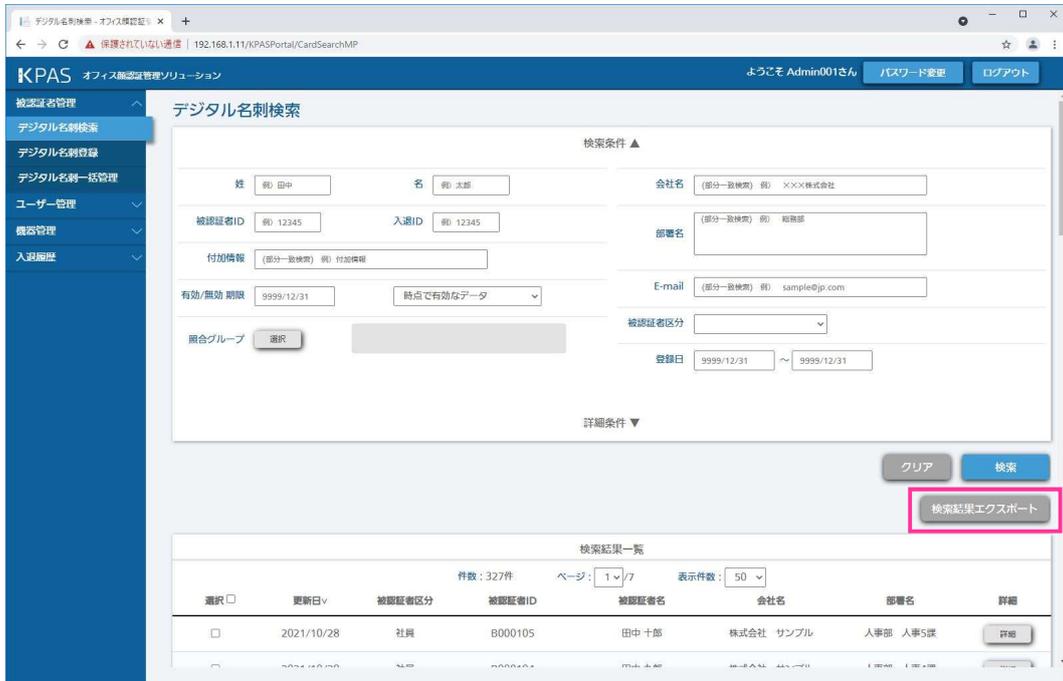


図 52 管理ポータル デジタル名刺検索結果

下記の確認ダイアログの内容を選択して [エクスポート] ボタンをクリックします。(図 53)

- 検索結果全件: 検索結果一覧全件のデジタル名刺データ
 - 検索結果の n 件目から m 件: 検索結果一覧表示順の n 件目から m 件分のデジタル名刺データ
- エクスポート完了のダイアログが表示されます。



図 53 管理ポータル デジタル名刺検索結果エクスポート 対象選択

エクスポート完了のダイアログの [OK] ボタンをクリックします。(図 54)

→ デジタル名刺検索画面が表示されます。



図 54 管理ポータル デジタル名刺検索結果エクスポート 完了ダイアログ

以上で検索結果エクスポートは完了です。データはダウンロードフォルダーに保存されます。

3.1.5.5. デジタル名刺を編集する

登録されているデジタル名刺の情報を編集することができます。

STEP1

『3.1.5.4. デジタル名刺を検索・閲覧する』の STEP1 ～ STEP4 を実施し、編集したいデジタル名刺編集画面を表示します。

STEP2

表 4（33 ページ）を参考に各項目を編集します。
実行する場合は、[更新] ボタンをクリックします。（図 55）
→ 更新確認のダイアログが表示されます。
入力内容に不備があった場合、赤字でその内容が表示されます。

メモ

[戻る] ボタンをクリックすると、検索結果一覧画面に戻ります。
編集した内容は [更新] ボタンをクリックするまでは反映されません。[戻る] ボタンをクリックすれば、編集をキャンセルできます。

図 55 管理ポータル デジタル名刺編集画面

STEP3

実行する場合は、[OK] をクリックします。(図 56)

→ 更新完了のダイアログが表示されます。

[Cancel] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 56 管理ポータル デジタル名刺更新 確認ダイアログ

更新完了のダイアログの [OK] をクリックします。(図 57)

→ デジタル名刺検索画面が表示されます。



図 57 管理ポータル デジタル名刺更新 完了ダイアログ

以上でデジタル名刺の編集は完了です。

- 「顔画像の登録に失敗しました。顔画像を変更してください。」というダイアログが表示されたら
顔画像が『3.1.5.1.顔画像の要件』の要件を満たしていません。エラーコードが「登録顔画像品質チェックで品質値が規定外」の場合、メッセージ内容の下に（帽子、目隠蔽、マスク、顔サイズ、照度など）詳細が項目ごと表示されます。その項目に注意して顔画像を変更して再度登録してください。
- 「名刺画像の登録に失敗しました。名刺画像を変更してください。」というダイアログが表示されたら
名刺画像が『3.1.5.2.名刺画像の要件』の要件を満たしていません。名刺画像を変更して再度登録してください。
- 「既に削除されているため、更新に失敗しました。」というダイアログが表示されたら
デジタル名刺が削除されています。新しく登録し直してください。
- 「デジタル名刺更新に失敗しました。」というダイアログが表示されたら
更新に失敗しています。『3.1.5.4.デジタル名刺を検索・閲覧する』を参照し、登録状況を確認の上、再度登録してください。再度同じダイアログが表示された場合、システム納入会社までお問い合わせください。

3.1.5.6. デジタル名刺を1件ずつ削除する

登録されているデジタル名刺をデジタル名刺編集画面で内容を確認しながら1件ずつ削除します。

STEP1

『3.1.5.4.デジタル名刺を検索・閲覧する』の STEP1 ～ STEP4 を実施し、削除したいデジタル名刺編集画面を表示します。

STEP2

デジタル名刺の詳細を確認し、[削除] ボタンをクリックします。(図 58)
→ 削除確認のダイアログが表示されます。



図 58 管理ポータル デジタル名刺編集画面

メモ

[戻る] ボタンをクリックすると、検索結果一覧画面に戻ります。

STEP3

実行する場合は、[OK] ボタンをクリックします。(図 59)
→ 削除完了のダイアログが表示されます。
[Cancel] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 59 管理ポータル デジタル名刺削除 確認ダイアログ

削除完了のダイアログの [OK] ボタンをクリックします。(図 60)
→ デジタル名刺検索画面が表示されます。



図 60 管理ポータル デジタル名刺削除 完了ダイアログ

■ 「デジタル名刺削除に失敗しました。」というダイアログが表示されたら
削除に失敗しています。『3.1.5.4. デジタル名刺を検索・閲覧する』を参照し、登録状況を確認の上、再度削除してください。再度同じダイアログが表示された場合、システム納入会社までお問い合わせください。

以上でデジタル名刺の 1 件ずつ削除は完了です。

3.1.5.7. デジタル名刺を選択削除する

登録されているデジタル名刺を検索結果から複数選択して削除します。

STEP1

『3.1.5.4.デジタル名刺を検索・閲覧する』の STEP1 ～ STEP3 を実施し、デジタル名刺の検索結果一覧を表示します。

STEP2

検索結果一覧の中から削除したいデジタル名刺の行にある選択にを入れます。選択が正しくできているか再度確認して [選択削除] をクリックします。(図 61)
→ 削除確認のダイアログが表示されます。



図 61 管理ポータル デジタル名刺検索結果一覧 選択削除

メモ

選択削除は、複数ページをまたがって選択することはできません。
選択削除するデジタル名刺が複数ページに存在する場合は、表示されているページ毎に選択削除するか、「表示件数」右のプルダウンメニューから表示件数を増やして選択削除してください。

STEP3

実行する場合は、[OK] をクリックします。(図 62)
→ 削除完了のダイアログが表示されます。
[Cancel] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 62 管理ポータル デジタル名刺選択削除 確認ダイアログ

削除完了のダイアログの [OK] をクリックします。(図 63)
→ デジタル名刺検索画面が表示されます。



図 63 管理ポータル デジタル名刺選択削除 完了ダイアログ

n 件中、m 件の削除が完了しました。削除完了した m 件中、N 件が同期失敗しました。

- n : 削除を選択した件数
- m : KPAS 管理サーバー上のデータ削除に成功した件数
- N : 顔照合サーバーへ削除情報の同期に失敗した件数

メモ

削除件数が選択件数より少ない場合、(n - m) 件の削除に失敗しています。『3.1.5.4. デジタル名刺を検索・閲覧する』を参照し、登録状況を確認の上、再度削除してください。
同期に失敗していても、自動的に再同期処理が実行されるため問題ありません。同期を急がれる方は、『3.1.5.9. 顔認証用データを同期する』を参照し、手動で同期処理を実行してください。

■ 「〇〇〇のデジタル名刺削除に失敗しました。」というダイアログが表示されたら

削除に失敗しています。『3.1.5.4. デジタル名刺を検索・閲覧する』を参照し、登録状況を確認の上、再度削除してください。再度同じダイアログが表示された場合、システム納入会社までお問い合わせください。

以上でデジタル名刺の選択削除は完了です。

3.1.5.8. デジタル名刺を一括管理（登録/更新/削除）する

複数のデジタル名刺をまとめて登録/更新/削除することができます。

STEP1

デジタル名刺の一括管理は拡張子.zip の圧縮ファイルを指定して実行します。

ZIP 圧縮ファイルは以下のファイルから構成されます。

- 一括管理するデジタル名刺の情報をコンマ区切りで記述した CSV ファイル
- 登録する人の顔画像ファイル
- 名刺画像ファイル（任意、必須ではありません）

次の手順で作成します。

(1) 構成ファイルを保存するフォルダーの作成

フォルダーを作成します。フォルダー名は任意です。

(2) CSV ファイルの作成

表 6（47 ページ）の項目をカンマ「,」区切り、1 デジタル名刺分を 1 行で記述した CSV ファイルを作成し、(1) で作成したフォルダーに保存します。CSV ファイルのファイル名は任意の文字列 + 「.csv」、文字コードは「SJIS」としてください。CSV ファイルの先頭行はヘッダーとして扱われ、登録されません。先頭行には任意の文字列を記載することが可能ですが、表 6 の項目名を入れると入力しやすくなります。なお、各項目内にカンマ「,」は使用できません。



メモ

表 6 の項目名で（必須）と記載されていない項目は入力しなくても問題ありませんが、必ずカンマ「,」で区切ってください。

CSV ファイルは Microsoft Excel でも作成、編集可能ですが、通常の設定では、日付が「2021/4/1」と一桁の月日の先頭「0」がない値で保存されます（正しい形式は「2021/04/01」）。Microsoft Excel の各種説明を参考に正しいフォーマットで扱うようにするか、テキストエディタ（メモ帳など）で 0 を追記してください。

(1) で作成したフォルダー内には CSV ファイルを 1 つだけ保存してください。複数個の CSV ファイルがあると正しく動作しません。

表6 デジタル名刺一括管理（登録/更新/削除）情報

項目名	内容	設定例	備考
被認証者区分（必須）	表4（33 ページ）参照	1	1:社員 2:ゲスト
姓（必須）	表4 参照	田中	
名（必須）	表4 参照	太郎	
被認証者 ID（社員の 場合は必須）	表4 参照	A123456	被認証者区分が社員の 場合は、必須項目
入退 ID（必須）	表4 参照	A123456	
照合グループ ID （必須）	所属する照合グループ ID を「-」区 切りで記載	1-2-100	照合グループ ID が不明な 場合は、システム納入会社 にお問い合わせください
有効日（必須）	表4 参照	2021/04/01	
無効日	表4 参照	2021/12/31	
顔画像（必須）	顔画像ファイルの場所を CSV ファ イルからの相対パスで記載	face.jpg	
名刺画像	名刺画像ファイルの場所を CSV ファ イルからの相対パスで記載	card.jpg	
付加情報	表4 参照	物流部門の責任者	
会議情報（必須）	表4 参照 「1」を入力してください	1	
会社名	表4 参照	パナソニック	
部署名	表4 参照	開発部開発1課	
役職	表4 参照	部長	
TEL	表4 参照	03-1234-5678	
FAX	表4 参照	03-1234-5678	
E-mail	表4 参照	address@sample.co.j p	
郵便番号	表4 参照	123-4567	
住所	表4 参照	東京都千代田区	
更新者	データの登録（更新）者として登録す る人物の名前を入力 入力可能文字：全角文字、半角文字 文字数：30 文字以内	田中 太郎	
処理種別フラグ	登録/更新/削除の処理種別フラグを入 力 入力可能文字：半角英数 文字数：3 文字	MOD	ADD：登録 MOD：更新 DEL：削除 空欄、上記以外：無処理
RegistrationID （※）	ID 入力可能文字：半角数字 文字数：10 字	2001	処理種別フラグに MOD および DEL を指定した場 合は、必須項目

（※）：RegistrationID は、新規登録時に自動的に割り当てられます。

既に登録されているデジタル名刺を一括で更新/削除する場合は、最初にデジタル名刺のエクスポートを行い、取得した CSV ファイルを使用して、一括管理用の CSV ファイルを作成してください。

(3) 顔画像ファイル、名刺画像ファイルの配置

顔画像ファイル、名刺画像ファイルを(1)で作成したフォルダーに保存します。

メモ

顔画像ファイル、名刺画像ファイルは CSV ファイルと同じ階層ではなく、新たに作成したフォルダーに配置することも可能です。

(4) ZIP ファイルの作成

(1)で作成したフォルダーを右クリックし、「送る>圧縮(zip 形式)フォルダー」を選択して ZIP ファイルを作成します。

重要

作成された ZIP ファイル名は「(1)で作成したフォルダー名.zip」となるようにしてください。

STEP2

管理ポータルにログインします。(『3.1.1.管理ポータルへログインする』参照)

STEP3

画面左側メニューの「被認証者管理」>「デジタル名刺一括管理」をクリックします。(図 64)
→ デジタル名刺一括管理画面が表示されます。



図 64 管理ポータル メニュー画面

STEP4

「ファイルを選択」ボタンをクリックし、STEP1 で作成した ZIP ファイルを選択します。
「品質チェック」で「実施する」を選択し、「実行」ボタンをクリックします。(図 65)
→ 実行確認のダイアログが表示されます。



図 65 管理ポータル デジタル名刺一括管理

重要

品質チェックとは表 2（30 ページ）の下線項目に関して要件を満たしていることを KPAS システム側で確認することです。『3.1.5.1.顔画像の要件』を満たしているにもかかわらず、登録できない場合のみ「実施しない」を選択してください。

STEP5

実行する場合は、[OK] ボタンをクリックします。（図 66）

→ 処理中のダイアログ（図 67）が表示され、処理が終わると登録/更新/削除完了のダイアログが表示されます。[Cancel] ボタンをクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。



図 66 管理ポータル デジタル名刺一括管理 実行 確認ダイアログ



図 67 管理ポータル デジタル名刺一括管理 実行処理中

登録/更新/削除完了のダイアログの [OK] ボタンをクリックします。（図 68）

→ デジタル名刺一括管理画面が表示されます。



図 68 管理ポータル デジタル名刺一括管理 実行 完了ダイアログ

メモ

登録する画像サイズによっては、目安時間以上に時間がかかることがあります。

表示されている目安時間を大きく過ぎても処理が完了しない場合は、サーバーとの通信が切断している可能性があります。一度ブラウザを閉じ、再度 STEP4 からやり直してください。

■実行時にエラーが発生した場合

エラーが発生した行毎に表 7（50 ページ）の情報を出力します。「要再実行」の欄に○が表示されたレコードについては、登録されていませんので、エラー内容を参考に CSV ファイルを修正し、再実行を実施してください。このとき、実行が正常に完了した行は CSV ファイルから削除してください。削除しないと 2 重に実行されてしまいます。

エラー内容が「登録に失敗しました。」の場合は、存在しない被認証者区分または照合グループ ID を指定している可能性があります。正しい被認証者 ID または照合グループ ID を指定してください。上記以外のエラーについては、『3.1.5.3.デジタル名刺を 1 件ずつ登録する』の STEP5 に記載しているエラーと対処法の内容を参照し、対応してください。

メモ

1 レコードで複数のエラーが発生した場合、そのうちの 1 件のみ表示されます。エラーが表示されなくなるまで、修正/再登録を繰り返してください。

画面右下にある [結果出力] ボタンをクリックするとすべてのエラーが CSV 形式で出力されます。1 ページに表示するエラーの件数を、「表示件数」右のプルダウンメニューから選択できます。

エラー一覧が複数ページある場合、以下のボタンでページを移動できます。

[<<] ボタン：最初ページに移動します。

- [<] ボタン : 1 つ前のページに移動します。
- [>] ボタン : 1 つ後ろのページに移動します。
- [>>] ボタン : 最後ページに移動します。

表 7 デジタル名刺一括実行エラー出力項目

項目名	説明
No	エラー毎に割り振られる識別番号（詳細は非公開です）
エラー行	エラーが発生している行の CSV ファイル上の行数（ヘッダーである先頭行を除きます）
エラー項目	エラーが発生している項目
エラー内容	発生しているエラーの内容
要再実行	○：再実行が必要（未登録） ×：再実行が不要（登録済み）

以上でデジタル名刺の一括管理は完了です。

3.1.5.9. 顔認証用データを同期する

デジタル名刺を登録／削除すると、デジタル名刺のデータは KPAS 管理サーバーのデータベースに登録／削除され、さらに顔認証に必要な情報については、顔照合サーバーへ転送されます（同期処理）。これらは通常、デジタル名刺の登録／削除と同時に実行されます。さらに KPAS システムでは、通信不具合などが原因で顔照合サーバーとの同期に失敗した場合を考慮し、毎日午前 0 時 1 分から午前 1 時 30 分（標準設定）に自動的に同期処理が再実行されます。従って通常は必要ありませんが、同期を急ぐ場合などは、手動で同期処理を実行することもできます。

STEP1

KPAS 管理サーバーへログインします。

重要

KPAS 管理サーバーのログイン ID／パスワードが不明な場合は、システム納入会社にお問い合わせください。

STEP2

デスクトップ左下のスタートボタンを右クリックし、「ファイル名を指定して実行」を選択します。（図 69）



図 69 ファイル名を指定して実行

STEP3

表示されたダイアログに「taskschd.msc」と入力し、[OK] ボタンをクリックします。

STEP4

左のウィンドウで「タスクスケジューラ(ローカル)」>「タスクスケジューラ ライブラリ」の順に展開し、登録されているタスクの一覧を表示します。(図 70)

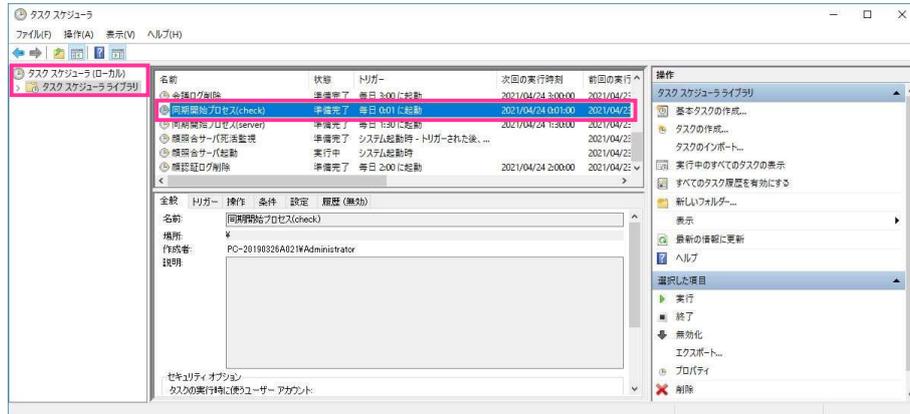


図 70 タスクスケジューラライブラリ

STEP5

中央上のウィンドウで「同期開始プロセス(check)」のタスクを右クリックし、「実行する」を選択します。

STEP6

しばらくたった後、F5 キーを押して、状態を更新します。

STEP7

「同期開始プロセス(check)」のタスクの状態が「実行中」から「準備完了」に変わっていることを確認してから、「同期開始プロセス(server)」のタスクを右クリックし、「実行する」を選択します。「同期開始プロセス(server)」のタスクの状態が「実行中」から「準備完了」に変わると同期完了です。

3.1.6.入退履歴の参照

3.1.6.1. 管理ポータルで入退履歴を検索・閲覧する

入退履歴を検索します。検索条件を入力し、条件に合致した入退履歴を表示します。

STEP1

管理ポータルにログインします。(『3.1.1.管理ポータルへログインする』参照)

STEP2

画面左側メニューの [入退履歴] > [入退履歴検索] をクリックします。(図 71)

→ 入退履歴検索画面が表示されます。



図 71 管理ポータル メニュー画面

STEP3

検索条件を指定します。

設定可能な検索条件は表 8 を参照してください。

実行する場合は、[検索] ボタンをクリックします。(図 72)

→ 画面下部に検索結果が表示されます。

[クリア] ボタンをクリックすると、入力した内容が消去されます。

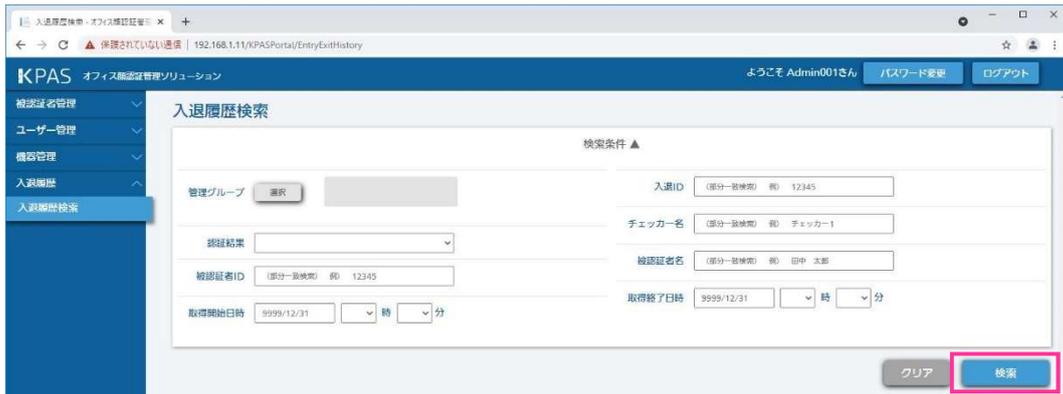


図 72 入退履歴検索画面

表 8 入退履歴検索条件

項目	検索条件
管理グループ	[選択] をクリックするとログインユーザーが所属する管理グループが表示されるので検索するグループを選択します。 複数表示されている場合は、複数選択もできます。 未選択の場合は、ログインユーザーが所属するすべての管理グループが対象となります。

項目	検索条件
入退 ID	入力した文字列が入退 ID と部分一致するものを検索します。 入力可能文字：半角英数字 文字数：100 文字以内
認証結果	認証結果が一致するものを検索します。 プルダウンメニューから「(空欄)」「成功」「失敗」を選択します。 未選択の場合は、すべての認証結果が対象となります。
チェッカー名	入力した文字列がチェッカー名と部分一致するものを検索します。 チェッカー名が不明な場合は、システム納入会社にお問い合わせください。 入力可能文字：すべての文字 文字数：64 文字以内
被認証者 ID	入力した文字列が被認証者 ID と部分一致するものを検索します。 入力可能文字：半角数字 文字数：7 文字以内
被認証者名	入力した文字列が被認証者名と部分一致するものを検索します。 入力可能文字：すべての文字 文字数：30 文字以内
取得開始日時	指定された日時以降のものを検索します。 指定する場合は、「時」、「分」まで入力してください。 指定されていない場合は、取得終了日時までのすべてのデータが検索対象となります。
取得終了日時	指定された日時までのものを検索します。 指定する場合は、「時」、「分」まで入力してください。 指定されていない場合は、取得開始日時以降のすべてのデータが検索対象となります。

認証毎に、入退日時（秒まで）、認証結果【成功／失敗】、チェッカーID、チェッカー名、管理グループ、被認証者 ID、被認証者名、入退 ID、顔画像が表示されます。(図 73)

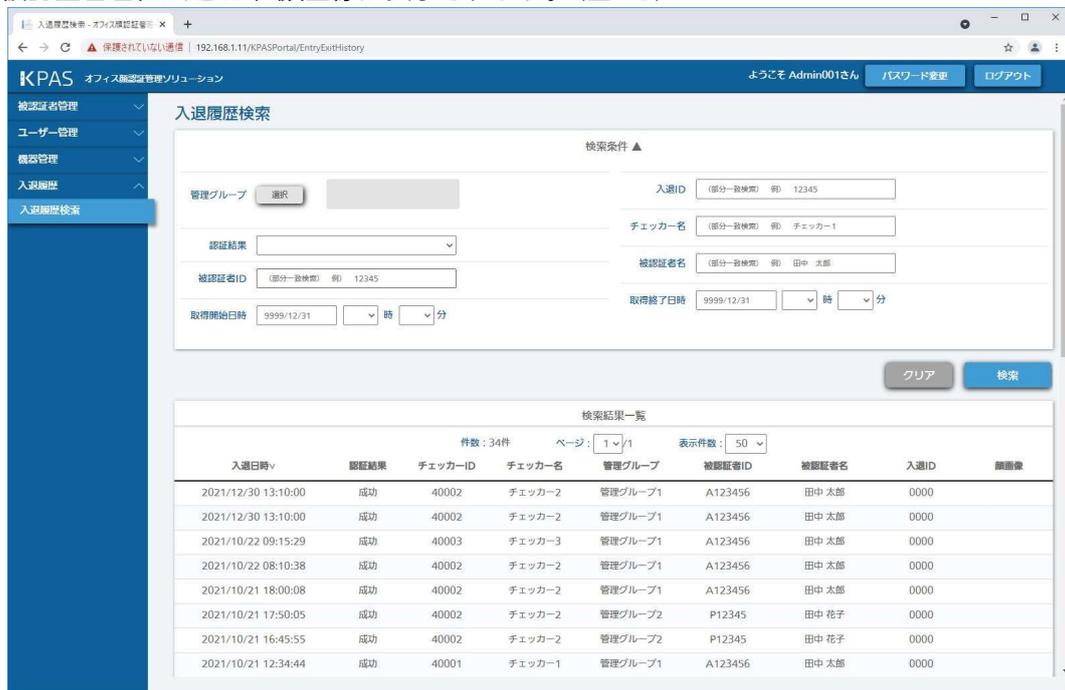


図 73 管理ポータル 入退履歴検索結果

メモ

入退履歴は 180 日間保存されます（標準設定）。

入退履歴に顔画像が保存されている場合は、顔画像項目に「画像」ボタンが表示されます。標準設定では顔画像は保存されません。表示させたい場合は、システム納入会社にお問い合わせください。

3.1.6.2. 入退履歴をエクスポートする

入退履歴サーバーから下記 4 つの方法で入退履歴をエクスポートすることができます。

- ①入退履歴エクスポート_期間指定 (顔画像なし)
- ②入退履歴エクスポート_期間指定
- ③入退履歴エクスポート_全件 (顔画像なし)
- ④入退履歴エクスポート_全件

エクスポートされるデータは下表の内容です。

No.	項目	名称	説明
1	id	入退履歴登録 ID	入退履歴 DB の登録 ID が出力されます。
2	entry_exit_date	入退日時	入退した日時 YYYY-MM-DD hh:mm:ss
3	authentication_id	認証機 ID	チェッカーID (※) が出力されます。
4	client_name	認証機名称	チェッカー名 (※) が出力されます。
5	authentication_result	認証結果	認証結果が出力されます。 1 : 成功 2 : 失敗
6	entry_exit_flg	入退フラグ	未対応
7	authenticated_person_id	被認証者登録 ID	被認証者登録 ID (※) が出力されます。
8	authenticated_person_code	被認証者コード	被認証者 ID が出力されます。
9	authenticated_person_name	被認証者名	被認証者名が出力されます。 ・姓 名 姓と名の間には半角スペースが入ります。
10	entry_exit_id	入退 ID	被認証者の入退 ID が出力されます。
11	temperature	体表面温度	未対応
12	mask_flg	マスク有無フラグ	未対応
13	management_group_id	管理グループ ID	管理グループ ID (※) が出力されます。 複数の管理グループ ID がある場合は、区切り文字「,」で連結されます。 例) 1,2,3
14	management_group_name	管理グループ名称	管理グループ名称 (※) が出力されます。 複数の管理グループ名称がある場合は、区切り文字「,」で連結されます。 例) グループ 1,グループ 2,グループ 3
15	image_flg	画像有無フラグ	入退履歴に対応する画像有無 (※) が出力されます。 0 : 画像なし 1 : 画像あり
16	regist_date	登録日時	入退履歴が登録された日時が出力されます。 YYYY-MM-DD hh:mm:ss

(※) 詳しくはシステム納入会社にお問い合わせください。

また、②入退履歴エクスポート_期間指定と④入退履歴エクスポート_全件でエクスポートした場合、顔画像ファイルが下記の内容で出力されます。

・デスクトップの「入退履歴エクスポート」フォルダーにバッチファイルを実行した日時の「YYYYMMDD_hhmmss」フォルダーが作成され、そのフォルダー内に「image_n」フォルダーが作成されます。

n = 0,1 ~ N (「n」は 1000 件ごとに作成されます。)

※ YYYYMMDD_hhmmss : 入退履歴エクスポートの実行日時の西暦年月日時分秒の 14 桁

・ファイル名は「face_(入退履歴登録 ID).jpeg」の形式で出力されます。

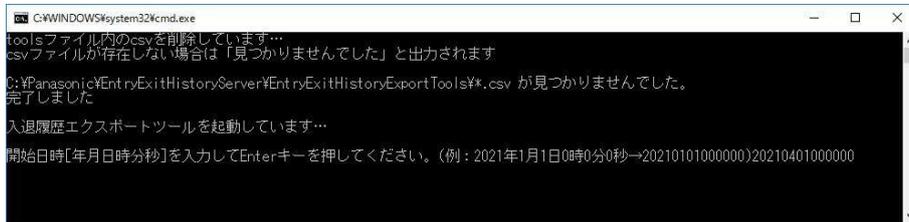
①入退履歴エクスポート_期間指定（顔画像なし）の手順

STEP1

デスクトップの「入退履歴エクスポート」フォルダー内の「入退履歴エクスポート_期間指定（顔画像なし）.bat」を実行します。

STEP2

コマンドプロンプトに「開始日時[年月日時分秒]を入力して Enter キーを押してください。」と表示されるので、開始日時を [YYYYMMDDhhmmss] の形式で入力し、Enter キーを押してください。



STEP3

コマンドプロンプトに「終了日時[年月日時分秒]を入力して Enter キーを押してください。」と表示されるので、終了日時を [YYYYMMDDhhmmss] の形式で入力し、Enter キーを押してください。



STEP4

デスクトップの「入退履歴エクスポート」フォルダー内にバッチファイルを実行した日時の「YYYYMMDD_hhmmss」フォルダーが作成されエクスポートしたファイルが出力されます。

出力されるファイル名：EntryExitHistory_出力した日付_出力した時間_開始日時-終了日時_nolmage.tsv
※「出力した日付」、「出力した時間」はそれぞれ [YYYYMMDD]、[hhmmss] の形式で出力されます。

②入退履歴エクスポート_期間指定の手順

STEP1

デスクトップの「入退履歴エクスポート」フォルダー内の「入退履歴エクスポート_期間指定.bat」を実行します。

STEP2

①入退履歴エクスポート_期間指定（顔画像なし）の時と同じ手順です。
コマンドプロンプトに「開始日時[年月日時分秒]を入力して Enter キーを押してください。」と表示されるので、開始日時を [YYYYMMDDhhmmss] の形式で入力し、Enter キーを押してください。

STEP3

①入退履歴エクスポート_期間指定（顔画像なし）の時と同じ手順です。
コマンドプロンプトに「終了日時[年月日時分秒]を入力して Enter キーを押してください。」と表示されるので、終了日時を [YYYYMMDDhhmmss] の形式で入力し、Enter キーを押してください。

STEP4

デスクトップの「入退履歴エクスポート」フォルダー内にバッチファイルを実行した日時の「YYYYMMDD_hhmmss」フォルダーが作成されエクスポートしたファイルが出力されます。

出力されるファイル名：EntryExitHistory_出力した日付_出力した時間_開始日時-終了日時.tsv

※「出力した日付」、「出力した時間」はそれぞれ [YYYYMMDD]、[hhmmss] の形式で出力されます。

顔画像ファイルは「YYYYMMDD_hhmmss」フォルダー内に「image_n」フォルダーが作成され、下記ファイル名でファイルが出力されます。

顔画像ファイル名 : face_(入退履歴登録 ID).jpeg

③入退履歴エクスポート_全件（顔画像なし）の手順

STEP1

デスクトップの「入退履歴エクスポート」フォルダー内の「入退履歴エクスポート_全件（顔画像なし）.bat」を実行します。

STEP2

デスクトップの「入退履歴エクスポート」フォルダー内の「image_n」フォルダー内にバッチファイルを実行した日時の「YYYYMMDD_hhmmss」フォルダーが作成され、エクスポートしたファイルが出力されます。

出力されるファイル名：EntryExitHistory_出力した日付_出力した時間_all_nolmage.tsv

※「出力した日付」、「出力した時間」はそれぞれ [YYYYMMDD]、[hhmmss] の形式で出力されます。

④入退履歴エクスポート_全件の手順

STEP1

デスクトップの「入退履歴エクスポート」フォルダー内の「入退履歴エクスポート_全件.bat」を実行します。

STEP2

デスクトップの「入退履歴エクスポート」フォルダー内にバッチファイルを実行した日時の「YYYYMMDD_hhmmss」フォルダーが作成されエクスポートしたファイルが出力されます。

出力されるファイル名：EntryExitHistory_出力した日付_出力した時間_all.tsv

※「出力した日付」、「出力した時間」はそれぞれ [YYYYMMDD]、[hhmmss] の形式で出力されます。

顔画像ファイルは「YYYYMMDD_hhmmss」フォルダー内に「image_n」フォルダーが作成され、下記ファイル名でファイルが出力されます。

顔画像ファイル名 : face_(入退履歴登録 ID).jpeg

◆Microsoft Excel での入退履歴エクスポートファイル読み込み方法

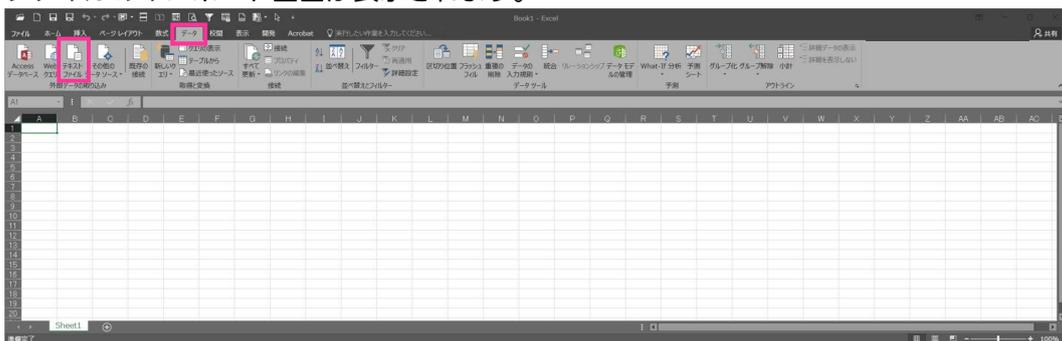
入退履歴エクスポートファイルを Excel で読み込む場合は、Excel がインストールされた PC に入退履歴エクスポートファイルをコピーしてください。

STEP1

新規作成の画面を開きます。

メニューの [データ] > [外部データの取り込み] > [テキストファイル] をクリックします。

→ テキスト ファイルのインポート画面が表示されます。



STEP2

エクスポートした tsv ファイルが保存されているフォルダーに展開し、ファイルの種類を「すべてのファイル (*.*)」を選択します。

読み込みする tsv ファイルを選択し、[インポート(M)] ボタンをクリックします。

→ テキスト ファイル ウィザード - 1/3 画面が表示されます。



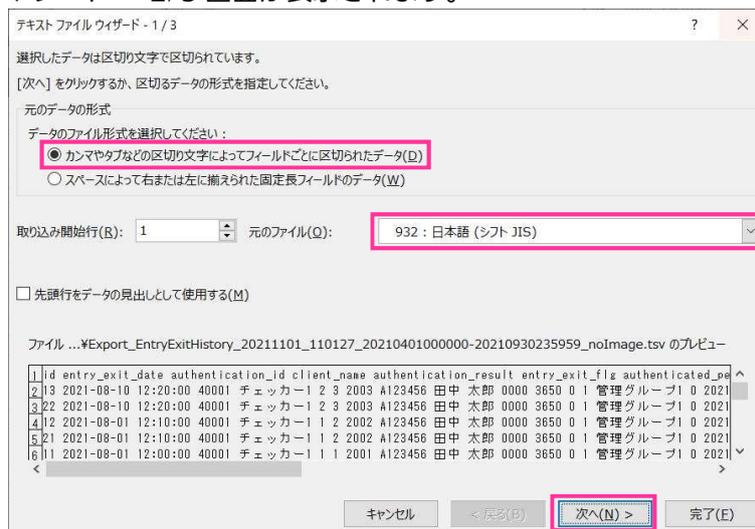
STEP3

下記内容になっているか確認してください。なっていない場合は、下記内容になるように選択してください。

- ・元データの形式：カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)
- ・元のファイル：923：日本語 (シフト JIS)

正しく選択されたら [次へ(N)]> ボタンをクリックします。

→ テキスト ファイル ウィザード - 2/3 画面が表示されます。



STEP4

下記内容になっているか確認してください。なっていない場合は、下記内容になるように選択してください。

- 区切り文字 : タブ(T)のみ選択

正しく選択されたら [次へ(N)>] ボタンをクリックします。

→ テキスト ファイル ウィザード - 3/3 画面が表示されます。

テキストファイルウィザード - 2/3

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

- タブ(T)
- セミコロン(M)
- カンマ(C)
- スペース(S)
- その他(Q):

連続した区切り文字は 1 文字として扱う(B)

文字列の引用符(Q): "

データのプレビュー(P)

id	entry_exit_date	authentication_id	client_name	authentication_result	entry_exit_flg	authentication_id
87	2021-07-15 12:56:10	40001	チェッカー-1	1	0	
86	2021-07-15 12:53:00	40001	チェッカー-1	2	0	
85	2021-07-15 11:54:05	40001	チェッカー-1	1	0	
84	2021-07-15 10:50:10	40002	チェッカー-2	1	0	
67	2021-07-08 17:58:55	40002	チェッカー-2	1	0	

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

STEP5

下記内容になっているか確認してください。なっていない場合は、下記内容になるように選択してください。

- 列のデータ形式 : G/標準(G)

正しく選択されたら [完了(F)] ボタンをクリックします。

→ データの取り込み画面が表示されます。

テキストファイルウィザード - 3/3

区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。

列のデータ形式

- G/標準(G)
- 文字列(I)
- 日付(D): YMD
- 削除する(I)

[G/標準] を選択すると、数字は数値に、日付は日付形式の値に、その他の値は文字列に変換されます。

詳細(A)...

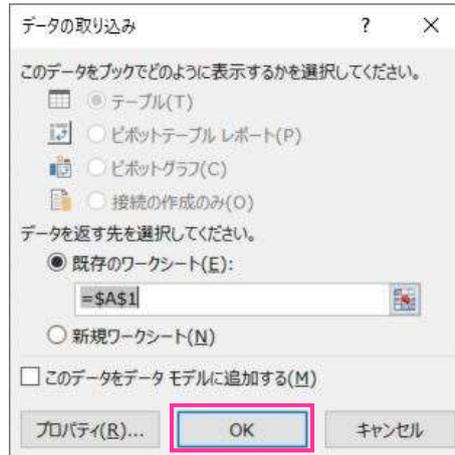
データのプレビュー(P)

G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準
id	entry_exit_date	authentication_id	client_name	authentication_result	entry_exit_flg	authentication_id
87	2021-07-15 12:56:10	40001	チェッカー-1	1	0	
86	2021-07-15 12:53:00	40001	チェッカー-1	2	0	
85	2021-07-15 11:54:05	40001	チェッカー-1	1	0	
84	2021-07-15 10:50:10	40002	チェッカー-2	1	0	
67	2021-07-08 17:58:55	40002	チェッカー-2	1	0	

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

STEP6

[OK] ボタンをクリックします。
→データが取り込まれワークシートが表示されます。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
	entry_no	entry_date	authentication_id	client_name	authentication_result	entry_no	authenticated_person_id	authenticated_person_code	authenticated_person_name	entry_no	temperature	mask	management_group_id	management_group_name	image	regist_date
87	2021/7/15	12:56	40001	チェック1	1	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
88	2021/7/15	12:53	40001	チェック1	2	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
89	2021/7/15	11:54	40001	チェック1	1	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
84	2021/7/15	10:50	40002	チェック2	1	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
67	2021/7/15	11:56	40002	チェック2	1	0		グロート	3				2	管理グループ2	0	2021/7/15
66	2021/7/15	11:56	40002	チェック2	1	0	EC345678	田中 花子	2			1.2	2	管理グループ1_管理グループ2	0	2021/7/15
65	2021/7/15	11:35	40001	チェック1	2	0	EC345678	田中 花子	2			1.2	2	管理グループ1_管理グループ2	0	2021/7/15
72	2021/7/15	11:34	40001	チェック1	1	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
71	2021/7/15	11:34	40001	チェック1	2	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
70	2021/7/15	11:34	40001	チェック1	2	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
69	2021/7/15	11:33	40001	チェック1	1	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
68	2021/7/15	11:32	40001	チェック1	2	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
64	2021/7/15	16:12	40001	チェック1	1	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
63	2021/7/15	16:09	40001	チェック1	1	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
62	2021/7/15	16:08	40001	チェック1	1	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
61	2021/7/15	16:08	40001	チェック1	2	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
60	2021/7/15	16:08	40001	チェック1	2	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
59	2021/7/15	16:08	40001	チェック1	2	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15
58	2021/7/15	16:08	40001	チェック1	2	0	A1234567	田中 太郎	1				1	管理グループ1	0	2021/7/15

以上で Microsoft Excel での入退履歴エクスポートファイル読み込みは完了です。

3.2. 機器の管理

KPAS では、チェッカー、レジスター、KPAS 管理サーバー、顔照合サーバー、入退履歴サーバーの稼働状況を監視することができます。ここでは、各機器の状態の確認方法について説明します。定期的に機器の状態を確認し、障害が通知された場合は、その内容に応じて適切に対応してください。

重要

機器の管理には Zabbix を使用しています。ここでは KPAS で必要となる Zabbix の機能のみ説明しています。

3.2.1. 各機器の状態の確認方法

STEP1

管理ポータルにログインします。(『3.1.1.管理ポータルへログインする』参照)

STEP2

画面左側メニューの [機器管理] > [稼働状況閲覧] をクリックします。(図 74)
→ Zabbix のログイン画面が別タブで表示されます。



図 74 管理ポータル メニュー画面

初回アクセス時にセキュリティの警告が表示された場合

設定によってはセキュリティ警告が表示される場合があります。表示された場合は、STEP3 へ、表示されなかった場合は、STEP4 へ進んでください。

STEP3

[詳細設定] ボタンをクリックし画面を進み (図 8)、[192.168.1.223 にアクセスする (安全ではありません)] をクリックします。(図 9)

STEP4

Username/Password を入力し、[Sign in] をクリックします。(図 75)
標準設定のユーザーは Username : ZSuperUser , Password : Zabbix12345 です。

重要

初期パスワードは必ず変更してください。セキュリティ確保の観点から、Password に Username の全部または一部を含む文字列、および辞書単語またはその一部を何かに置き換えたものを含む文字列を使用しないでください。

ユーザーを追加する場合は、Zabbix のマニュアルなどを参照ください。

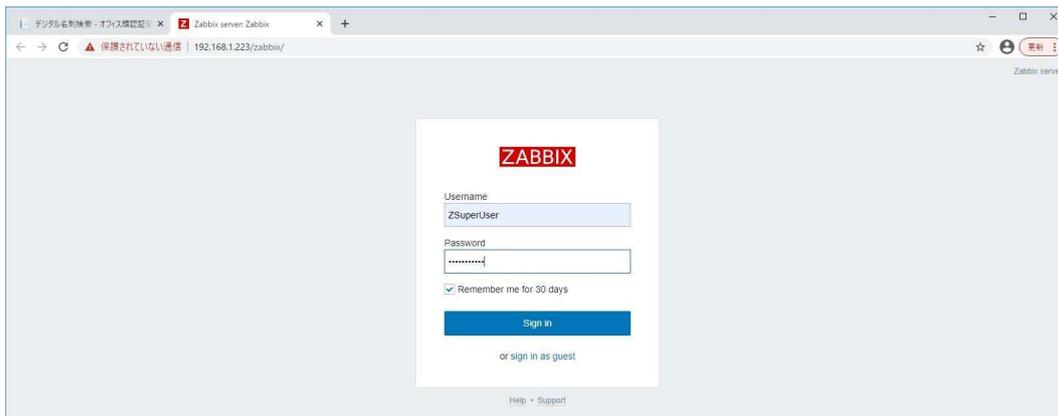


図 75 Zabbix ログイン画面

→ダッシュボードが表示されます。(図 76)

ダッシュボードは以下のものから構成されています。

「障害」パネル：

監視対象のすべての機器で発生している障害を一覧で表示します。

表示項目については表 9 (62 ページ) を参照してください。

「機器グループ」パネル：

機器グループ毎に各機器の稼働状況を一覧で表示します。

監視項目、障害項目、障害時の対応内容、については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。

Zabbix のログイン履歴は、[レポート] - [監査] で確認できます。

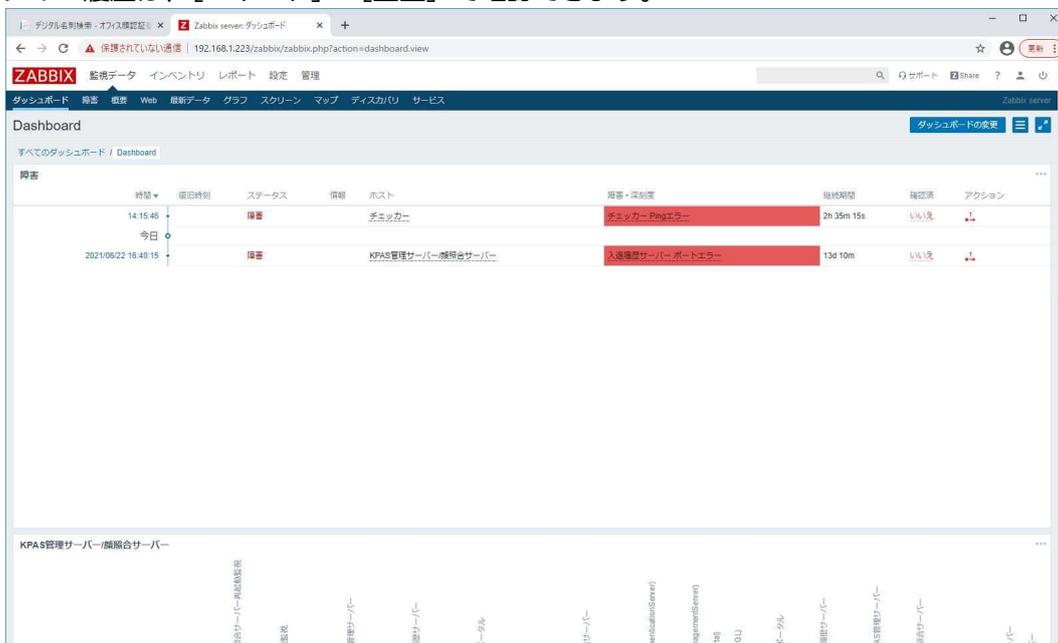


図 76 Zabbix ダッシュボード

表 9 Zabbix 障害表示項目

項目	説明
時間	障害が発生した時刻
復旧時刻	障害が復旧した時刻
ステータス	現在のステータス（障害／クローズ処理中／解決済）を表示
情報	手動で復旧したことを入力するタイプの障害において、入力したユーザー名を表示する
ホスト	対象の機器名
障害・深刻度	障害の内容を表示する。障害レベルを色で表現。 警告 : 異常な状態ではないが、放置していると障害になる状態 黄色 軽度の障害 : システムは動くが異常な状態（軽度） 薄オレンジ色 重度の障害 : システムは動くが異常な状態（重度） 濃オレンジ色 致命的な障害 : システムが動かなくなる状態 赤色
継続期間	障害が継続している時間
確認済	障害に対するコメントの有無（はい／いいえ）が表示されます。クリックすると、コメントの確認/入力ができます。
アクション	自動復旧した場合や手動で障害をクローズした場合には、その履歴が表示されます。

障害のステータスの切り替えについて

障害が改善された場合、ダッシュボードの「障害」パネルに表示されている障害のほとんどのステータスは自動的に切り替わりますが、一部のステータスは手動で切り替える必要があります。『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』において、監視項目名に「ログ監視」「時刻監視」を含むものがそれにあたりますので、次の手順で切り替えてください。

STEP1

該当する障害の右にある「確認済」という項目の「いいえ」をクリックします。
 → 障害対策コメントのページが表示されます。

STEP2

以下項目を入力し、[更新] ボタンをクリックします。(図 77)

メッセージ：任意の文字列（空欄でも良い）

範囲：「選択した障害のみ」にチェック

障害のクローズ：チェック

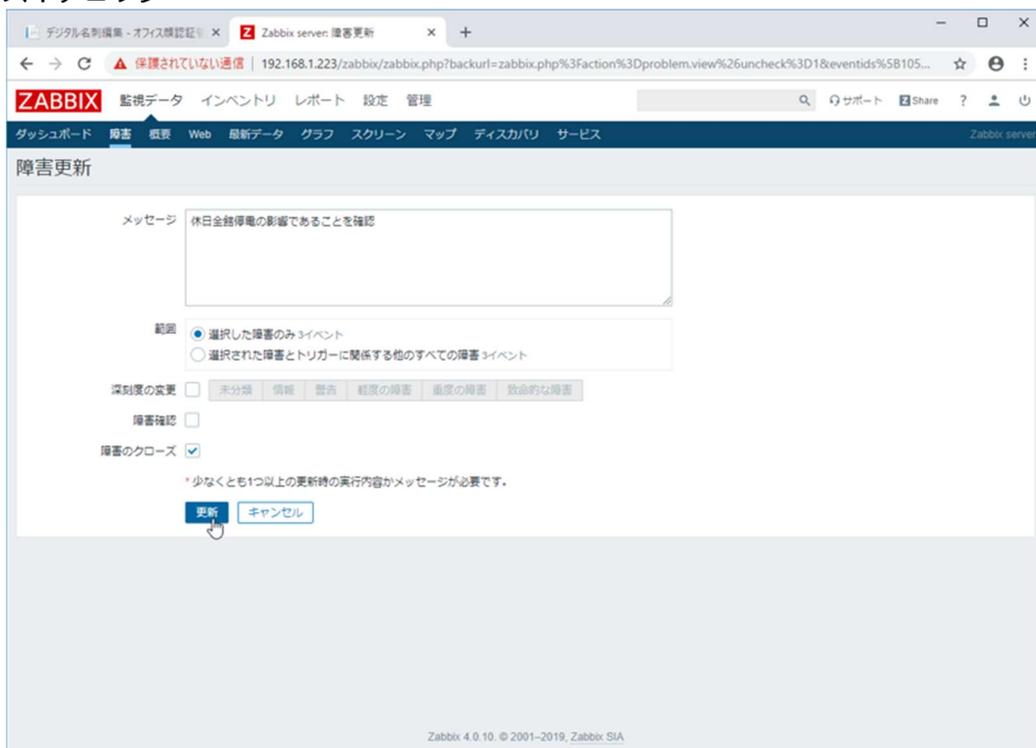
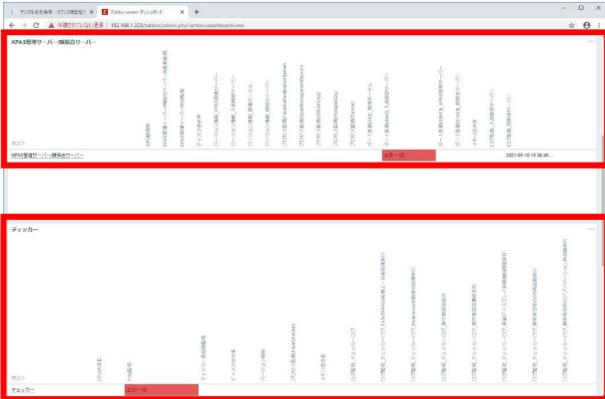


図 77 Zabbix 障害対策コメント

3.2.2. 監視項目と障害発生時の対応方法

KPAS では、チェッカー、レジスター、KPAS 管理サーバー、顔照合サーバー、入退履歴サーバーの稼働状況を監視することができます。ここでは、各機器の監視項目と、障害発生時の対応事項について説明します。定期的に機器の状態を確認し、障害が通知された場合は、その内容に応じて適切に対応してください。記載の対応で復旧しなかった場合は、システム納入会社にお問い合わせください。

3.2.2.1. 用語説明

用語	説明
監視項目名	<p>ダッシュボードの [機器グループ] パネルに表示される監視項目の名称です。監視項目名に色がついている場合は、現在発生している障害です。解決済みの場合は、白色になります。ダッシュボード画面は 1 分ごとに自動更新されます。</p> 
監視内容	監視する内容の詳しい説明
監視間隔	各項目の状態を監視する間隔
障害名	<p>障害発生時にダッシュボードの [障害] パネルに表示される名称 障害名に色がついている場合は、現在発生している障害です。解決済みの障害名は白色になります。ダッシュボード画面は 1 分ごとに自動更新されます。</p> 

用語	説明											
障害レベル	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="611 164 840 225">障害レベル</th> <th data-bbox="840 164 1532 225">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="611 225 840 272">警告</td> <td data-bbox="840 225 1532 272">異常な状態ではないが、放置していると障害になる状態</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 272 840 320">軽度の障害</td> <td data-bbox="840 272 1532 320">システムは動くが異常な状態（軽度）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 320 840 368">重度の障害</td> <td data-bbox="840 320 1532 368">システムは動くが異常な状態（重度）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 368 840 411">致命的な障害</td> <td data-bbox="840 368 1532 411">システムが動かなくなる状態</td> </tr> </tbody> </table>	障害レベル	説明	警告	異常な状態ではないが、放置していると障害になる状態	軽度の障害	システムは動くが異常な状態（軽度）	重度の障害	システムは動くが異常な状態（重度）	致命的な障害	システムが動かなくなる状態	
障害レベル	説明											
警告	異常な状態ではないが、放置していると障害になる状態											
軽度の障害	システムは動くが異常な状態（軽度）											
重度の障害	システムは動くが異常な状態（重度）											
致命的な障害	システムが動かなくなる状態											
障害内容	障害内容の詳しい説明											
障害発生時対応事項	障害発生時に確認する内容											

3.2.2.2. 顔照合サーバー

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
1	(ベーシックモデルの場合のみ) CPU 使用率	監視対象機器の CPU 使用率を表示	30s					
2	(ベーシックモデルの場合のみ) ディスク空き率	監視対象機器の ディスク空き率を 表示	30s	顔照合サーバー ディスク空き率監視 (20%以下)	軽度の 障害	ディスク空き率 が 20(軽度)%以 下となった場合	・顔照合サーバー内の不要なデータを 削除してください。	
				顔照合サーバー ディスク空き率監視 (10%以下)	重度の 障害	ディスク空き率 が 10(重度)%以 下となった場合		
3	(ベーシックモデルの場合のみ) メモリ空き率	監視対象機器のメ モリ空き率を表示	30s	顔照合サーバー メモリ空き率 (30%以下)	軽度の 障害	メモリ空き率が 30(軽度)%以下 となった場合	・顔照合サーバーを再起動してくださ い。	顔照合サーバー再起動中は、 接続しているチェッカーでの 顔認証およびレジスターでの 顔登録はできません。
				顔照合サーバー メモリ空き率 (10%以下)	重度の 障害	メモリ空き率が 10(重度)%以下 となった場合		
4	(ベーシックモデルの場合) バージョン情報 (エントリーモデルの場合) バージョン情報_ 顔照合サーバー	インストールされ ている顔照合サー バーのバージョン を表示	1h					
5	プロセス監視 (FaceAuthentic ationServer)	顔照合サーバーの プロセス 「FaceAuthentic ationServer.exe 」が起動している かどうかのチェッ ク	30s	顔照合サーバー プロセスエラー (FaceAuthenticati onServer)	致命的 な障害	顔照合サーバー のプロセスが停 止した場合	・自動復旧機能があるためしばらくす ると復旧します。 ・復旧しない場合は、顔照合サーバー を再起動してください。	顔照合サーバー再起動中は、 接続しているチェッカーでの 顔認証およびレジスターでの 顔登録はできません。

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
6	プロセス監視 (PostgreSQL)	指定したプロセス「PostgreSQL」が起動しているかどうかのチェック（データベースが起動しているかの確認）	30s	顔照合サーバー プロセスエラー (PostgreSQL)	致命的 な障害	PostgreSQL の プロセスが停止 した場合	<ul style="list-style-type: none"> 自動復旧機能があるためしばらくすると復旧します。 復旧しない場合は、顔照合サーバーを再起動してください。 	顔照合サーバー再起動中は、接続しているチェッカーでの顔認証およびレジスターでの顔登録はできません。
7	(ベーシックモデルの場合のみ) 顔照合サーバー 再起動監視	顔照合サーバーが再起動してからの経過時間を表示（計画外に再起動しているかの確認に利用）	30s	顔照合サーバー 再起動	警告	再起動後 30 秒間 は障害を出す	<ul style="list-style-type: none"> 他の障害が発生していないかを確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 再起動後 30 秒は障害ステータスで障害パネルに出力されます。 再起動後 30 秒後から 30 分後は解決済ステータスで障害パネルに出力されます。 30 分後以降は障害パネルから消えます。 ※「顔照合サーバー」パネルの一覧にある「顔照合サーバー再起動監視」の項目をクリックすると、再起動後の経過時間がグラフで表示されるので、計画外の再起動（値が0になったタイミング）が起きていないか確認してください。

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
8	(ベーシックモデルの場合) ポート監視(443) (エントリーモデルの場合) ポート監視 (51443)_顔照合 サーバー	Web アクセスの 待ち受けが正しく 機能しているか確 認する	30s	顔照合サーバー ポートエラー	致命的 な障害	ポートが待ち受 け状態でない場 合	<p>■「顔照合サーバー ポートエラー」 のみ発生している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔照合サーバーを再起動してください。 <p>■「顔照合サーバー ポートエラー」 「顔照合サーバー Ping エラー」が同 時に発生している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔照合サーバーのネットワークケー ブルが接続されていることを確認して ください。 ・上記に問題がない場合は、顔照合 サーバーを再起動してください。 <p>■「顔照合サーバー ポートエラー」 「顔照合サーバー 再起動」が同時に 発生している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔照合サーバーの再起動により一時 的に障害が上がっています。しばらく すると障害は消えます 	顔照合サーバー再起動中は、 接続しているチェッカーでの 顔認証およびレジスターでの 顔登録はできません。
9	(ベーシックモデ ルの場合) ログ監視 (エントリーモデ ルの場合) ログ監視_顔照合 サーバー	顔照合サーバーの 出力ログを監視 (ログ出力から顔 照合サーバーアプ リの不具合を検 知)	30s	顔照合サーバー ログエラー	致命的 な障害	再起動が必要な エラーが発生し た場合	<ul style="list-style-type: none"> ・顔照合サーバーを再起動してくださ い。 →再起動後、正常に起動すれば手動 で障害をクローズしてください。 	顔照合サーバー再起動中は、 接続しているチェッカーでの 顔認証およびレジスターでの 顔登録はできません。

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
10	(ベーシックモデルの場合のみ) Ping 監視	顔照合サーバーに対して Ping 通信可能かを確認する	30s	顔照合サーバー Ping エラー	致命的な障害	Ping が通らない場合	<ul style="list-style-type: none"> ■「顔照合サーバー Ping エラー」のみ発生している場合 <ul style="list-style-type: none"> ・顔照合サーバーのネットワークケーブルが接続されていることを確認してください。 ・上記に問題がない場合は、顔照合サーバーを再起動してください。 ■「顔照合サーバー Ping エラー」「顔照合サーバー 再起動」が同時に発生している場合 <ul style="list-style-type: none"> ・顔照合サーバーの再起動により一時的に障害が上がっています。しばらくすると障害は消えます 	顔照合サーバー再起動中は、接続しているチェッカーでの顔認証およびレジスターでの顔登録はできません。
11	(ベーシックモデルの場合のみ) 顔照合サーバー時刻監視	顔照合サーバーのローカル時間を監視する ※1970年1月1日からの経過時間を UTC 形式で取得	30s	顔照合サーバー時刻変更エラー	致命的な障害	顔照合サーバーと Zabbix サーバーの時刻が 10 分(600 秒)以上異なる場合	<ul style="list-style-type: none"> ・顔照合サーバーの時刻を正しい時刻に修正してください。 →修正後、手動で障害をクローズしてください。 ・時刻同期により既に正しい時刻に戻っている場合は、手動で障害をクローズしてください。 	

3.2.2.3. KPAS 管理サーバー

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
1	CPU 使用率	監視対象機器の CPU 使用率を表示	30s					
2	ディスク空き率	監視対象機器の ディスク空き率を 表示	30s	(ベーシックモデル の場合) KPAS 管理サーバー ディスク空き率監視 (20%以下)	軽度の 障害	ディスク空き率が 20(軽度)%以下 となった場合	・KPAS 管理サーバー内の不要なデー タを削除してください。	
				(エントリーモデル の場合) KPAS 管理サーバー /顔照合サーバー ディスク空き率監視 (20%以下)	重度の 障害	ディスク空き率が 10(重度)%以下 となった場合	・ただちに KPAS 管理サーバー内の 不要なデータを削除してください。	

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
3	メモリ空き率	監視対象機器のメモリ空き率を表示	30s	(ベーシックモデルの場合) KPAS 管理サーバー メモリ空き率 (30%以下)	軽度の 障害	メモリ空き率が 30(軽度)%以下 となった場合	・ KPAS 管理サーバーを再起動してください。	KPAS 管理サーバー再起動中は、接続しているレジスターでの顔登録はできません。
				(エントリーモデルの場合) KPAS 管理サーバー /顔照合サーバー メモリ空き率 (30%以下)				
4	バージョン情報 _KPAS 管理サーバー	インストールされている KPAS 管理サーバーのバージョンを表示	1h					
5	バージョン情報_管理ポータル	インストールされている管理ポータルのバージョンを表示	1h					

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
6	プロセス監視 (KpasManagementServer)	IIS 上のアプリケーションプール "KpasManagementServer"が起動しているかどうかのチェック (KPAS 管理サーバーが使える状態かをチェック)	30s	KPAS 管理サーバー プロセスエラー (KpasManagementServer)	致命的な障害	KPAS 管理サーバーの IIS アプリケーションプールが停止した場合	・KPAS 管理サーバーを再起動してください。	KPAS 管理サーバー再起動中は、接続しているレジスターでの顔登録はできません。
7	プロセス監視 (KPASPortal)	IIS 上のアプリケーションプール "KpasPortal"が起動しているかどうかのチェック (KPAS ポータルが使える状態かをチェック)	30s	KPAS 管理サーバー プロセスエラー (KPASPortal)	致命的な障害	KpasPortal の IIS アプリケーションプールが停止した場合	・KPAS 管理サーバーを再起動してください。	KPAS 管理サーバー再起動中は、接続しているレジスターでの顔登録はできません。
8	プロセス監視 (PostgreSQL)	指定したプロセス「PostgreSQL」が起動しているかどうかのチェック	30s	(ベーシックモデルの場合) KPAS 管理サーバー プロセスエラー (PostgreSQL) (エントリーモデルの場合) KPAS 管理サーバー/ 顔照合サーバー プロセスエラー (PostgreSQL)	致命的な障害	PostgreSQL のプロセスが停止した場合	・自動復旧機能があるためしばらくすると復旧します。 ・それでも復旧しない場合は、KPAS 管理サーバーを再起動してください。	KPAS 管理サーバー再起動中は、接続しているレジスターでの顔登録はできません。

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
9	KPAS 管理サーバー再起動監視	KPAS 管理サーバーが再起動してからの経過時間を表示（計画外に再起動しているかの確認に利用）	30s	(ベーシックモデルの場合) KPAS 管理サーバー再起動 (エントリーモデルの場合) KPAS 管理サーバー/顔照合サーバー再起動	警告	再起動後 30 秒間は障害を出す	・他の障害が発生していないかを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・再起動後 30 秒は障害ステータスで障害パネルに出力されます。 ・再起動後 30 秒後から 30 分後は解決済ステータスで障害パネルに出力されます。 ・30 分後以降は障害パネルから消えます。 ※「KPAS 管理サーバー」パネルの一覧にある「KPAS 管理サーバー再起動監視」の項目をクリックすると、再起動後の経過時間がグラフで表示されるので、計画外の再起動（値が 0 になったタイミン グ）が起こっていないか確認してください。
10	ポート監視 (50443)_KPAS 管理サーバー	Web アクセスの待ち受けが正しく機能しているか確認する	30s	KPAS 管理サーバーポートエラー (50443)	致命的な障害	ポートが待ち受け状態でない場合	<ul style="list-style-type: none"> ■「KPAS 管理サーバー ポートエラー(50443)」のみ発生している場合 ・KPAS 管理サーバーを再起動してください。 ■「KPAS 管理サーバー ポートエラー(50443)」 「KPAS 管理サーバー再起動」が同時に発生している場合 ・KPAS 管理サーバーの再起動により一時的に障害が上がっています。しばらくすると障害は消えます。 	KPAS 管理サーバー再起動中は、接続しているレジスターでの顔登録はできません。

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
11	ポート監視 (443)_管理ポータル	Web アクセスの 待ち受けが正しく 機能しているか確認する	30s	管理ポータル ポートエラー (443)	致命的 な障害	ポートが待ち受け 状態でない場合	<ul style="list-style-type: none"> ■「管理ポータル ポートエラー (443)」のみ発生している場合 <ul style="list-style-type: none"> ・KPAS 管理サーバーを再起動してください。 ■「管理ポータル ポートエラー (443)」 「KPAS 管理サーバー 再起動」が同時に発生している場合 <ul style="list-style-type: none"> ・KPAS 管理サーバーの再起動により一時的に障害が上がっています。しばらくすると障害は消えます。 	KPAS 管理サーバー再起動中は、接続しているレジスターでの顔登録はできません。
12	KPAS 管理サーバー時刻監視	KPAS 管理サーバーの手動の時刻変更を監視する	30s	KPAS 管理サーバー時刻変更エラー	致命的 な障害	KPAS 管理サーバーの時刻が変更された場合	<ul style="list-style-type: none"> ・KPAS 管理サーバーの時刻を正しい時刻に修正してください。 →修正後、手動で障害をクローズしてください。 	
13	*1 バージョン情報_入退履歴サーバー	監視対象機器のバージョンファイル	1h					
14	*1 プロセス監視 (Tomcat)	指定したプロセス「Tomcat.exe」が起動しているかどうかのチェック	30s	入退履歴サーバープロセスエラー (Tomcat)	致命的 な障害	入退履歴サーバーのプロセスが停止した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・自動復旧機能があるためしばらくすると復旧します。 ・復旧しない場合は、入退履歴サーバーを再起動してください。 	入退履歴サーバー再起動中は、入退ログの登録、および検索はできません。
15	*1 ポート監視 (8443) 入退履歴サーバー	Web アクセスの 待ち受けが正しく 機能しているか確認する	30s	入退履歴サーバー ポートエラー	致命的 な障害	ポートが待ち受け 状態でない場合	<ul style="list-style-type: none"> ■「入退履歴サーバー ポートエラー」のみ発生している場合 <ul style="list-style-type: none"> ・入退履歴サーバーを再起動してください。 ■「入退履歴サーバー ポートエラー」 「KPAS 管理サーバー 再起動」が同時に発生している場合 <ul style="list-style-type: none"> ・入退履歴サーバーの再起動により一時的に障害が上がっています。しばらくすると障害は消えます。 	入退履歴サーバー再起動中は、入退ログの登録、および検索はできません。

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
16	*1 ログ監視_入退履 歴サーバー	入退履歴サーバー の出力ログを監視 (ログ出力から入 退履歴サーバーへ の不正アクセスを 検知)	30s	入退履歴サーバー ログエラー	警告	入退履歴サーバー で連続した不正ア クセスを検出した 場合	・許可されていないアクセスが連続で 検出されました。不正アクセスを受け ている可能性があります。システム納 入会社にお問い合わせください。	

注釈

*1 : KPAS 管理サーバー上に入退履歴サーバーを構築されている場合は、表示されます。

3.2.2.4. 入退履歴サーバー（単独構成の場合）

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
1	CPU 使用率	監視対象機器の CPU 使用率を表示	30s					
2	ディスク空き率	監視対象機器の ディスク空き率を 表示	30s	入退履歴サーバー ディスク空き率監視 (20%以下)	軽度の 障害	ディスク空き率が 20(軽度)%以下 となった場合	・入退履歴サーバー内の不要なデータ を削除してください。	
				入退履歴サーバー ディスク空き率監視 (10%以下)	重度の 障害	ディスク空き率が 10(重度)%以下 となった場合	・ただちに入退履歴サーバー内の不要 なデータを削除してください。	
3	メモリ空き率	監視対象機器のメ モリ空き率を表示	30s	入退履歴サーバー メモリ空き率 (30%以下)	軽度の 障害	メモリ空き率が 30(軽度)%以下 となった場合	・入退履歴サーバーを再起動してくだ さい。	入退履歴サーバー再起動中 は、入退ログの登録、および 検索はできません。
				入退履歴サーバー メモリ空き率 (10%以下)	重度の 障害	メモリ空き率が 10(重度)%以下 となった場合		
4	バージョン情報	インストールされ ている入退履歴 サーバーのバー ジョンを表示	1h					
5	プロセス監視 (Tomcat)	指定したプロセス 「Tomcat.exe」 が起動しているか どうかのチェック	30s	入退履歴サーバー プロセスエラー (Tomcat)	致命的 な障害	入退履歴サーバー のプロセスが停止 した場合	・自動復旧機能があるためしばらくす ると復旧します。 ・復旧しない場合は、入退履歴サー バーを再起動してください。	入退履歴サーバー再起動中 は、入退ログの登録、および 検索はできません。
6	プロセス監視 (PostgreSQL)	指定したプロセス 「PostgreSQL」 が起動しているか どうかのチェック	30s	入退履歴サーバー プロセスエラー (PostgreSQL)	致命的 な障害	PostgreSQL の プロセスが停止し た場合	・自動復旧機能があるためしばらくす ると復旧します。 ・それでも復旧しない場合は、入退履 歴サーバーを再起動してください。	入退履歴サーバー再起動中 は、入退ログの登録、および 検索はできません。

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
7	入退履歴サーバー再起動監視	入退履歴サーバーが再起動してからの経過時間を表示（計画外に再起動しているかの確認に利用）	30s	入退履歴サーバー再起動	警告	再起動後 30 秒間は障害を出す	・他の障害が発生していないかを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・再起動後 30 秒は障害ステータスで障害パネルに出力されます。 ・再起動後 30 秒後から 30 分後は解決済ステータスで障害パネルに出力されます。 ・30 分後以降は障害パネルから消えます。 ※「入退履歴サーバー」パネルの一覧にある「入退履歴サーバー再起動監視」の項目をクリックすると、再起動後の経過時間がグラフで表示されるので、計画外の再起動（値が0になったタイミング）が起こっていないか確認してください。
8	ポート監視 (8443)	Web アクセスの待ち受けが正しく機能しているか確認する	30s	入退履歴サーバーポートエラー	致命的な障害	ポートが待ち受け状態でない場合	<ul style="list-style-type: none"> ■「入退履歴サーバー ポートエラー」のみ発生している場合 <ul style="list-style-type: none"> ・入退履歴サーバーを再起動してください。 ■「入退履歴サーバー ポートエラー」「入退履歴サーバー Ping エラー」が同時に発生している場合 <ul style="list-style-type: none"> ・入退履歴サーバーのネットワークケーブルが接続されていることを確認してください。 ・上記に問題がない場合は、入退履歴サーバーを再起動してください。 ■「入退履歴サーバー ポートエラー」「入退履歴サーバー 再起動」が同時に発生している場合 <ul style="list-style-type: none"> ・入退履歴サーバーの再起動により一時的に障害が上がっています。しばらくすると障害は消えます。 	KPAS 管理サーバー再起動中は、接続しているレジスタでの顔登録はできません。

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
9	Ping 監視	入退履歴サーバー に対して Ping 通 信可能かを確認す る	30s	入退履歴サーバー Ping エラー	致命的 な障害	Ping が通らない 場合	<p>■「入退履歴サーバー Ping エラー」 のみ発生している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 入退履歴サーバーのネットワーク ケーブルが接続されていることを確認 してください。 上記に問題がない場合は、入退履歴 サーバーを再起動してください。 <p>■「入退履歴サーバー Ping エラー」 「入退履歴サーバー 再起動」が同時 に発生している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 入退履歴サーバーの再起動により一 時的に障害が上がっています。しばら くすると障害は消えます。 	KPAS 管理サーバー再起動中 は、接続しているレジスター での顔登録はできません。
10	入退履歴サー バー時刻監視	入退履歴サーバー の手動の時刻変更 を監視する	30s	入退履歴サーバー 時刻変更エラー	致命的 な障害	入退履歴サーバー と Zabbix サー バーの時刻が 10 分(600 秒)以上異 なる場合	<ul style="list-style-type: none"> 入退履歴サーバーの時刻を正しい時 刻に修正してください。 →修正後、手動で障害をクローズし てください。 時刻同期により既に正しい時刻に 戻っている場合は、手動で障害をク ローズしてください。 	
11	ログ監視_入退履 歴サーバー	入退履歴サーバー の出力ログを監視 (ログ出力から入 退履歴サーバーへ の不正アクセスを 検知)	30s	入退履歴サーバー ログエラー	警告	入退履歴サーバー で連続した不正ア クセスを検出した した場合	<ul style="list-style-type: none"> 許可されていないアクセスが連続で 検出されました。不正アクセスを受け ている可能性があります。システム納 入会社にお問い合わせください。 	

3.2.2.5. チェッカー

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
1	CPU 使用率	監視対象機器の CPU 使用率を表示	30s					
2	ディスク空き率	監視対象機器の ディスク空き率を 表示	30s	チェッカー ディスク空き率監視 (20%以下)	軽度の 障害	ディスク空き率が 20(軽度)%以下 となった場合	<ul style="list-style-type: none"> ・チェッカー内の不要なデータを削除してください。 ・ただちにチェッカー内の不要なデータを削除してください。 	
				チェッカー ディスク空き率監視 (10%以下)	重度の 障害	ディスク空き率が 10(重度)%以下 となった場合		
3	メモリ空き率	監視対象機器のメ モリ空き率を表示	30s	チェッカー メモリ空き率 (30%以下)	軽度の 障害	メモリ空き率が 30(軽度) %以下 となった場合	<ul style="list-style-type: none"> ・チェッカーを再起動してください。 	
				チェッカー メモリ空き率 (10%以下)	重度の 障害	メモリ空き率が 10(重度)%以下 となった場合		
4	バージョン情報	インストールされ ているチェッカー アプリのバージョ ンを表示	1h					
5	プロセス監視 (FaceChecker)	チェッカープロセ スが起動してい るかどうかのチェ ック	30s	チェッカー プロセスエラー (FaceChecker)	致命的 な障害	チェッカーのプロ セスが停止した場 合	<ul style="list-style-type: none"> ・自動復旧機能があるためしばらくすると復旧します。 ・自動復旧しない場合は、チェッカーを再起動してください。 	
6	ログ監視_チェッ カーログ	チェッカーの出力 ログを監視 (ログ出力から チェッカーアプリ の不具合を検知)	30s	チェッカー ログエラー (チェッカー再起動)	致命的 な障害	チェッカーの再起 動が必要なエラー が発生したら障害	<ul style="list-style-type: none"> ・チェッカーを再起動してください。 →再起動後、正常に起動すれば手で障害をクローズしてください。 ・自動復旧機能があるためしばらくすると復旧する可能性があります。 ・自動復旧しない場合は、チェッカーを再起動してください。 ・システム納入会社にお問い合わせください。 	
				*2 チェッカー ログエラー (Realsense 異常検 知)	重度の 障害	Realsense 異常 検知が発生した場 合		

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
6	ログ監視_チェッカーログ	チェッカーの出力ログを監視 (ログ出力からチェッカーアプリの不具合を検知)	30s	*2 チェッカー ログエラー (Realsense 障害)	致命的な障害	Realsense 障害が発生した場合	・システム納入会社にお問い合わせください。	
				*2 チェッカー ログエラー (液晶ディスプレイ異常検知)	重度の障害	液晶ディスプレイ異常検知が発生した場合	・自動復旧機能があるためしばらくすると復旧する可能性があります。 ・自動復旧しない場合は、チェッカーを再起動してください。 ・システム納入会社にお問い合わせください。	
				*2 チェッカー ログエラー (液晶ディスプレイ障害)	致命的な障害	液晶ディスプレイ障害が発生した場合	・システム納入会社にお問い合わせください。	
				*2 チェッカー ログエラー (FAN 異常検知)	重度の障害	FAN 異常検知が発生した場合	・システム納入会社にお問い合わせください。	
				*2 チェッカー ログエラー (FAN 障害)	致命的な障害	FAN 障害が発生した場合	・システム納入会社にお問い合わせください。	
				*2 チェッカー ログエラー (eX-SG 異常)	致命的な障害	eX-SG 通信異常が発生した場合	・チェッカーを再起動してください。 ・自動復旧しない場合は、eX-SG のマニュアルを参照してご対応ください。	

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
6	ログ監視_チェッカーログ	チェッカーの出力ログを監視 (ログ出力からチェッカーアプリの不具合を検知)	30s	*2 チェッカー ログエラー (ケース開け検知)	重度の 障害	ケース開け検知が発生した場合	<ul style="list-style-type: none"> チェッカーのケースが不正に開けられた可能性があります。 チェッカーが保守作業により開けられた場合は、手動で障害をクローズしてください。 不正に開けられた可能性がある場合、システム納入会社にお問い合わせください。 	
				*2 チェッカー ログエラー (ケース閉じ検知)	重度の 障害	ケース開け検知が復旧した場合	<ul style="list-style-type: none"> チェッカーのケースが不正に開閉された可能性があります。 チェッカーが保守作業により開閉された場合は、手動で障害をクローズしてください。 不正に開閉された可能性がある場合、システム納入会社にお問い合わせください。 	
				*3 チェッカー ログエラー (顔照合サーバー再起動)	致命的 な障	顔照合サーバーの再起動が必要なエラーが発生した場合	<ul style="list-style-type: none"> 顔照合サーバーを再起動してください。 →再起動後、正常に起動すれば手動で障害をクローズしてください。 	顔照合サーバー再起動中は、接続しているチェッカーでの顔認証およびレジスターでの顔登録はできません。
				チェッカー ログエラー (KPAS 管理サーバー再起動)	致命的 な障害	KPAS 管理サーバーの再起動が必要なエラーが発生した場合	<ul style="list-style-type: none"> KPAS 管理サーバーを再起動してください →再起動後、正常に起動すれば手動で障害をクローズしてください。 	KPAS 管理サーバー再起動中は、接続しているレジスターで顔登録できません。
				*2 チェッカー ログエラー (CPU 温度異常検知 1 回目)	重度の 障害	CPU 温度異常検知(1 回目)	<ul style="list-style-type: none"> システム納入会社にお問い合わせください。 	

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
6	ログ監視_チェッカーログ	チェッカーの出力ログを監視 (ログ出力からチェッカーアプリの不具合を検知)	30s	*2 チェッカー ログエラー (CPU 温度異常検知 2 回目)	致命的 な障害	CPU 温度異常検 知(2 回目)	・システム納入会社にお問い合わせせ ください。	
				*3 チェッカー ログエラー (RealSense 温度異 常検知)	重度の 障害	RealSense 温度 異常検知	・システム納入会社にお問い合わせせ ください。	
7	*2 ログ監視_チェッ カーログ _Realsense 自動 復旧処理実行	チェッカーの出力 ログを監視	30s	チェッカー ログエラー (Realsense 自動復 旧処理実行)	警告	Realsense 自動 復旧処理が実行さ れた場合		・60 秒間障害が発生しなけれ ば自動で解除されます。
8	*2 ログ監視_チェッ カーログ_液晶 ディスプレイ自 動復旧処理実行	チェッカーの出力 ログを監視	30s	チェッカー ログエラー (液晶ディスプレイ 自動復旧処理実行)	警告	液晶ディスプレイ 自動復旧処理が実 行された場合		・60 秒間障害が発生しなけれ ば自動で解除されます。
9	*2 ログ監視_チェッ カーログ_FAN の FAN 回転停止・ 回転処理実行	チェッカーの出力 ログを監視	30s	チェッカー ログエラー (FAN 自動復旧処 理実行)	警告	FAN 自動復旧処 理が実行された場 合		・60 秒間障害が発生しなけれ ば自動で解除されます。
10	*2 ログ監視_チェッ カーログ_異常発 生時のアプリ ケーション再起 動実行	チェッカーの出力 ログを監視	30s	チェッカー ログエラー (アプリケーション 再起動)	警告	アプリケーション 再起動が必要なエ ラーが発生した場 合		・60 秒間障害が発生しなけれ ば自動で解除されます。

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
11	*2 ログ監視_チェッカーログ_異常発生時の OS 再起動実行	チェッカーの出力ログを監視	30s	チェッカー ログエラー (OS 再起動)	警告	OS 再起動が必要なエラーが発生した場合		・ 60 秒間障害が発生しなければ自動で解除されます。
12	*2 ログ監視_チェッカーログ_保守者認証連続失敗	チェッカーの出力ログを監視	30s	チェッカー ログエラー (保守者認証連続失敗)	警告	保守者認証で連続して失敗した回数が規定値に到達した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェッカーの保守画面への不正ログイン操作が行われた可能性があります。 ・ 保守作業中の操作ミスの場合は、手動で障害をクローズしてください。 ・ 不正なログイン操作が行われた可能性がある場合、システム納入会社にお問い合わせください。 	
13	*2 ログ監視_チェッカーログ_保守者認証成功	チェッカーの出力ログを監視	30s	チェッカー ログエラー (保守者認証成功)	警告	保守者認証で認証成功した場合		・ 60 秒間障害が発生しなければ自動で解除されます。
14	チェッカー再起動監視	チェッカーが再起動してからの経過時間を表示（計画外に再起動しているかの確認に利用）	30s	チェッカー再起動	警告	再起動後 30 秒間は障害を出す	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の障害が発生していないかを確認してください 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再起動後 30 秒は障害ステータスで障害パネルに出力されます。 ・ 再起動後 30 秒後から 30 分後は解決済ステータスで障害パネルに出力されます。 ・ 30 分後以降は障害パネルから消えます。 ※「チェッカー」パネルの一覧にある「チェッカー再起動監視」の項目をクリックすると、再起動後の経過時間がグラフで表示されるので、計画外の再起動（値が 0 になったタイミング）が起こっていないか確認してください。

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
15	Ping 監視	チェッカーに対して Ping 通信可能かを確認する	30s	チェッカー Ping エラー	致命的な障害	Ping が通らない場合	<p>■「チェッカー Ping エラー」のみ発生している場合</p> <p>[KPASv1.1 筐体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェッカーの電源ランプが点灯しているか確認してください。 ・電源ランプが点灯していない場合は、電源を供給してチェッカーを起動させてください。 ・電源ランプが点灯している場合は、リセットボタンを押してチェッカーを起動させてください。 <p>[KPASv1.0 筐体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェッカーが接続されているブレーカーが落ちていないことを確認してください。 ・チェッカーの電源スイッチが ON になっていることを確認してください。 ・チェッカーの電源ボタンを押して起動してください。 <p>■「チェッカー Ping エラー」「チェッカー 再起動」が同時に発生している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェッカーの再起動により一時的に障害が上がっています。しばらくすると障害は消えます。 	

注釈

*2 : KPASv1.0 筐体&ソフトバージョンアップしたものでは表示されません。

*3 : KPASv1.0 筐体&ソフトバージョンアップしていないものでは表示されません。

KPASv1.0 筐体では、別途下表の内容で監視項目が表示されます。

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
	温度監視	チェッカーの TZ00 の温度を監視 #パフォーマンス モニターで取得される TZ00 の温度 値を取得するコマ ンドを実行する	30s	チェッカー 温度上昇エラー	致命的 な障害	チェッカーの TZ00 温度が 47 度以上であれば 障害	<ul style="list-style-type: none"> ・チェッカーの電源を落とし、しばらく経ってからチェッカーの電源を入れてください ・再度発生する可能性があるため、システム納入会社にお問い合わせください。 	

KPASv1.0 筐体&ソフトウェアアップしていないものでは、別途下表の内容で監視項目が表示されます。

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
	ログ監視_チェッカーデバッグログ	チェッカーの出力 デバッグログを監視 (ログ出力から チェッカーアプリ の不具合を検知)	30s	チェッカー ログエラー (顔照合サーバー再 起動)	致命的 な障害	顔照合サーバーの 再起動が必要なエ ラーが発生した場 合	<ul style="list-style-type: none"> ・顔照合サーバーを再起動してください →再起動後、正常に起動すれば手動で障害をクローズしてください 	顔照合サーバー再起動中は、接続しているチェッカーでの顔認証およびレジスターでの顔登録はできません。
	プロセス監視 (EX-SG)	指定したプロセス 「DoorControl.e xe」が起動してい るかどうかの チェック	30s	チェッカー プロセスエラー (EX-SG)	致命的 な障害	ex-SG アプリの プロセスが停止し た場合	<ul style="list-style-type: none"> ・チェッカーを再起動してください。 	

3.2.2.6. レジスター

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
1	CPU 使用率	監視対象機器の CPU 使用率を表示	30s					
2	ディスク空き率	監視対象機器の ディスク空き率を 表示	30s	レジスター ディスク空き率監視 (20%以下)	軽度の 障害	ディスク空き率が 20(軽度) %以下 となった場合	・レジスター内の不要なデータを削除 してください。	
				レジスター ディスク空き率監視 (10%以下)	重度の 障害	ディスク空き率が 10(重度)%以下 となった場合	・ただちにレジスター内の不要なデー タを削除してください。	
3	メモリ空き率	監視対象機器のメ モリ空き率を表示	30s	レジスター メモリ空き率 (30%以下)	軽度の 障害	メモリ空き率が 30(軽度)%以下 となった場合	・レジスターを再起動してください。	
				レジスター メモリ空き率 (10%以下)	重度の 障害	メモリ空き率が 10(重度)%以下 となった場合		
4	バージョン情報	インストールされ ているレジスター アプリのバージョ ンを表示	1h					
5	プロセス監視 (FaceRegister)	レジスタープロセ スが起動している かどうかのチェッ ク	30s	レジスター プロセスエラー (FaceRegister)	致命的 な障害	レジスターのプロ セスが停止した場 合	・自動復旧機能があるためしばらくす ると復旧します ・自動復旧しない場合は、レジスター を再起動してください。	
6	ログ監視	レジスターの出力 ログを監視 (ログ出力からレ ジスターアプリの 不具合を検知)	30s	レジスター ログエラー (レジスター再起動)	致命的 な障害	レジスターの再起 動が必要なエラー が発生した場合	・レジスターを再起動してください。 →再起動後、正常に起動すれば手動 で障害をクローズしてください。	
				レジスター ログエラー (KPAS 管理サー バー再起動)	致命的 な障害	KPAS 管理サー バーの再起動が必 要なエラーが発生 した場合	・KPAS 管理サーバーとレジスターを 再起動してください。 →再起動後、正常に起動すれば手動 で障害をクローズしてください	KPAS 管理サーバー再起動中 は、接続しているレジスター での顔登録はできません。

No	監視項目名	監視内容	監視 間隔	障害名	障害 レベル	障害内容	障害発生時対応事項	備考
7	レジスター再起 動監視	レジスターが再起 動してからの経過 時間を表示（計画 外に再起動してい るかの確認に利 用）	30s	レジスター 再起動	警告	再起動後 30 秒間 は障害を出す	・他の障害が発生していないかを確認 してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・再起動後 30 秒は障害ス テータスで障害パネルに出力 されます。 ・再起動後 30 秒後から 30 分 後は解決済ステータスで障害 パネルに出力されます。 ・30 分後以降は障害パネルか ら消えます。 ※「レジスター」パネルの一 覧にある「レジスター再起動 監視」の項目をクリックする と、再起動後の経過時間がグ ラフで表示されるので、計画 外の再起動（値が 0 になった タイミング）が起こっていな いか確認してください。
8	Ping 監視	レジスターに対し て Ping 通信可能 かを確認する	30s	レジスター Ping エラー	致命的 な障害	Ping が通らない 場合	<ul style="list-style-type: none"> ■「レジスター Ping エラー」のみ発 生している場合 <ul style="list-style-type: none"> ・レジスターにネットワークケーブル が接続されていることを確認してくだ さい。 ・上記に問題がない場合は、レジス ターを再起動してください。 ■「レジスター Ping エラー」「レジ スター 再起動」が同時に発生してい る場合 <ul style="list-style-type: none"> ・レジスターの再起動により一時的に 障害が上がっています。しばらくすると 障害は消えます。 	

3.3. 公開 WebAPI 利用者の管理

KPAS 管理サーバーの一部の WebAPI は外部のシステムから利用することができます（公開 WebAPI）。公開 WebAPI を利用する場合、公開 WebAPI を利用するユーザーを設定する必要があります。なお、公開 WebAPI の利用には、別途契約が必要です。詳しくはシステム納入会社にお問い合わせください。

公開 WebAPI ではログイン ID とパスワードによる認証を使用します。公開 WebAPI のログイン ID とパスワードは WebAPI アカウント管理ツールで管理します。

STEP1

KPAS 管理サーバーの

C:¥Panasonic¥KpasManagementServer¥WebAPI¥WebAPIAccountSetting.exe をダブルクリックします。

STEP2

WebAPI アカウント管理ツールにログインするためのパスワードを設定します（初回のみ）。パスワードには半角英数、記号が使用できます。英字の大文字、英字の小文字、数字、記号から 3 種類以上を組み合わせ、8 文字以上で設定してください。パスワードの有効期限はありません。（図 78）



図 78 WebAPI アカウント管理ツール パスワード設定

STEP3

設定したパスワードを入力し [ログイン] をクリックします。（図 79）



図 79 WebAPI アカウント管理ツール ログイン

STEP4

ログイン ID 欄とパスワード欄に入力し、[設定] をクリックします。ログイン ID とパスワードは 5 つまで設定できます。

ログイン ID には半角英数、記号が使用できます。他のログイン ID と重複しない 6 文字以上の文字列を設定してください。パスワードには半角英数、記号が使用できます。英字の大文字、英字の小文字、数字、記号から 3 種類以上を組み合わせて、8 文字以上で設定してください。パスワードの有効期限はありません。セキュリティ確保の観点から、パスワードにログイン ID の全部または一部を含む文字列、および辞書単語またはその一部を何かに置き換えたものを含む文字列を使用しないでください。(図 80) ※表示のログイン ID / パスワードはサンプルです。



図 80 WebAPI アカウント管理ツール ログイン ID ・パスワード設定

STEP5

ウィンドウ右上の [ログアウト] をクリックし、WebAPI アカウント管理ツールを終了します。(図 81)

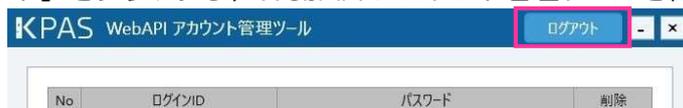


図 81 WebAPI アカウント管理ツール ログアウト

ログイン ID のパスワードを変更する場合

STEP3 (図 79) の手順でログイン後、変更するログイン ID のパスワード欄に新しいパスワードを入力し、[設定] をクリックします。セキュリティ確保の観点から、パスワードにログイン ID の全部または一部を含む文字列、および辞書単語またはその一部を何かに置き換えたものを含む文字列を使用しないでください。(図 82)



図 82 WebAPI アカウント管理ツール ユーザー編集

ログイン ID を削除する場合

削除するログイン ID の右端の [削除] をクリックし、[設定] をクリックします。(図 83)



図 83 WebAPI アカウント管理ツール ユーザー削除

WebAPI アカウント管理ツールのログインパスワードを変更する場合

ログイン画面で [パスワード変更] をクリックし、現在のパスワードと新しいパスワード (2 回入力) を入力し、[変更] をクリックします。(図 84)



図 84 WebAPI アカウント管理ツール ログインパスワード変更

WebAPI アカウント管理ツールのログインパスワードを忘れた場合またはユーザー設定を最初からやり直す場合

ログイン画面で [パスワード初期化] をクリックします。この操作を行うとログインパスワードおよびアカウント管理画面で設定したログイン ID とパスワードがすべて初期化されますのでご注意ください。(図 85)



図 85 WebAPI アカウント管理ツール パスワード初期化

4. チェッカー・レジスターアプリの操作

ここでは、チェッカー、レジスターアプリといった KPAS システムの各機器を使用する被認証者を対象とした操作を説明します。

4.1. チェッカーの使い方

eX-SG と連携する場合、以下の 2 つの認証方法があります。

IC カード and 顔認証：IC カードと顔の両方で認証された場合に、解錠します。

IC カード or 顔認証：IC カードまたは顔のいずれかで認証された場合に、解錠します。

eX-SG と連携しない場合、画面表示の一部を除き、IC カード or 顔認証と同じ動作になります。

チェッカーの画面の詳細は『4.2.チェッカー画面の詳細』で説明していますので合わせてお読みください。

STEP1

この STEP は IC カード and 顔認証の場合のみです。IC カード or 顔認証の場合は、STEP2 にお進みください。カード認証待ち画面（図 86）でカード読み取り部に IC カードをかざします。→IC カードが認証されると「顔認証待ち」画面（図 87）が表示されます。



図 86 チェッカー画面（カード認証待ち）

メモ

認証待ち画面のとき、一定時間（標準設定 300 秒）、顔が検知されないと画面は消灯します。

顔が検知されると画面は点灯し、認証待ち画面が表示されます。（IC カード or 顔認証の場合は、「顔認証中」または「顔認証成功」になっている場合があります。）

STEP2

「顔認証待ち」画面でチェッカーに顔を向けます。(図 87)



図 87 チェッカー画面 (顔認証待ち)

STEP3

顔が検知されると「顔認証中」画面 (図 88) が表示されます。



図 88 チェッカー画面 (顔認証中)

STEP4

顔認証に成功すると、画面に「顔認証できました」と表示されます。(図 89)

→解錠できたならアイコン表示が「施錠中」から「解錠中」に変わります。

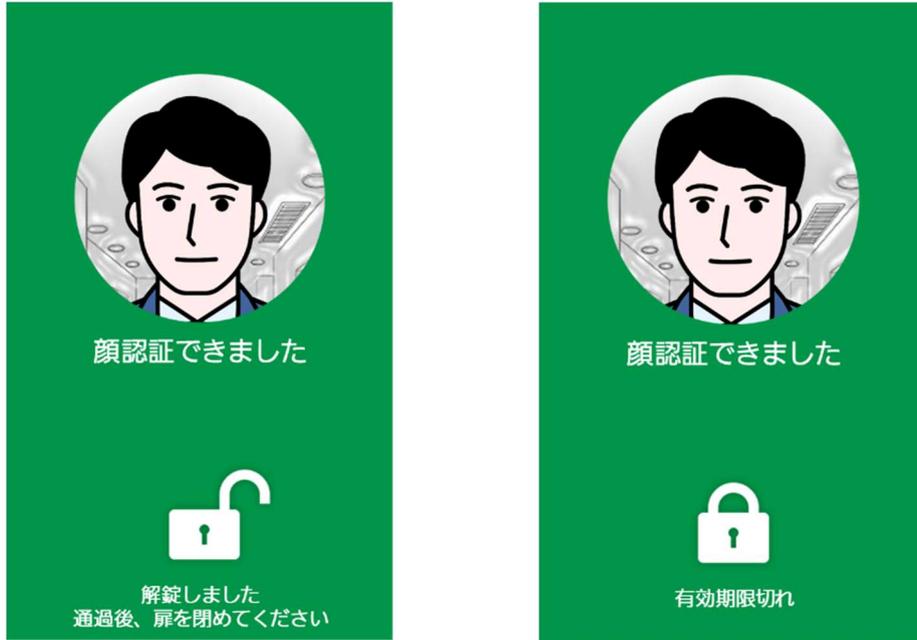


図 89 チェッカー画面（顔認証成功）左：解錠中 右：施錠中

重要

顔認証に成功しても解錠中にならない場合は、入室できない設定になっている可能性があります。入退室システムの管理者にお問い合わせください。

STEP5

顔認証に失敗すると、画面に「顔認証に失敗しました」と表示されます。(図 90)

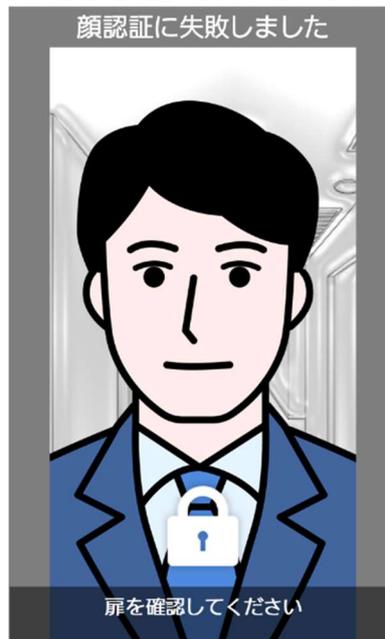


図 90 チェッカー画面（顔認証失敗）

重要

顔認証に失敗した場合は、認証待ち画面が表示されますので、再度認証を行ってください。

顔認証に失敗する場合は、以下をお試しください。

- ・チェッカーの画面に顔が正面に映るように移動してください。
- ・マスクやサングラスなどの装着物がある場合は、外してください。

- ・入退室システムの管理者に顔情報が登録されているか確認してください。登録されていない場合は、登録してください。

※通信障害発生時またはハードウェア障害発生時

通信障害発生時またはハードウェア障害発生時の場合は、画面に「メンテナンス中」と表示されます。(図 91)



図 91 チェッカー画面 (エラー)

メモ

入退室に問題が発生した場合は、入退室システムの管理者にお問い合わせください。要因となるエラーが復旧されると認証待ち中画面が表示されます。

4.2. チェッカー画面の詳細

チェッカーの表示内容を (図 92) に示します。

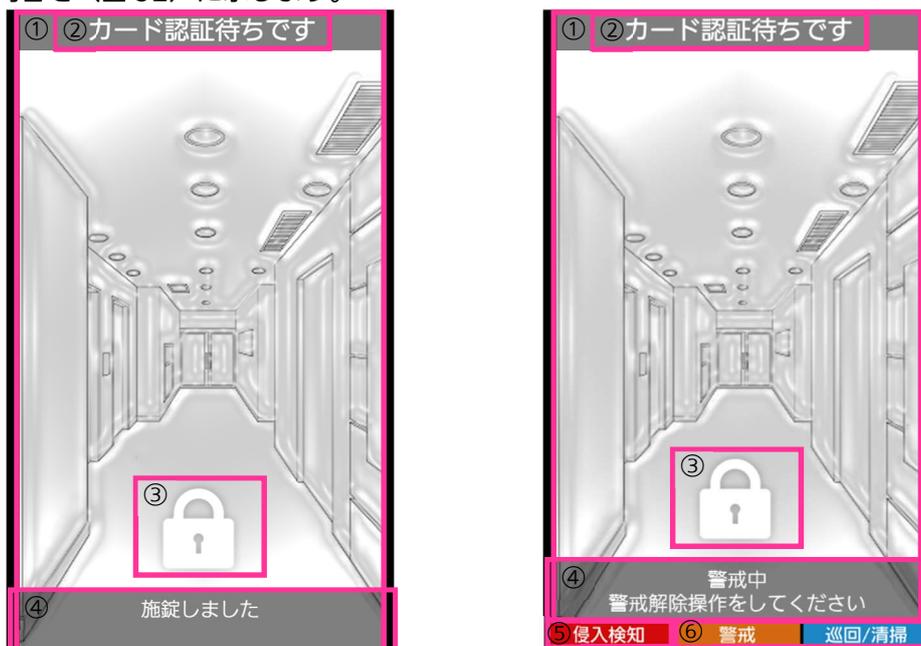


図 92 チェッカー画面詳細 左：通常状態 右：警戒状態

表 10 表示一覧（待機中表示）

No	表示部	内容
①	ライブ映像表示部	カメラでキャプチャした画像をライブ表示します。
②	認証ステータス表示部	認証ステータスの状態を表示します。 ICカードおよび顔で認証できた場合は、以下のように表示が変化します。 ICカード and 顔認証時： 「カード認証待ちです」→「顔認証できます」→「顔認証中」→「顔認証できました」 ICカード or 顔認証時： 「顔認証できます」→「顔認証中」→「顔認証できました」
③	施解錠状態表示部	ドアの錠の状態を表示します。 解錠中の場合：鍵が開いているアイコンを示します。 施錠中の場合：鍵が閉じているアイコンを示します。  解錠中の場合 施錠中の場合
④	案内表示	異常情報や案内メッセージ等を表示します。 ※詳細は eX-SG 付属の取扱説明書をお読みください。
⑤	警報表示部	eX-SG の防犯警報を表示します。 各警報の詳細については eX-SG 付属の取扱説明書をお読みください。 表示できる警報：侵入検知、扉こじ開け、メカキー解除
⑥	警戒/巡回/清掃状態表示部	eX-SG の警戒/巡回/清掃状態を表示します。 各状態の詳細については eX-SG 付属の取扱説明書をお読みください。

4.3. チェッカーの設定

チェッカー画面の右上・左上・左下の隅 3 箇所を同時にタッチすると設定画面が表示されます。（図 93）
設定画面では、ディスプレイの明るさと音量の調節およびシャットダウンができます。

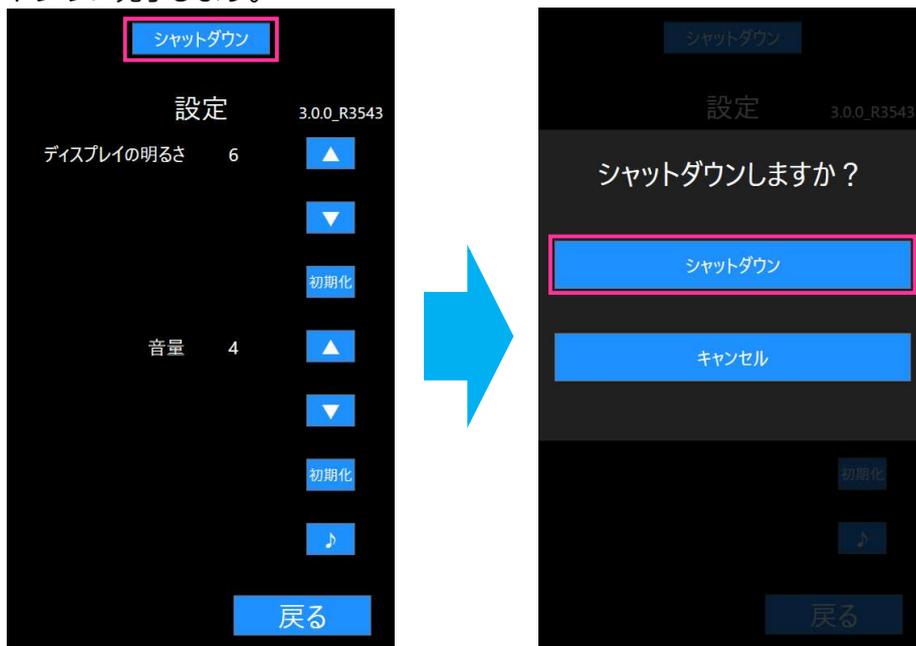


図 93 チェッカー画面（設定画面）左：通常画面 右：設定画面

ディスプレイの明るさ、音量の調節を行う場合、下記表を参考に調節を行ってください。

項目	No.	説明
明るさ	①	ディスプレイの明るさ：現在の設定値を表示します。 (暗 0~7 明)
	②	ディスプレイを 1 タップで 1 明るくします。
	③	ディスプレイを 1 タップで 1 暗くします。
	④	ディスプレイの明るさ：初期設定値に戻します。 (初期値：4)
音量	⑤	音量の現在の設定値を表示します。 (小 0~6 大)
	⑥	音量を 1 タップで 1 大きくします。
	⑦	音量を 1 タップで 1 小さくします。
	⑧	音量を初期設定値に戻します。 (初期値：5)
	⑨	設定された音量確認用として再生できます。
戻る	⑩	設定を終了して、認証待ち画面に戻ります。
シャット ダウン	⑪	チェッカーをシャットダウンします。

チェッカーのシャットダウンを行う場合、[シャットダウン] ボタンをタップします。
→「シャットダウンしますか？」の画面で [OK] をタップすると、シャットダウンを開始します。
10 秒程度でシャットダウン完了します。



重要

チェッカーをシャットダウンしたときは、すみやかに電源供給 (DC 24 V) を停止してください。
シャットダウンしてもチェッカーの電源ランプは緑色に点灯したままです。認証待ち画面で、一定時間、顔が検知されず画面が消灯している状態と誤認識する可能性があります。

4.4. KPAS 管理サーバーからのチェッカー一括シャットダウン・起動方法

一括でシャットダウン・起動するチェッカーを事前に登録しておき、KPAS 管理サーバーから一括でシャットダウン・起動することができます。

一括でシャットダウン・起動するチェッカーについては、システム納入会社にお問い合わせください。

4.4.1. 一括シャットダウン

KPAS 管理サーバーに格納されているバッチファイルを実行することで一括シャットダウンします。

STEP1

Zabbix でチェッカーが正常に稼働しているか確認してください。

正常に稼働している場合は、STEP2 へ進んでください。

正常に稼働していない場合は、『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照して対応してください。

STEP2

下記のチェッカーシャットダウンバッチファイルを実行します。

バッチファイルの場所 : C:\¥Panasonic¥FaceChecker_StartAndShutdown

バッチファイル名 : チェッカーシャットダウン.bat

メモ

「C:\¥Panasonic¥FaceChecker_StartAndShutdown¥Shutdown¥ShutdownTarget」フォルダーにシャットダウンするチェッカーの IP アドレスのファイルが格納されます。シャットダウン指示が実行されると、格納されたファイルが削除されます。

STEP3

Zabbix にてチェッカーがシャットダウンされていることを確認してください。

・「チェッカー Ping エラー」や「チェッカー プロセスエラー(FaceChecker)」が発生したら、シャットダウンされています。

STEP4

すべてのチェッカーがシャットダウンされていることが確認できたら、下記の共有の無効化バッチファイルを実行します。

バッチファイルの場所 : C:\¥Panasonic¥FaceChecker_StartAndShutdown

バッチファイル名 : シャットダウン用共有フォルダ無効化.bat

以上でチェッカーの一括シャットダウンは完了です。

4.4.2. 一括起動

KPAS 管理サーバーに格納されているバッチファイルを実行することで一括起動します。シャットダウン後で電源供給状態でないと正常に実行できません。

STEP1

下記のチェッカー起動バッチファイルを実行します。

バッチファイルの場所 : C:\¥Panasonic¥FaceChecker_StartAndShutdown

バッチファイル名 : チェッカー起動.bat

メモ

「C:\¥Panasonic¥FaceChecker_StartAndShutdown¥Start¥StartTarget」フォルダーに起動するチェッカーの IP アドレスのファイルが格納されます。格納されたファイルに対して、チェッカーの起動指示が行われます。起動指示が実行されると、格納されたファイルが削除されます。

STEP2

Zabbix にてチェッカーが稼働していることを確認してください。

正常に稼働していない場合は、『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照して対応してください。

以上でチェッカーの一括起動は完了です。

4.5. レジスターアプリの使い方

レジスターアプリがインストールされたタブレット端末の電源が入っていることを確認してください。

STEP1

[登録開始] ボタンをタップします。(図 94)



図 94 レジスターアプリ画面（待機）

STEP2

「個人情報の取り扱いについて」をよくお読みください。同意する場合は、[同意する] ボタンをタップします。(図 95)



図 95 レジスターアプリ画面（個人情報）

メモ

同意しない場合は、[中止] ボタンをタップします。以降の操作は「操作を中止した場合」（100 ページ）をお読みください。

設定によってはこの画面は表示されません。

同意文は設定によって異なります。

STEP3

画面に顔全体が表示されるように顔の位置を調整します。

[撮影] ボタンをタップします。(図 96)

顔撮影時は以下の要件を満たす必要があります。

画像が極度に明るかったり暗かったりしていないこと。

顔が正面を向いていること。

帽子、マスク、サングラス、マフラーなどの装着物を外していること。

髪の毛で目が隠れていないこと。

無表情であること。

瞬きをしたり、口を開けたり隠したりしていないこと。

撮影時は動かないこと。



図 96 レジスターアプリ画面 (顔撮影)

「撮影エラー」と表示された場合

撮影した顔画像が要件を満たしていません。STEP3 の撮影時の要件を満たしていることを確認し、[再撮影] ボタンをタップしてください。(図 97)

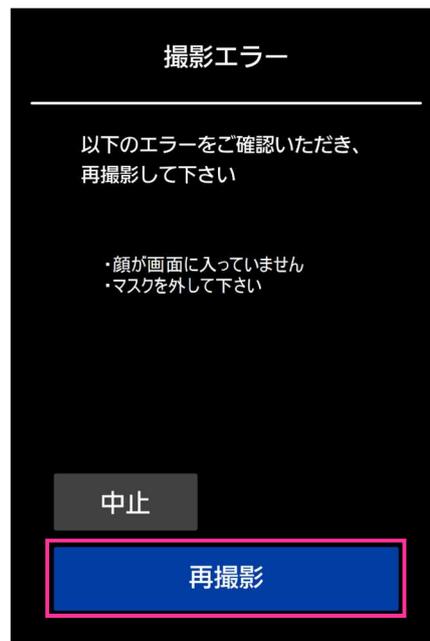


図 97 レジスターアプリ画面 (顔撮影失敗)

メモ

操作を中止する場合は、[中止] ボタンをタップしてください。以降の操作は「操作を中止した場合」(100ページ)をお読みください。

STEP4

撮影した画像を確認し、[登録] ボタンをタップします。(図 98)



図 98 レジスターアプリ画面 (登録)

メモ

操作を中止する場合は、[中止] ボタンをタップしてください。以降の操作は「操作を中止した場合」(100ページ)をお読みください。

顔を撮り直す場合は、[再撮影] ボタンをタップしてください。

STEP5

「登録完了」と表示されます。(図 99)
しばらくすると最初の画面に戻ります。



図 99 レジスターアプリ画面 (登録完了)

メモ

【終了】 ボタンをタップすると、すぐに最初の画面に戻ります。

操作を中止した場合

表示されたメッセージを確認してください。(図 100)

しばらくすると最初の画面に戻ります。

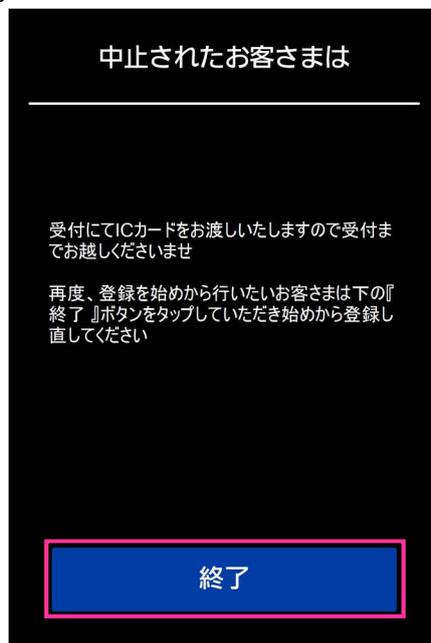


図 100 レジスターアプリ画面（操作中止）

メモ

メッセージは設定によって異なります。

【終了】 ボタンをタップすると、すぐに最初の画面に戻ります。

重要

入退室システムの管理者の方は、登録が正しくできていることを管理ポータルでご確認ください。管理ポータルの使い方は『3.システムの運用』をご覧ください。

レジスターが上記の動作をしない場合は、入退室システムの管理者へご連絡ください。

※通信障害発生時またはハードウェア障害発生時

通信障害発生時またはハードウェア障害発生時の場合は、画面に「メンテナンス中」と表示されます。(図 101)



図 101 レジスターアプリ画面 (エラー)

メモ

入退室に問題が発生した場合は、入退室システムの管理者にお問い合わせください。
要因となるエラーが復旧されると待機画面が表示されます。

5. システムの停止

KPAS を停止するには、各機器の停止順序は問いません。
KPAS 管理サーバーを停止する前に他の機器を停止した場合、Zabbix サーバーに障害発生の履歴が記録されま
す。
以下の順序で停止することを推奨します。

5.1. チェッカーの停止

チェッカーをシャットダウンし、電源供給（DC 24 V）を停止します。
チェッカーのシャットダウンについては、『4.3.チェッカーの設定』を参照してください。

5.2. レジスターアプリの停止

タブレット端末の電源ボタンを押し、電源を切ります。
「1つのアプリを閉じて、シャットダウンします」のメッセージが表示されたら、[強制的にシャットダウン] を
タップします。

5.3. KPAS 管理サーバーの停止（エントリーモデル・ベーシッ クモデル）

KPAS 管理サーバーへログインし、スタートボタン>電源アイコン>シャットダウンの順にクリックし、
Windows をシャットダウンします。（図 102）「X 個のアプリを閉じて、シャットダウンします」のメッセージ
が表示されますが、しばらくすると自動で終了しますので [強制的にシャットダウン] をクリックしないでくださ
い。

重要

KPAS 管理サーバーへのログイン時に必要な ID/パスワードが不明な場合は、システム納入会社にお問い合わせ
をください。

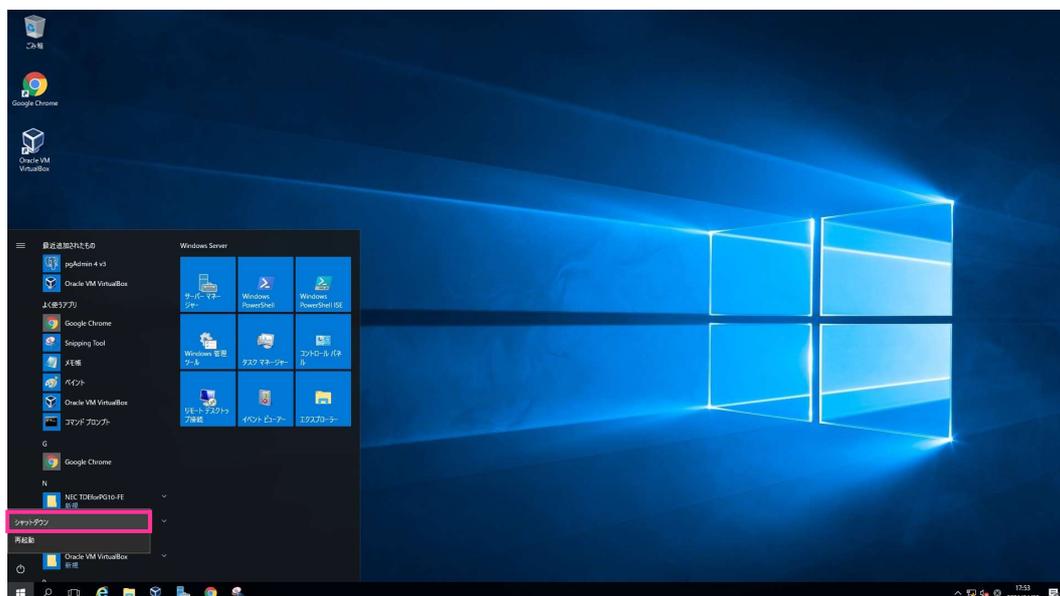


図 102 Windows シャットダウン

5.4. 顔照合サーバーの停止（ベーシックモデルのみ）

『5.3.KPAS 管理サーバーの停止（エントリーモデル・ベーシックモデル）』と同様の手順で、Windows を
シャットダウンします。

5.5. 入退履歴サーバーの停止（単独構成の場合）

『5.3.KPAS 管理サーバーの停止（エントリーモデル・ベーシックモデル）』と同様の手順で、Windows をシャットダウンします。

6. システムのバックアップ

各種データベース、ログのバックアップ方法を説明します。

バックアップは、機器の故障から復旧する場合に必要な情報です。定期的なバックアップの実施およびバックアップデータを複数のメディアにコピーして保管することを推奨します。

定期的なバックアップを推奨するデータベース、ログは下記、5種類になります。

- KPAS 管理サーバーデータベース
- Zabbix サーバーデータベース
- 入退履歴サーバーデータベース
- KPAS 管理サーバーへのアクセスログ
- 入退履歴サーバーへのアクセスログ

メモ

リストアが必要な際は、システム納入会社までお問い合わせください。

6.1. KPAS 管理サーバーデータベースのバックアップ

6.1.1. 自動バックアップ

KPAS 管理サーバーのデータベースは毎日午前 2 時（標準設定）に自動的にバックアップされます。バックアップファイルの保存先とファイル名は、それぞれ以下のようになります。

バックアップ保存先 : C:¥Panasonic¥KpasManagementServer¥Backup¥YYYYMMDD

バックアップファイル名 : Dump_ManagementServer

※YYYYMMDD: バックアップ実行日の西暦年月日の 8 桁

標準設定では、バックアップファイルは直近 30 日分保存され、それ以前のバックアップファイルは自動的に削除されます。定期的に外部メディア（外付けハードディスクなど）へのバックアップを実施してください。

メモ

バックアップ動作が設定と異なる場合は、システム納入会社に確認してください。

6.1.2. 手動バックアップ

KPAS 管理サーバーのタスクスケジューラに登録されているバックアップ設定を手動で実行することもできます。

重要

KPAS 管理サーバーへのログイン時に必要な ID/パスワードが不明な場合は、システム納入会社にお問い合わせください。

STEP1

スタートボタンを右クリックし、「コンピューターの管理」を選択します。(図 103)

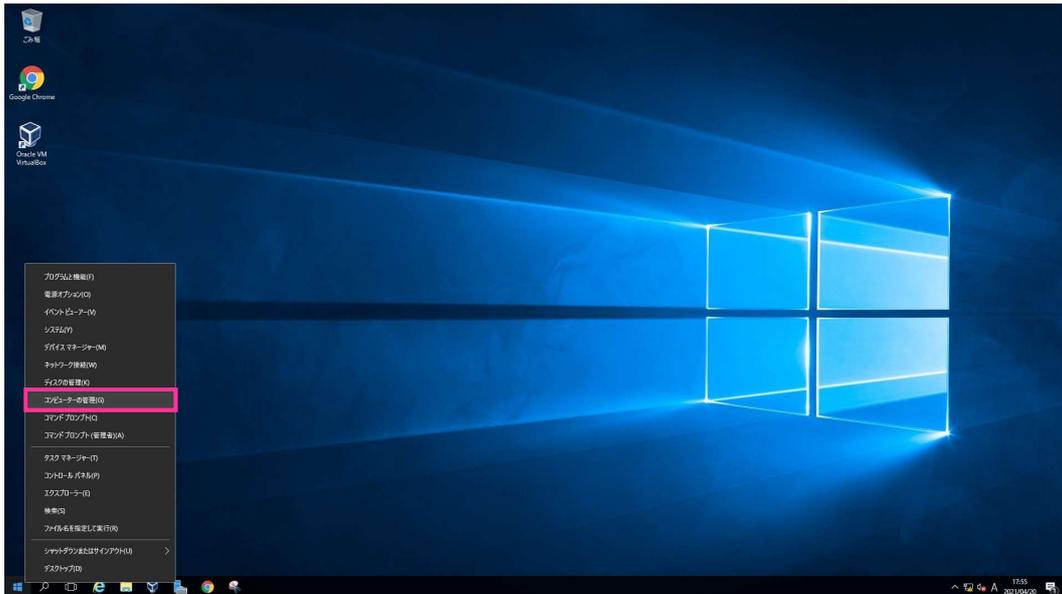


図 103 スタートボタン>コンピューターの管理

STEP2

コンピューターの管理 > システムツール > タスクスケジューラ > タスクスケジューラ ライブラリの順に展開し、中央上のウィンドウに表示されたタスク一覧から「バックアップ」を右クリックして、「実行する」を選択します。(図 104)

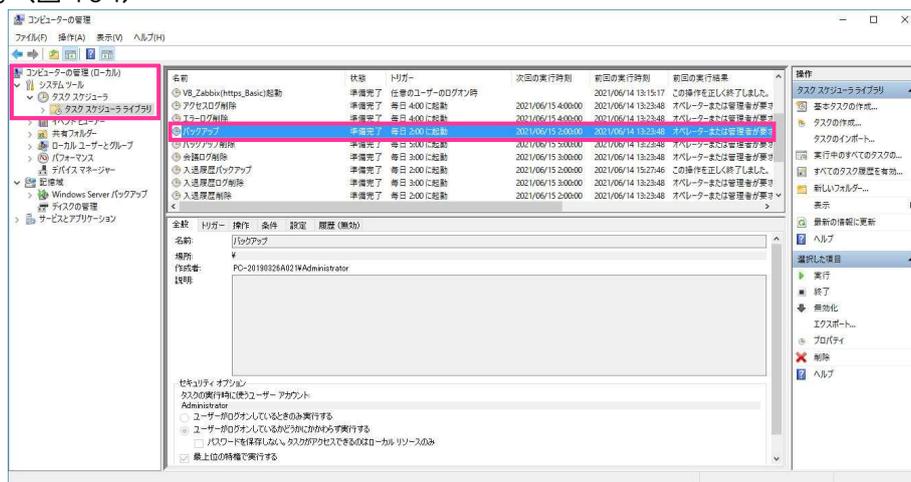


図 104 タスクスケジューラ上でバックアップを手動実行

メモ

バックアップ保存先/バックアップファイル名は自動バックアップと同じです。
同じ日にバックアップされたファイルが存在する場合は、上書きされます。

6.2. Zabbix サーバーデータベースのバックアップ

Zabbix サーバーのデータベースは、毎日午前 2 時（標準設定）に Zabbix サーバー（仮想マシン）のホストマシンである KPAS 管理サーバーのディスクにバックアップされます。

バックアップファイルの保存先とファイル名は、それぞれ以下ようになります。

バックアップ保存先 : C:\¥Panasonic¥VirtualBox¥Backup¥Zabbix

バックアップファイル名 : Zabbix_YYYYMMDDhhmmss.zip

※YYYYMMDDhhmmss : バックアップ実行日時の西暦年月日時分秒の 14 桁

標準設定では、バックアップファイルは直近 30 日分保存され、それ以前のバックアップファイルは自動的に削除されます。定期的に外部メディア（外付けハードディスクなど）へのバックアップを実施してください。

メモ

バックアップ動作が設定と異なる場合は、システム納入会社に確認してください。

6.3. 入退履歴サーバーデータベースのバックアップ

6.3.1. 自動バックアップ

入退履歴サーバーのデータベースは毎日午前 2 時（標準設定）に自動的にバックアップされます。バックアップファイルの保存先とファイル名は、それぞれ以下ようになります。

バックアップ保存先 : C:\¥Panasonic¥EntryExitHistoryServer¥Backup¥YYYYMMDD

バックアップファイル名 : Dump_EntryExitHistory

※ YYYYMMDD : バックアップ実行日の西暦年月日の 8 桁

標準設定では、バックアップファイルは直近 3 日分保存され、それ以前のバックアップファイルは自動的に削除されます。定期的に外部メディア（外付けハードディスクなど）へのバックアップを実施してください。

メモ

バックアップ動作が設定と異なる場合は、システム納入会社に確認してください。

6.3.2. 手動バックアップ

入退履歴サーバーのタスクスケジューラに登録されているバックアップ設定を手動で実行することもできます。

重要

入退履歴サーバーへのログイン時に必要な ID/パスワードが不明な場合は、システム納入会社にお問い合わせください。

STEP1

スタートボタンを右クリックし、「コンピューターの管理」を選択します。（図 105）

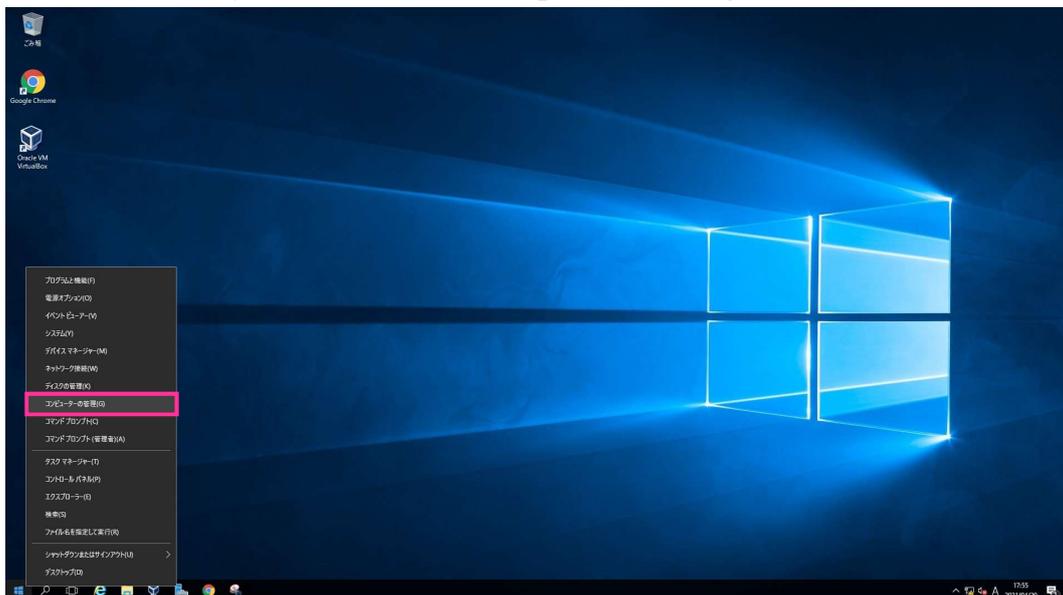


図 105 スタートボタン>コンピューターの管理

STEP2

コンピューターの管理 > システムツール > タスクスケジューラ > タスクスケジューラ ライブラリの順に展開し、中央上のウィンドウに表示されたタスク一覧から [入退履歴バックアップ] を右クリックして、[実行する] を選択します。(図 106)

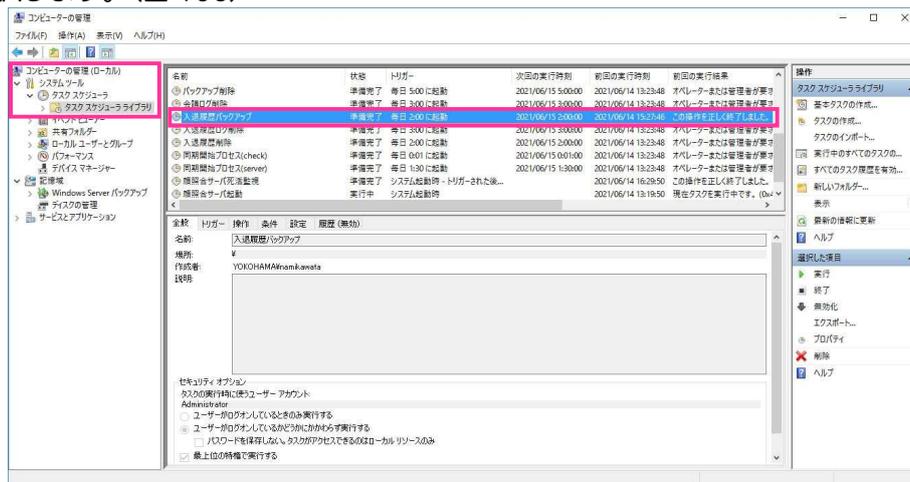


図 106 タスクスケジューラ上でバックアップを手動実行

メモ

バックアップ保存先/バックアップファイル名は自動バックアップと同じです。
同じ日にバックアップされたファイルが存在する場合は、上書きされます。

6.4. アクセスログのバックアップ

6.4.1. KPAS 管理サーバーへのアクセスログのバックアップ

KPAS 管理サーバーへのアクセスの履歴（アクセスログ）は以下の場所にあります。アクセスログはアクセスごとに更新され、365 日分保存されます（標準設定）。アクセスログファイル名は日毎に作成されます。手動でコピーをとることによりバックアップできます。

アクセスログの場所 : C:\¥Panasonic¥KpasManagementServer¥WebAPI¥log
アクセスログファイル名 : Access_YYYYMMDD.log
※ YYYYMMDD : 保存しているアクセスログの西暦年月日の 8 桁

6.4.2. 入退履歴サーバーへのアクセスログのバックアップ

入退履歴サーバーへのアクセスの履歴（アクセスログ）は以下の場所にあります。アクセスログはアクセスごとに更新され、365 日分保存されます（標準設定）。アクセスログファイル名は日毎に作成されます。手動でコピーをとることによりバックアップできます。

アクセスログの場所 : C:\¥Panasonic¥EntryExitHistoryServer¥logs
アクセスログファイル名 : Access.log YYYY-MM-DD
※ YYYY-MM-DD : 保存しているアクセスログの西暦年月日の 8 桁
※ 「Access.log」は当日分のアクセスログファイルです。

7. システムの廃棄

KPAS 管理サーバー、顔照合サーバー、入退履歴サーバーには個人情報が含まれるため、機器の廃棄時には復元不能な電磁的フォーマットや物理的破壊を行ってください。

サーバー機器は、それぞれの機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

8. お手入れのしかた

チェッカーは、以下の内容でお手入れしてください。

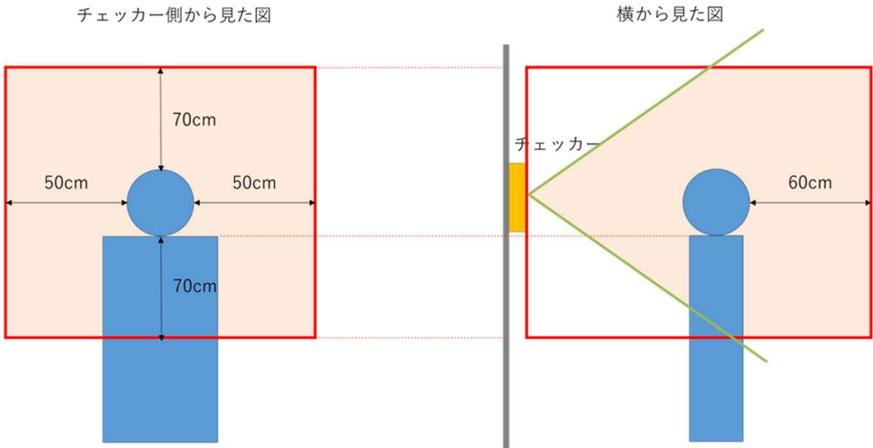
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所用洗剤などを使用すると、変質や変色の原因になります。柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きに従ってください。
- 定期的にはこりを取るなどの清掃を行ってください。

その他の機器は、それぞれの機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

9. こんなときは

KPAS システムに異常が発生した場合、その現象を確認し、以下に示す現象別の確認項目・対処方法を実施してください。下記の確認項目・対処方法を実施しても直らないときや、下記に記載のない現象のときはシステム納入会社にお問い合わせください。

分類	現象	確認項目・対処方法
KPAS 管理サーバー	KPAS 管理サーバーの電源が入らない	以下項目を確認してください。 KPAS 管理サーバー本体と電源ケーブルが正しく接続されていますか？ 電源ケーブルと電源コンセントが正しく接続されていますか？ 電源コンセントに電源が供給されていますか？
顔照合サーバー	顔照合サーバーの電源が入らない	以下項目を確認してください。 顔照合サーバー本体と電源ケーブルが正しく接続されていますか？ 電源ケーブルと電源コンセントが正しく接続されていますか？ 電源コンセントに電源が供給されていますか？
入退履歴サーバー	入退履歴サーバーの電源が入らない	以下項目を確認してください。 入退履歴サーバー本体と電源ケーブルが正しく接続されていますか？ 電源ケーブルと電源コンセントが正しく接続されていますか？ 電源コンセントに電源が供給されていますか？
チェッカー	チェッカーの電源が入らない	以下項目を確認してください。 チェッカーが接続されているブレーカーが「切」になっていませんか？
チェッカー	チェッカーアプリが起動せず、エラーメッセージが表示される	Zabbix のダッシュボード画面の [障害] パネルに、障害が表示されていますか？ 『3.2.機器の管理』の手順で Zabbix にログインし、障害が発生していないか確認してください。障害については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。
チェッカー	メンテナンス中と表示される	Zabbix のダッシュボード画面の [障害] パネルに、障害が表示されていますか？ 『3.2.機器の管理』の手順で Zabbix にログインし、障害が発生していないか確認してください。障害については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。
チェッカー	チェッカーに顔をかざすとメンテナンス中と表示される	Zabbix のダッシュボード画面の [障害] パネルに、障害が表示されていませんか？ 『3.2.機器の管理』の手順で Zabbix にログインし、障害が発生していないか確認してください。障害については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。
		チェッカーと顔照合サーバーのネットワーク経路に異常がある可能性があります。以下の項目を確認後、顔照合サーバーを再起動してください。 KPAS システム以外の機器を同一ネットワーク上に接続していませんか？接続している場合は、該当する機器の接続を外してください。
		上記確認項目で問題ないにも関わらず解決しない場合は、チェッカーの電源を切→入し、再起動してください。
チェッカー	チェッカーで顔認証できない	デジタル名刺として登録された顔で認証していますか？ 管理ポータルにログインし、顔画像が登録されていることを確認してください。顔画像が登録されていない場合は、デジタル名刺を登録してください。 (→『3.1.5.3.デジタル名刺を1件ずつ登録する』『3.1.5.5.デジタル名刺を編集する』) デジタル名刺の有効期限が切れている可能性があります。 管理ポータルにログインし、該当のデジタル名刺の「有効日」「無効日」を確認してください。「有効日」「無効日」に誤りがある場合は、デジタル名刺を更新してください。(→『3.1.5.4.デジタル名刺を検索・閲覧する』)

分類	現象	確認項目・対処方法
チェッカー	チェッカーで顔認証できない	<p>登録画像が要件（5年以内に撮影された顔画像）を満たしていますか？登録画像が5年以上経過した場合、認識率が下がります。管理ポータルにログインし、該当の登録画像を更新してください。（→『3.1.5.5.デジタル名刺を編集する』）</p>
		<p>利用者が認証するとき、チェッカーから40cm～200cmの位置に立っていますか？</p> <p>利用者が認証するとき、赤枠の範囲内とカメラの画角（緑線の内側）の重なる空間（オレンジ色の範囲）に、認証される人以外の物（※）がありませんか？</p> <p>※壁や看板などすべての物が対象です。</p>
		<p>チェッカー側から見た図</p> <p>横から見た図</p> 
		<p>チェッカーでの顔撮影時の条件（顔、環境）を満たしていますか？以下のときは、顔認証できない場合があります。</p> <p>【顔認証できない主な原因】</p> <ul style="list-style-type: none"> - マスクやサングラスの種類やその着用方法が、顔認証に適していない - 顔の照度が100lx未満である - 顔の一部に影がある - 逆光になっている
		<p>「認証失敗」が頻発する場合、カメラが汚れている可能性があります。本書でカメラの場所を確認のうえ、清掃を行ってください。（→『1.3.1.チェッカー』外観図）</p> <p>Zabbixのダッシュボード画面の「障害」パネルに、障害が表示されていませんか？</p> <p>『3.2.機器の管理』の手順でZabbixにログインし、障害が発生していないか確認してください。障害については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。</p> <p>上記確認項目で問題ないにも関わらず解決しない場合は、チェッカーの電源ボタンを切→入し、再起動してください。</p>
チェッカー	チェッカーでの顔認証に時間がかかる	<p>登録画像が要件（5年以内に撮影された顔画像）を満たしていますか？登録画像が5年以上経過した場合、認識率が下がります。管理ポータルにログインし、該当の登録画像を更新してください。（→『3.1.5.5.デジタル名刺を編集する』）</p> <p>チェッカーでの顔撮影時の条件（顔、環境）を満たしていますか？以下のときは、顔認証に時間がかかる場合があります。</p> <p>【顔認証に時間がかかる主な原因】</p> <ul style="list-style-type: none"> - マスクやサングラスの種類やその着用方法が、顔認証に適していない - 顔の照度が100lx未満である - 顔の一部に影がある - 逆光になっている

分類	現象	確認項目・対処方法
チェッカー	チェッカーでの顔認証に時間がかかる	<p>利用者が認証するとき、チェッカーから 40 cm～200 cm の位置にたっていますか？</p> <p>利用者が認証するとき、赤枠の範囲内とカメラの画角（緑線の内側）の重なる空間（オレンジ色の範囲）に、認証される人以外の物(※)がありませんか？</p> <p>※壁や看板などすべての物が対象です。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>「認証エラー」が頻発する場合、カメラが汚れている可能性があります。本書でカメラの場所を確認のうえ、清掃を行ってください。（→『1.3.1. チェッカー』外観図）</p> <p>Zabbix のダッシュボード画面の「障害」パネルに、障害が表示されていませんか？</p> <p>『3.2. 機器の管理』の手順で Zabbix にログインし、障害が発生していないか確認してください。障害については『3.2.2. 監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。</p> <p>上記確認項目で問題ないにも関わらず解決しない場合は、チェッカーの電源ボタンを切→入し、再起動してください。</p>
チェッカー	チェッカーで顔認証成功だが解錠されない	<p>デジタル名刺登録の入退 ID が正しく設定されていますか？</p> <p>入退 ID が正しく設定されていない場合は、管理ポータルにログインし、該当のデジタル名刺を削除後、正しい入退 ID でデジタル名刺を再登録してください。（→『3.1.5.3. デジタル名刺を 1 件ずつ登録する』『3.1.5.6. デジタル名刺を 1 件ずつ削除する』）</p> <p>eX-SG の設定を確認し、正しい値に修正してください。</p> <p>上記確認項目で問題ないにも関わらず解決しない場合は、チェッカーの電源ボタンを切→入し、再起動してください。</p>
チェッカー	人がいない状態でもチェッカーで認証失敗と表示される	<p>チェッカーの撮影範囲内に人の顔が印刷されたポスター等はありませんか？</p> <p>該当するものがある場合は、チェッカーの撮影範囲内に映らないように移動してください。</p>
チェッカー	下にタスクバーが表示される	<p>ディスプレイのタスクバー以外の部分をタップしてください。</p>
チェッカー	電源オフ時に「X 個のアプリを閉じて、シャットダウンします」というメッセージが表示されシャットダウンができない	<p>「強制的にシャットダウン」をタップしてください。</p>

分類	現象	確認項目・対処方法
レジスターアプリ	レジスターアプリで「KPAS 管理サーバーに接続中」画面が表示され続け、Welcome画面が表示されない	KPAS 管理サーバーが正常に起動していない可能性があります。以下項目を確認してください。 管理ポータルログイン画面にアクセスし、ログインすることはできますか？ ⇒ログインできる場合 KPAS 管理サーバーは正常に起動しています。 ⇒ログインできない場合 KPAS 管理サーバーが起動していません。 KPAS 管理サーバーを再起動してください。
		レジスタータブレットと KPAS 管理サーバーのネットワーク経路に異常がある可能性があります。以下項目を確認後、KPAS 管理サーバーを再起動してください。 KPAS システム以外の機器などに設定されている IP アドレスが重複していませんか？重複している場合は、該当する機器の接続を外してください。 レジスタータブレットが有線 LAN 接続の場合、有線 LAN が接続されているレジスタータブレットの周辺機器に電源が供給されていますか？ レジスタータブレットが無線 LAN 接続の場合、無線 LAN アクセスポイントに正しく接続されていますか？
		Zabbix のダッシュボード画面の「障害」パネルに、障害が表示されていませんか？ 『3.2.機器の管理』の手順で Zabbix にログインし、障害が発生していないか確認してください。障害については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。
		上記確認項目で問題ないにも関わらず解決しない場合は、KPAS 管理サーバーおよびレジスタータブレットを再起動してください。
レジスターアプリ	レジスターアプリで顔撮影後「撮影エラー」となる	レジスターアプリでの顔撮影時の条件（顔、環境）を満たしていますか？以下の要件を満たしているか確認してください。（→『4.5.レジスターアプリの使い方』） 【顔撮影時の条件】 - 画像が極度に明るかったり暗かったりしていないこと - 顔が正面を向いていること - 帽子、マスク、サングラス、マフラーなどの装着物を外していること - 髪の毛で目が隠れていないこと - 無表情であること - 瞬きをしたり、口を開けたり隠したりしていないこと - 撮影時に動かないこと
		Zabbix のダッシュボード画面の「障害」パネルに、障害が表示されていませんか？ 『3.2.機器の管理』の手順で Zabbix にログインし、障害が発生していないか確認してください。障害については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。
レジスターアプリ	レジスターアプリで顔撮影後「撮影エラー」となる	KPAS 管理サーバーと顔照合サーバーのネットワーク経路に異常がある可能性があります。以下の項目を確認後、顔照合サーバーを再起動してください。 KPAS システム以外の機器などに設定されている IP アドレスが重複していませんか？重複している場合は、該当する機器の接続を外してください。 KPAS 管理サーバー本体とネットワークケーブルが正しく接続されていますか？ 顔照合サーバー本体とネットワークケーブルが正しく接続されていますか？ ネットワークケーブルとハブが正しく接続されていますか？

分類	現象	確認項目・対処方法
レジスターアプリ	レジスターアプリで顔撮影後「撮影エラー」となる	上記確認項目で問題ないにも関わらず解決しない場合は、顔照合サーバーおよびレジスタータブレットを再起動してください。
レジスターアプリ	「登録」ボタン押下後「登録完了」画面が表示されない	<p>Zabbix のダッシュボード画面の「障害」パネルに、障害が表示されていませんか？ 『3.2.機器の管理』の手順で Zabbix にログインし、障害が発生していないか確認してください。障害については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。</p> <p>デジタル名刺の最大登録件数を超過していませんか？管理ポータルでデジタル名刺の登録件数を確認してください。 最大登録件数となっている場合は、不要なデジタル名刺を削除してください。（→『3.1.5.6.デジタル名刺を1件ずつ削除する』）</p> <p>管理ポータルにログインし、デジタル名刺が登録されているかを確認してください。 デジタル名刺が登録されていない場合は、レジスターで再度名刺登録をお願い致します。</p> <p>上記確認項目で問題ないにも関わらず解決しない場合は、顔照合サーバーおよびレジスタータブレットを再起動してください。</p>
レジスターアプリ	下にタスクバーが表示される	画面のタスクバー以外の部分をタップしてください。
レジスターアプリ	電源オフ時に「X個のアプリを閉じて、シャットダウンします」というメッセージが表示されシャットダウンができない	「強制的にシャットダウン」をタップしてください。
管理ポータル	管理ポータルのログイン画面が表示されない	<p>URL が間違っていないですか？ 正しい URL (https://【KPAS 管理サーバーの IP アドレス】/KPASPortal/LoginMP) が入力されていることを確認してください。</p> <p>KPAS 管理サーバーの電源は入っていますか？ KPAS 管理サーバーの電源が入っていない場合は、電源を入れてください。</p> <p>新しい管理ポータル閲覧用 PC で管理ポータルにアクセスしていませんか？ 新規 PC で管理ポータルにアクセスする場合、別途設定が必要です。システム納入会社にお問い合わせください。</p> <p>Zabbix のダッシュボード画面の「障害」パネルに、障害が表示されていませんか？ 『3.2.機器の管理』の手順で Zabbix にログインし、障害が発生していないか確認してください。障害については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。</p> <p>上記確認項目で問題ないにも関わらず解決しない場合は、KPAS 管理サーバーを再起動してください。</p>
管理ポータル	管理ポータルでログイン画面を表示する際に、セキュリティの警告が表示される	<p>自己証明書を使用している場合は、セキュリティの警告画面が表示されますが動作に問題はありません。 セキュリティの警告画面を表示させたくない場合は、システム納入会社にお問い合わせください。</p> <p>SSL 証明書の有効期限が切れている可能性があります。以下の手順で証明書の有効期限を確認してください。 (1) [ファイル名を指定して実行] から「Certlm.msc」を実行 (2) [個人] - [証明書] をクリックし、証明書の有効期限を確認 (3) 証明書の有効期限が切れている場合は、システム納入会社にお問い合わせください。</p>

分類	現象	確認項目・対処方法
管理ポータル	管理ポータルにログインできない	”管理ポータルに登録されたユーザー”でログインしていますか？ ユーザーが登録されていない場合は、管理ポータルで新規ユーザーの登録を行ってください。(→『3.1.4.ユーザーの管理』)
		管理ポータルで登録しているログインID/パスワードとは異なるログインID/パスワードでログインしていませんか？正しいログインID/パスワードでアクセスしてください。 パスワードが分からない場合は、パスワードを初期化してください。ただし、パスワードの初期化には管理ポータルの管理ユーザーで「他ユーザーのパスワードの再設定」の機能権限が付与された別ユーザーでログインする必要があります。(→『3.1.3.ユーザーのパスワードを変更する』)
		パスワードの有効期限が切れていませんか？ パスワード変更を行ってください。(→『3.1.4.ユーザーの管理』)
		Zabbixのダッシュボード画面の「障害」パネルに、障害が表示されていませんか？ 『3.2.機器の管理』の手順でZabbixにログインし、障害が発生していないか確認してください。障害については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。
管理ポータル	管理ポータルでデジタル名刺を新規登録/編集して登録できない	条件を満たした顔画像を使用していますか？条件を満たした顔画像を使用してください。(→『3.1.5.1.顔画像の要件』表2)
管理ポータル	管理ポータルで名刺を登録しても名刺関連の項目が自動的に入力されない	OCR条件を満たした名刺画像を使用していますか？ OCR条件を満たした名刺画像を使用してください。(→『3.1.5.2.名刺画像の要件』表3) 【OCR条件】 書体：明朝体、ゴシック体 文字：約6,800字【英字、数字、ひらがな、カタカナ、JIS記号（一部）168文字、ギリシャ文字（一部）32字、JIS第1水準漢字、JIS第2水準漢字】 文字サイズ：6～60ポイント
管理ポータル	管理ポータルでデジタル名刺が2重に登録される	名刺登録ボタンが2回押され、デジタル名刺が2重に登録された可能性があります。 管理ポータルで片方の名刺データを削除してください。(→『3.1.5.6.デジタル名刺を1件ずつ削除する』) ※KPASシステムでは登録されたデジタル名刺が重複しているかのチェックを行っていません。
管理ポータル	管理ポータルでデジタル名刺の一括登録ができない	一括登録ファイルの形式は合っていますか？ CSV形式を確認してください。 なおMicrosoft Excelで保存した場合、日付形式が変換されます。(→『3.1.5.8.デジタル名刺を一括管理（登録/更新/削除）する』)
管理ポータル	エラーダイアログ「被認証者の上限数に達したため、新規登録に失敗しました。」が表示される	デジタル名刺の最大登録件数を超過しています。不要なデジタル名刺を削除してください。(→『3.1.5.6.デジタル名刺を1件ずつ削除する』)
管理ポータル	管理ポータルでデジタル名刺の登録/編集/削除時に「同期に失敗しました」のダイアログが表示される	Zabbixのダッシュボード画面の「障害」パネルに、障害が表示されていませんか？ 『3.2.機器の管理』の手順でZabbixにログインし、障害が発生していないか確認してください。障害については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。

分類	現象	確認項目・対処方法
管理ポータル	管理ポータルでデジタル名刺の登録/編集/削除時に「同期に失敗しました」のダイアログが表示される	上記確認項目で問題ない場合は、KPAS 管理サーバーおよび顔照合サーバーを再起動するか、顔認証用データを同期してください。(→『3.1.5.9.顔認証用データを同期する』)
管理ポータル	検索したい時刻の入退履歴が検索結果に表示されていない	Zabbix のダッシュボード画面の [障害] パネルに、障害が表示されていませんか？ 『3.2.機器の管理』の手順で Zabbix にログインし、障害が発生していないか確認してください。障害については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。 上記確認項目で問題ないにも関わらず解決しない場合は、入退履歴サーバーを再起動してください。
Zabbix サーバー	Zabbix のログイン画面が表示されない	Zabbix サーバーが起動していますか？以下項目を確認してください。 KPAS 管理サーバーのデスクトップに「Zabbix(https_Entry)」または「Zabbix(https_Basic)」と記載されたウィンドウが立ち上がっていること (→『2.1.KPAS 管理サーバーの起動 (エントリーモデル・ベーシックモデル)』 STEP2) ⇒ウィンドウが立ち上がっていない場合は、KPAS 管理サーバーを再起動してください。 Oracle VM VirtualBox と記載されたウィンドウにエラーダイアログが表示される ⇒前回、正常にシャットダウンされなかった可能性があります。以下の手順を行ってください。 (1) VirtualBox マネージャーを起動 (2) エラーが発生した仮想マシンを右クリックし、「保存状態の破棄」をクリック (3) KPAS 管理サーバーを再起動 上記確認項目で問題ないにも関わらず解決しない場合は、KPAS 管理サーバーを再起動してください。
Zabbix サーバー	Zabbix のログイン画面を開こうとすると、セキュリティの警告が表示される	自己証明書を使用している場合は、セキュリティの警告画面が表示されますが動作に問題はありません。 セキュリティの警告画面を表示させたくない場合は、システム納入会社にお問い合わせください。(→『3.1.1.管理ポータルへログインする』) SSL 証明書の有効期限が切れている可能性があります。動作に問題はありませんが、セキュリティの警告画面を表示させたくない場合は、システム納入会社にお問い合わせください。
Zabbix サーバー	Zabbix にログインできない	Zabbix に登録している ID/パスワードとは異なる ID/パスワードでアクセスしていませんか？ 正しい ID/パスワードでアクセスしてください。不明な場合は、システム納入会社にお問い合わせください。
Zabbix サーバー	Zabbix ダッシュボードが英語表示またはゲスト表示となる	ブラウザのキャッシュをクリアし、再度 Zabbix へログインしてください。

分類	現象	確認項目・対処方法
Zabbix サーバー	監視対象機器の データが取得でき ていない	監視対象機器の Zabbix エージェントが起動していない可能性があります。監視対象機器によって手順が異なります。 【KPAS 管理サーバー、顔照合サーバーの場合】 以下手順で Zabbix エージェントの状態を確認してください。 (1) 監視対象機器で [スタートボタン] - [Windows 管理ツール] - [サービス] を起動 (2) [Zabbix Agent] のサービスの状態を確認 (3) サービスの状態が「実行中」以外の場合、右クリックし、「開始」または「再起動」をクリック 【チェッカー、レジスターの場合】 (1) 監視対象機器を再起動してください。
Zabbix サーバー	Zabbix のダッシュ ボード画面の [障 害] パネルに、障 害が表示されてい る	Zabbix 画面上での警告等については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。
KPAS 管理 サーバー	KPAS 管理サー バーが起動しない (起動完了のログ 「FaceManage.St artupProc - 起動 処理終了」が出力 されない)	SSL 証明書の有効期限が切れている可能性があります。以下の手順で証明書の有効期限を確認してください。 (1) [ファイル名を指定して実行] から「Certlm.msc」を実行 (2) [個人] - [証明書] をクリックし、証明書の有効期限を確認 (3) 証明書の有効期限が切れている場合は、システム納入会社にお問い合わせください。 上記確認項目で問題ないにも関わらず解決しない場合は、KPAS 管理サーバーを再起動してください。
顔照合 サーバー	顔照合サーバーが 起動しない (起動完了のログ 「顔照合サーバー 起動成功」が出力 されない)	KPAS 管理サーバーが正常に起動していない可能性があります。以下項目を確認してください。 管理ポータルログイン画面にアクセスできますか？ ⇒ログイン画面にアクセスできる場合 KPAS 管理サーバーは正常に起動しています。 ⇒ログイン画面にアクセスできない場合 KPAS 管理サーバーが起動していません。 トラブルシューティング「KPAS 管理サーバーが起動しない」を参照してください。 Zabbix のダッシュボード画面の [障害] パネルに、障害が表示されていませんか？ 『3.2.機器の管理』の手順で Zabbix にログインし、障害が発生していないか確認してください。障害については『3.2.2.監視項目と障害発生時の対応方法』を参照してください。 SSL 証明書の有効期限が切れている可能性があります。以下の手順で証明書の有効期限を確認してください。 (1) [ファイル名を指定して実行] から「Certlm.msc」を実行 (2) [個人] - [証明書] をクリックし、証明書の有効期限を確認 (3) 証明書の有効期限が切れている場合は、システム納入会社にお問い合わせください。 上記確認項目で問題ないにも関わらず解決しない場合は、顔照合サーバーを再起動してください。

10. ソフトウェアライセンス

本製品には以下のソフトウェアが組み込まれています。

- (1) the GNU General Public License、Version1.0 (GPL V1.0)、Version2.0 (GPL V2.0)、Version3.0 (GPL V3.0) の下でライセンスされたソフトウェア
- (2) the GNU LESSER General Public License、Version (LGPL V2.0)、Version2.1 (LGPL V2.1)、Version3.0 (LGPL V3.0) の下でライセンスされたソフトウェア
- (3) GPL V1.0、GPL V2.0、GPL V3.0、および/または、LGPL V2.0、LGPL V2.1、LGPL V3.0 の下でライセンスされているソフトウェア以外のオープンソースソフトウェア

(1)~(3)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」や「特定の目的への適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切保障されません。

詳細は、KPAS 管理サーバーの「C:¥Panasonic¥Licenses」に記載のライセンス条件を参照ください。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

パナは ヨイワ

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目 21 番 1 号

© Panasonic System Solutions Japan Co., Ltd. 2021